

## 第5次朝霞市総合計画後期基本計画

社会の潮流の整理「個別分野編」(案)

2019年9月





# 目次

1. 調査指標一覧	3
2. 分析結果(全体)	5
2-1. 分析結果から考えられる朝霞市の主な課題	6
3. 分析結果(分野別)	9
3-1. 産業	10
3-2. 就業環境	21
3-3. 出産・子育て	30
3-4. 都市基盤	39
3-5. 住環境	46
3-6. 安心・安全	55
3-7. 健康・福祉	61
3-8. 教育	70
3-9. 文化	79
3-10. 高齢者	84
3-11. 行財政	91

# 1. 調查指標一覽

# 1. 調査指標一覧

社会情勢等の整理・分析にあたり、分野ごとに指標を網羅的に設定し、統計データを収集・整理し、分析した。

## 調査指標一覧

No	分野	指標									
1	産業	人口1千人あたり 事業所数	第1次産業事業所比率	耕作面積比率	農業、林業事業所あたり 農業産出額（推計）	第2次産業事業所比率	製造業事業所あたり 製造品出荷額	第3次産業事業所比率	小売業売場面積	小売業事業所あたり 年間商品販売額	観光入込客数
2	就業環境	昼間人口指数	労働力率	就業率	第1次産業就業者比率	第2次産業就業者比率	第3次産業就業者比率	女性就業者比率	納税義務者1人あたり 課税対象所得		
3	出産・ 子育て	合計特殊出生率	15～49歳女性人口 1千人あたり出生数	自然増減率	0～4歳人口あたり 保育所定員数	待機児童数	15～49歳女性 就業者比率	15～49歳人口1千人あた り 婚姻件数	15～49歳人口 有配偶率		
4	都市基盤	可住地面積あたり 道路実延長	人口1千人あたり 都市公園数	都市公園面積	水道の基幹管路の 耐震化率	人口1千人あたり 非水洗化人口	経費回収率（下水道）				
5	住環境	社会増減率	可住地面積比率	可住地面積あたり 人口密度	単独世帯割合	持ち家比率	空き家率	人口1千人あたり 年間ごみ総排出量	リサイクル率		
6	安心・安全	人口1千人あたり 交通事故発生件数	1千世帯あたり 出火件数	人口1千人あたり 刑法犯認知件数	人口1千人あたり 救急救助件数	住宅の耐震診断実施率					
7	健康・福祉	人口1万人あたり 病院数	人口1万人あたり 一般診療所数	人口1千人あたり 医師数	人口1千人あたり 歯科医師数	人口1千人あたり 薬剤師数	人口1人あたり医療費	人口1千人あたり 生活保護受給者数	人口1万人あたり 障害者手帳所持者数		
8	教育	人口1万人あたり 幼稚園数	人口1万人あたり 小学校数	教員1人あたり 小学校児童数	人口10万人あたり 中学校数	教員1人あたり 中学校生徒数	人口10万人あたり 高校数	高校等進学率	大学等進学率		
9	文化	人口1万人あたり 公立社会体育施設数	人口1万人あたり 公民館数	人口1万人あたり 図書館数	人口1千人あたり 在住外国人数						
10	高齢者	高齢夫婦世帯数比率	高齢単身世帯数比率	介護保険第1号 被保険者数	要介護（要支援） 認定比率	65歳以上人口1千人あた り老人福祉施設定員	特別養護老人ホーム 入居希望者数				
11	行財政	財政力指数	歳入に占める 地方税の割合	人口1人あたり地方債現 在残高	実質公債費比率	経常収支比率	実質収支比率	人口1千人あたり 市職員数			

## 2. 分析結果(全体)

## 2. 分析結果(全体)

### 2-1. 分析結果から考えられる朝霞市の主な課題

分野ごとの指標の調査・分析結果を踏まえ、市が抱える主要な課題の検討を行った。

分野	分析結果	参照先	考えられる課題
産業	■ 人口1千人あたり事業所数が比較自治体の中で高い	p.12	市内第1次産業事業所の数が多い一方、耕作面積や農業産出額が低いことから、1事業所あたりの事業規模が小さい可能性がある。
産業	■ 第1次産業事業所比率が比較自治体の中で高い	p.13	
産業	■ 耕作面積比率が比較自治体の中で低い	p.14	
産業	■ 農業、林業事業所あたり農業産出額(推計)が低い	p.15	
出産・子育て	■ 合計特殊出生率が高い	p.32	保育所定員数は増加しているものの、子どもの増加に保育所の拡充が追い付いていない可能性がある。
出産・子育て	■ 15～49歳女性人口1千人あたり出生数が高い	p.33	
出産・子育て	■ 0～4歳人口あたり保育所定員数が高い	p.35	
出産・子育て	■ 待機児童数が高い	p.36	
都市基盤	■ 水道の基幹管路の耐震化率が低い	p.44	基幹管路の耐震化の推進が必要と考えられる。
都市基盤	■ 持ち家比率が低い	p.52	市内に長期間定住している人が少ない可能性がある。

## 2. 分析結果(全体)

### 2-1. 分析結果から考えられる朝霞市の主な課題

分野ごとの指標の調査・分析結果を踏まえ、市が抱える主要な課題の検討を行った。

分野	分析結果	参照先	考えられる課題
安心・安全	■ 人口1千人あたり刑法犯認知件数が比較自治体の中で高い	p.59	防犯対策の強化が必要であると考えられる。
健康・福祉	■ 人口1万人あたり病院数が比較自治体の中で低い	p.63	地域内に病院数、医師数ともに少ない為、医療環境の充実が必要である可能性がある。
健康・福祉	■ 人口1千人あたり医師数が比較自治体の中で低い	p.65	
教育	■ 人口1万人あたり小学校数が比較自治体の中で低い	p.73	総人口あたり小中学校数ともに減少傾向にあるため、教育環境の整備が必要な可能性がある。
教育	■ 教員1人あたり小学校児童数が比較自治体の中で最も高い	p.74	
教育	■ 人口10万人あたり中学校数が比較自治体の中で低い	p.75	
教育	■ 教員1人あたり中学校生徒数が比較自治体の中で最も高い	p.76	
文化	■ 人口1万人あたり公立社会体育施設が比較自治体の中で低い	p.81	市民一人ひとりが気軽にスポーツを楽しめる環境の整備が必要な可能性がある。



## 2. 分析結果(全体)

### 2-1. 分析結果から考えられる朝霞市の主な課題

分野ごとの指標の調査・分析結果を踏まえ、市が抱える主要な課題の検討を行った。

分野	分析結果	参照先	考えられる課題
高齢者	■ 介護保険第1号被保険者数が比較自治体の中で高い	p.88	高齢者の健康づくりが必要であると考えられる。
高齢者	■ 要介護(要支援)認定比率が高い	p.89	
行財政	■ 実質公債費比率が低い	p.96	より一層の財政運営の効率化が望ましいと考えられる。
行財政	■ 経常収支比率が高い	p.97	
行財政	■ 実質収支比率が低い	p.98	

### **3. 分析結果(分野別)**

### 3. 分析結果(分野別) 表の見方

「朝霞市順位」及び「偏差値」では、5市(比較自治体4市+朝霞市)内の朝霞市順位及び偏差値を算出しています

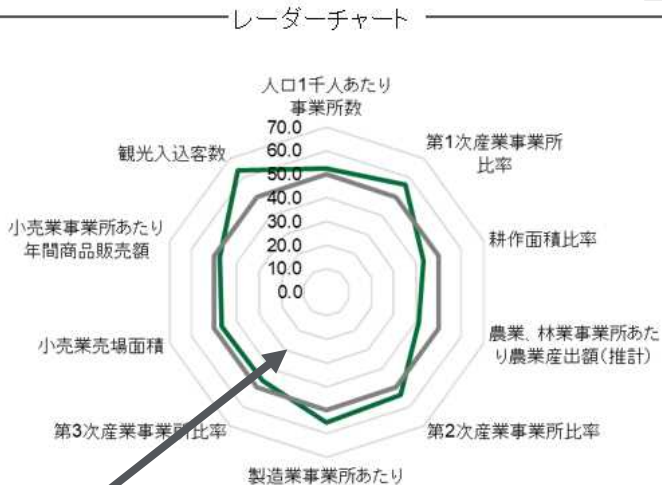
特徴を明らかにするために、朝霞市に隣接する団体と朝霞市と似た性質を持つ団体を比較自治体として設定し、当該団体の指標数値を掲載しています

分析結果(中心)

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1.	人口1千人あたり事業所数	事業所		28.3	27.6	3	52.4	29.2	31.0	26.2	23.1
2.	第1次産業事業所比率	%		0.16	0.14	2	56.6	0.19	0.12	0.11	0.11
3.	耕作面積比率	%		9.1	14.6	4	43.1	12.5	14.2	28.2	9.0
4.	農業、林業事業所あたり農業産出額(推計)	百万円		130.0	281.8	4	41.2	77.5	315.0	456.7	430.0
5.	第3次産業事業所あたり年間商品販売額	百万円		24.5	23.1	2	53.6	23.0	27.9	17.1	23.1
6.	小売業事業所あたり年間商品販売額	百万円		500.6	430.8	2	55.3	234.8	581.7	376.1	460.7
7.	小売業売場面積	㎡		75.3	76.7	4	46.3	76.8	72.0	82.7	76.8
8.	観光入込客数	人		54,151	66,740	2	46.8	50,614	136,988	43,475	48,470

国や県が実施している社会統計に基づく指標を一覧化しています

「注」では、値が低い方が望ましい指標について※を付しています



「レーダーチャート」では、5市(比較自治体4市+朝霞市)内における朝霞市及び5市平均の偏差値をチャートで表しています

分析コメント

- 「人口1千人あたり事業所数」、「第1次産業事業所比率」、「第2次産業事業所比率」、「製造業事業所あたり製造品出荷額」、「観光入込客数」は比較自治体の平均を上回っており、特に「観光入込客数」は比較自治体の中で最も高い水準となっている。
- 「耕作面積比率」、「農業、林業事業所あたり農業産出額(推計)」、「第3次産業事業所比率」、「小売業売場面積」、「小売業事業所あたり年間商品販売額」は比較自治体の平均を下回っている。
- 「人口1千人あたり事業所数」「第1次産業事業所比率」が高い一方、「耕作面積比率」、「農業、林業事業所あたり農業産出額(推計)」が低いことから、**第1次産業事業所の事業規模が小規模の可能性**がある。

「分析コメント」では、自治体間比較(比較自治体および埼玉県内)から読み取れる朝霞市の現状についてコメントを付しています

## 3. 分析結果(分野別)

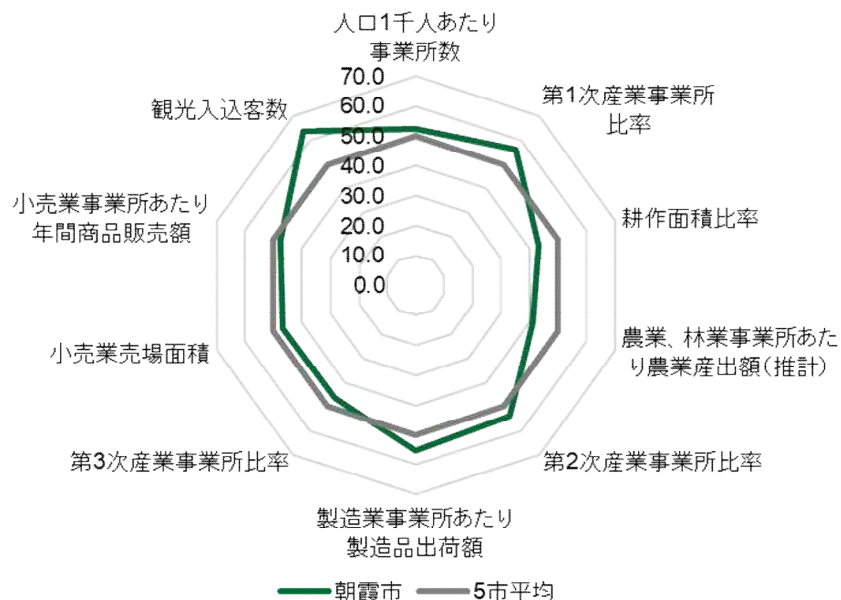
### 3-1. 産業

#### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市 順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	人口1千人あたり事業所数	事業所		28.3	27.6	3	52.4	29.2	31.0	26.2	23.1
2	第1次産業事業所比率	%		0.16	0.14	2	56.6	0.19	0.12	0.11	0.11
3	耕作面積比率	%		9.1	14.6	4	43.1	12.5	14.2	28.2	9.0
4	農業、林業事業所あたり農業産出額(推計)	百万円		130.0	281.8	4	41.2	77.5	315.0	456.7	430.0
5	第2次産業事業所比率	%		24.5	23.1	2	53.6	23.0	27.9	17.1	23.1
6	製造業事業所あたり製造品出荷額	百万円		500.6	430.8	2	55.3	234.8	581.7	376.1	460.7
7	第3次産業事業所比率	%		75.3	76.7	4	46.3	76.8	72.0	82.7	76.8
8	小売業売場面積	m <sup>2</sup>		54,151	66,740	2	46.8	50,614	136,988	43,475	48,470
9	小売業事業所あたり年間商品販売額	百万円		175	186	3	47.7	169	196	126	264
10	観光入込客数	人		806,500	426,911	1	63.7	147,000	625,756	303,196	252,102

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

#### レーダーチャート



#### 分析コメント

- 「人口1千人あたり事業所数」、「第1次産業事業所比率」、「第2次産業事業所比率」、「製造業事業所あたり製造品出荷額」、「観光入込客数」は比較自治体の平均を上回っており、特に「観光入込客数」は比較自治体の中で最も高い水準となっている。
- 「耕作面積比率」、「農業、林業事業所あたり農業産出額(推計)」、「第3次産業事業所比率」、「小売業事業所あたり年間商品販売額」は比較自治体の平均を下回っている。
- 「人口1千人あたり事業所数」「第1次産業事業所比率」が高い一方、「耕作面積比率」、「農業、林業事業所あたり農業産出額(推計)」が低いことから、**第1次産業事業所の事業規模が小規模の可能性**がある。

## 3. 分析結果(分野別)

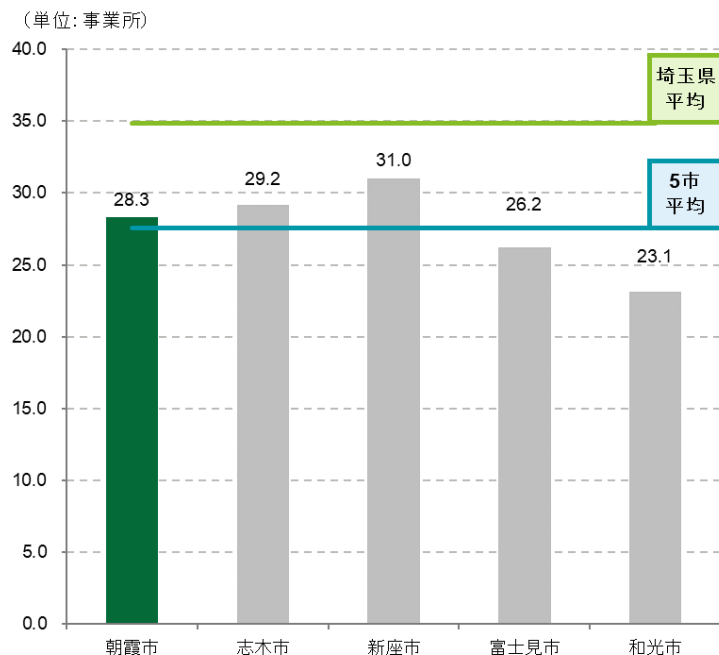
### 3-1. 産業

#### 人口1千人あたり事業所数

総人口に対する事業所数は、比較自治体平均を上回っているが、経年比較では減少傾向で推移しており、人口規模に対して朝霞市内の雇用の受け皿が減少している。

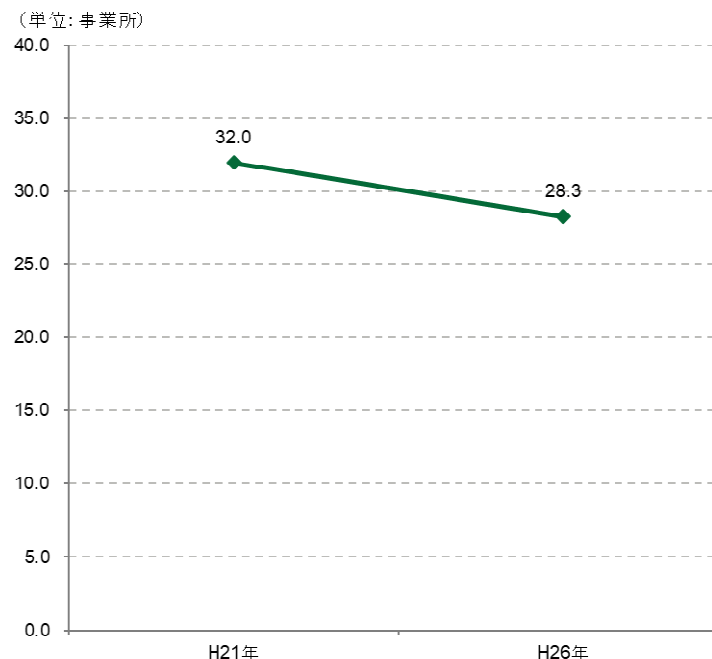
自治体間比較(平成26年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市、志木市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(27.6事業所)を上回っているが、埼玉県平均(34.9事業所)を下回っている。



経年比較

- 過去2回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所: 総務省「経済センサス-基礎調査」

## 3. 分析結果(分野別)

### 3-1. 産業

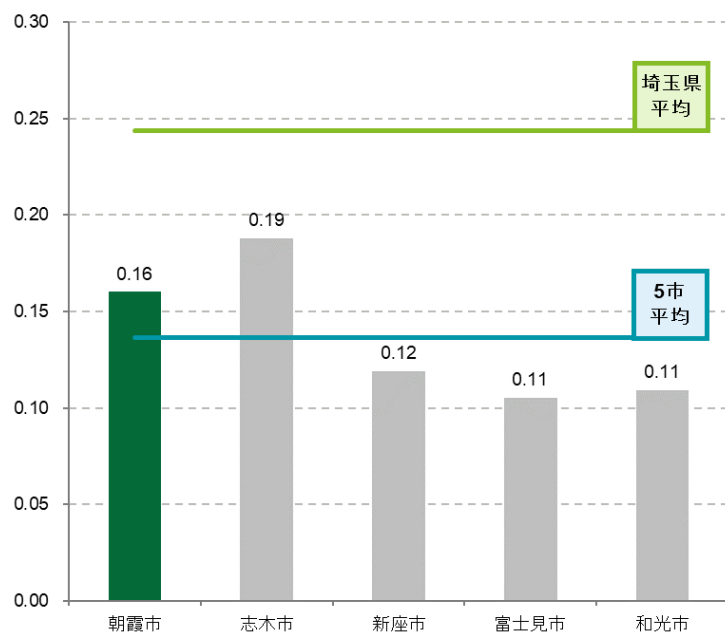
#### 第1次産業事業所比率

全事業所に占める第1次産業事業所の数は、比較自治体平均を上回る水準だが、埼玉県平均を下回る水準となっており、埼玉県においては第1次産業事業所が少ない自治体である。

自治体間比較(平成26年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は志木市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(0.14%)を上回っているが、埼玉県平均(0.24%)は下回っている。

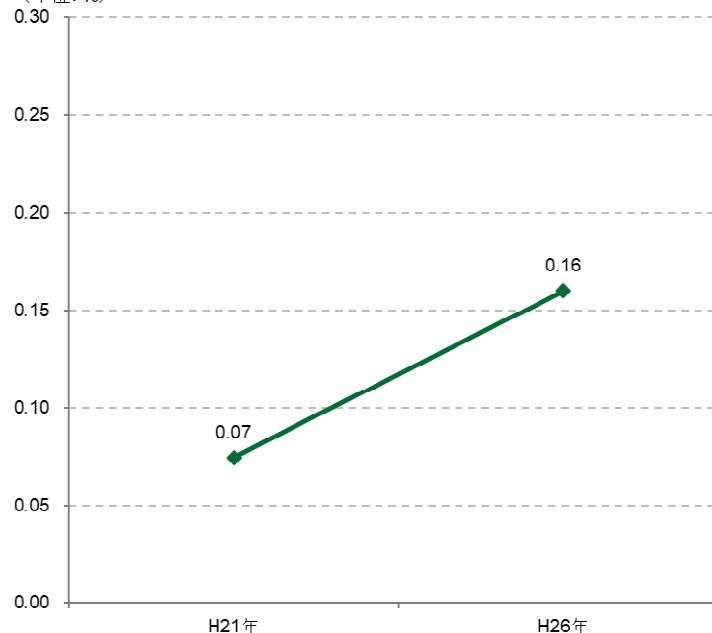
(単位: %)



経年比較

- 過去2回分を比較すると、増加傾向で推移している。

(単位: %)



出所: 総務省「経済センサス-基礎調査」

## 3. 分析結果(分野別)

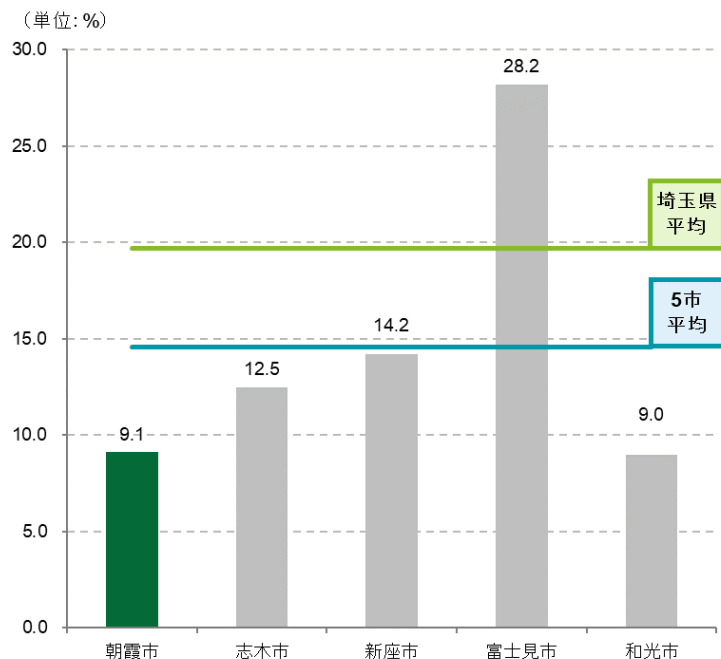
### 3-1. 産業

#### 耕作面積比率

総面積に占める耕作面積は、比較自治体及び埼玉県平均を下回る水準であり、朝霞市の農業の規模は、埼玉県において相対的に小さいと考えられる。

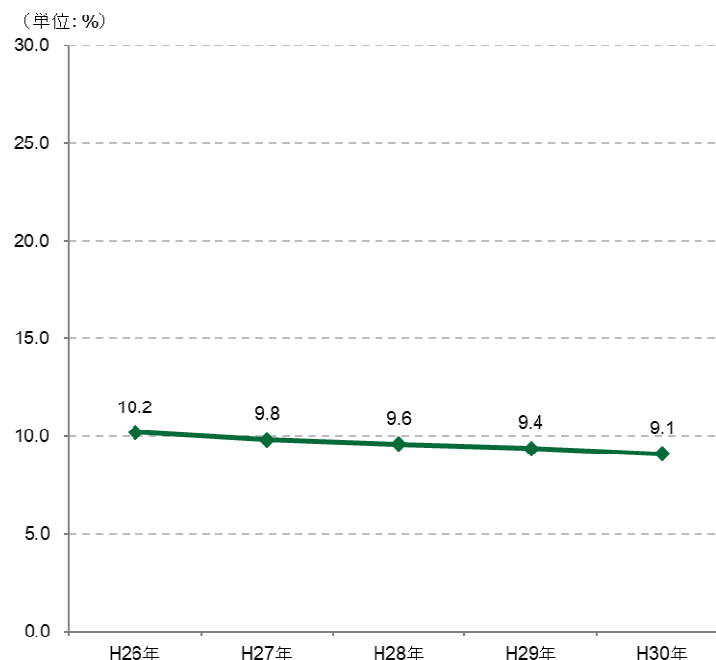
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(14.6%)、埼玉県平均(19.7%)をとともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:農林水産省「作物統計調査」

## 3. 分析結果(分野別)

### 3-1. 産業

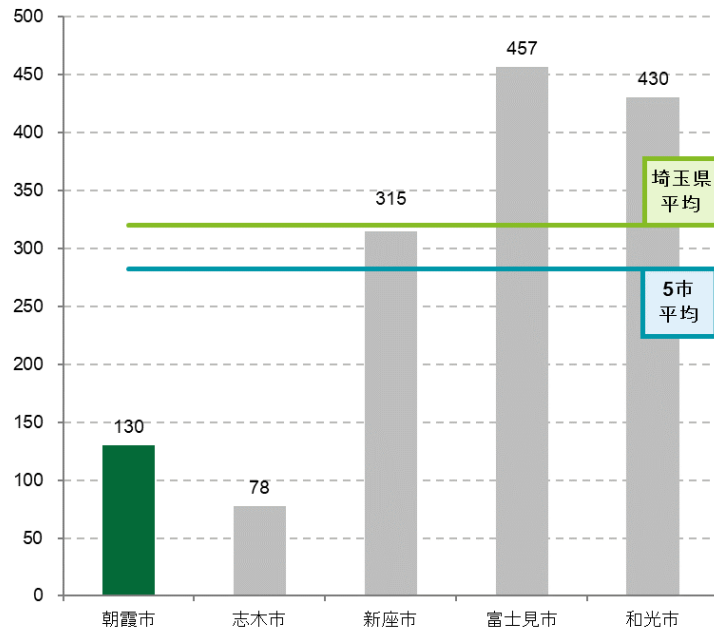
#### 農業、林業事業所あたり農業産出額(推計)

農業、林業事業所に対する農業産出額は、比較自治体及び埼玉県平均と比べて低い水準にあり、朝霞市の農林産業は、埼玉県において、相対的に盛んでないと考えられる。

#### 自治体間比較(平成26年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は志木市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(282百万円)、埼玉県平均(320百万円)をともに下回っている。

(単位: 百万円)



#### 経年比較

- 単年度データのため、経年比較はない。

単年度データのため経年比較なし

出所: 農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」



## 3. 分析結果(分野別)

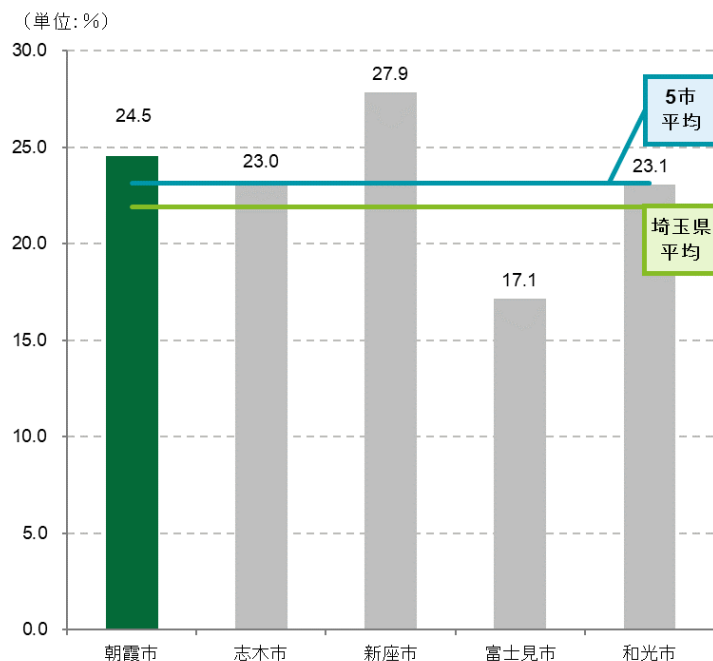
### 3-1. 産業

#### 第2次産業事業所比率

全事業数に占める第2次産業事業所の比率は、比較自治体及び埼玉県平均と比べて高い水準にあり、朝霞市の建設・製造業は、埼玉県内において相対的に盛んであると考えられる。

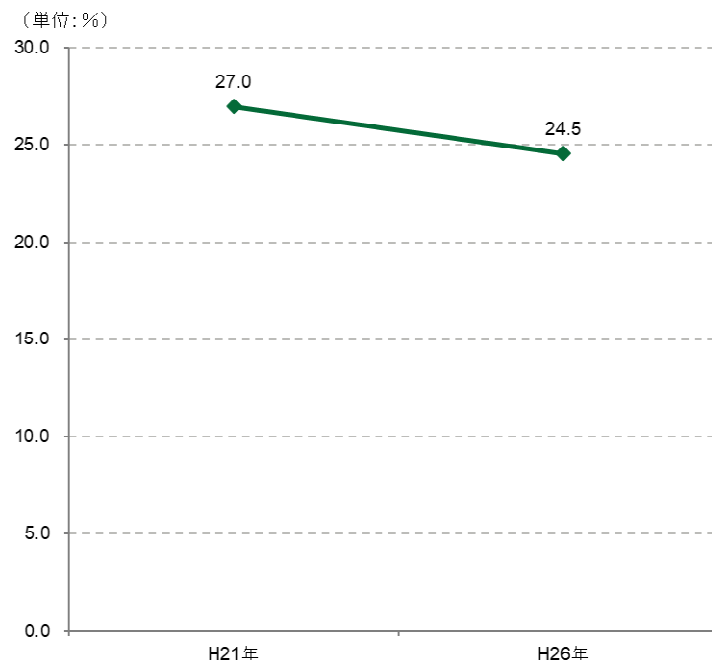
#### 自治体間比較(平成26年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(23.1%)、埼玉県平均(21.9%)をともに上回っている。



#### 経年比較

- 過去2回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:総務省「経済センサス-基礎調査」

## 3. 分析結果(分野別)

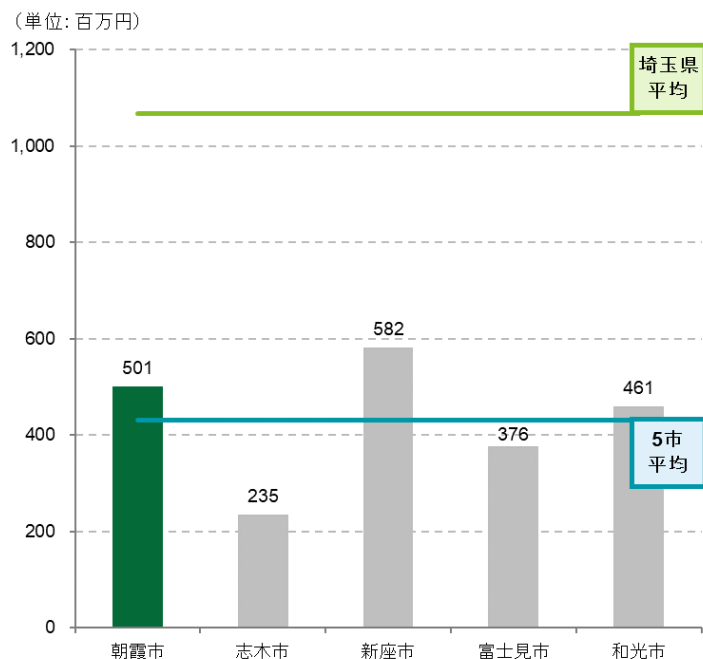
### 3-1. 産業

#### 製造業事業所あたり製造品出荷額

製造事業所数に対する製造品出荷額は、比較自治体平均を上回っており、また第2次産業事業所数が減少傾向にある(前頁参照)一方、製造品出荷額は増加傾向にあるため、1事業所当たりの事業規模が大きくなっていると考えられる。

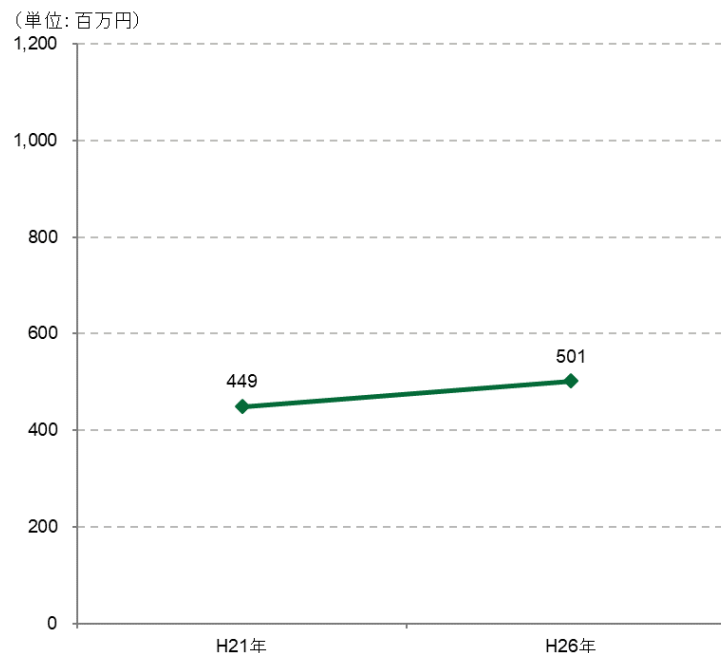
自治体間比較(平成26年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(431百万円)を上回っているが、埼玉県平均(1,067百万円)を下回っている。



経年比較

- 過去2回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:総務省「経済センサス-活動調査」

## 3. 分析結果(分野別)

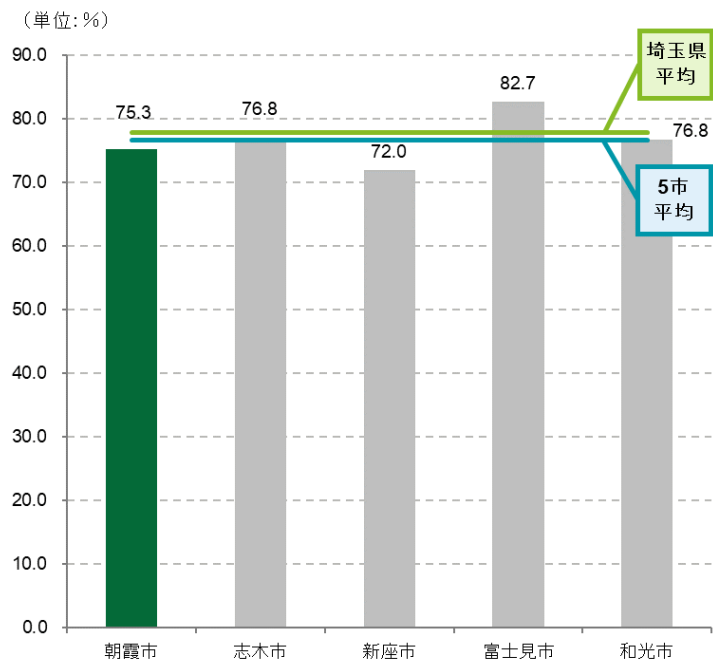
### 3-1. 産業

#### 第3次産業事業所比率

全事業所に占める第3次産業事業所の数は、比較自治体及び埼玉県平均と同程度の水準にあり、経年比較では増加傾向で推移している。

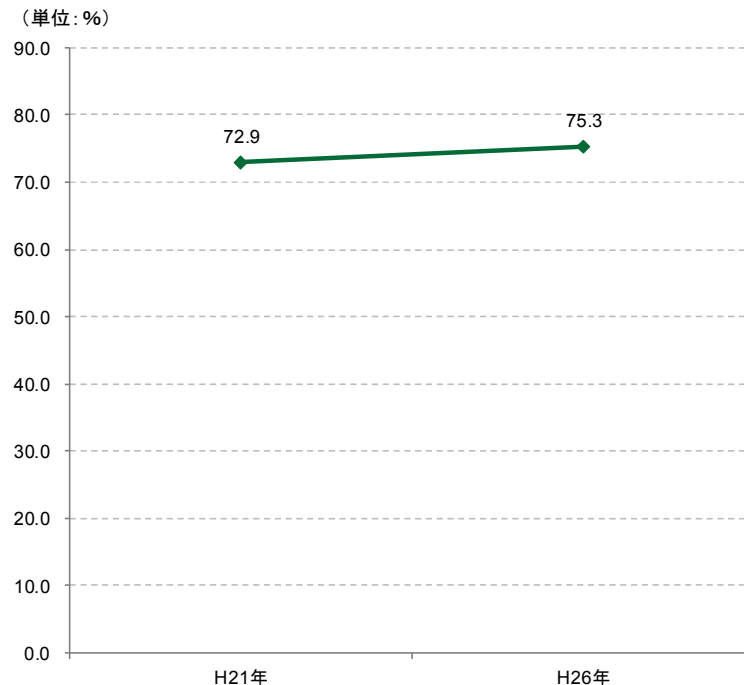
自治体間比較(平成26年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市、志木市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(76.7%)、埼玉県平均(77.8%)をともに上回っている。



経年比較

- 過去2回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:総務省「経済センサス-基礎調査」

## 3. 分析結果(分野別)

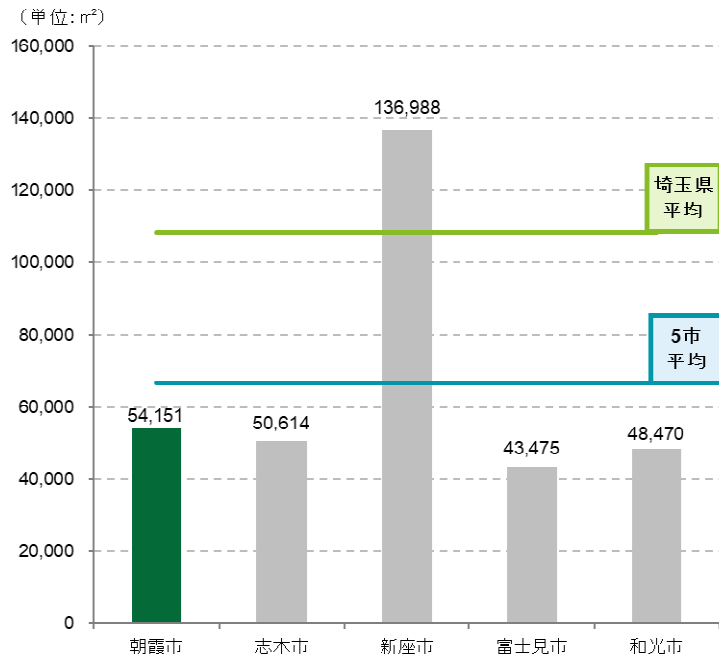
### 3-1. 産業

#### 小売業売場面積

小売業の売場面積は、埼玉県平均を下回っているものの、朝霞市の小売業・サービス業などの事業所比率は増加傾向にあるため(前頁参照)、相対的に見て売り場面積が小さい事業者が増えていることが考えられる。

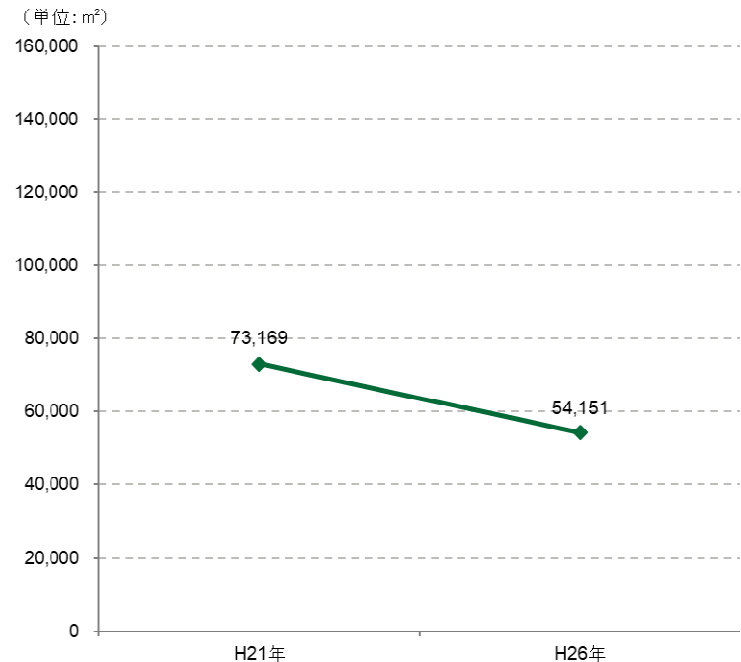
自治体間比較(平成26年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(66,740㎡)、埼玉県平均(108,319㎡)をともに下回っている。



経年比較

- 過去2回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:総務省「経済センサス-基礎調査」

## 3. 分析結果(分野別)

### 3-1. 産業

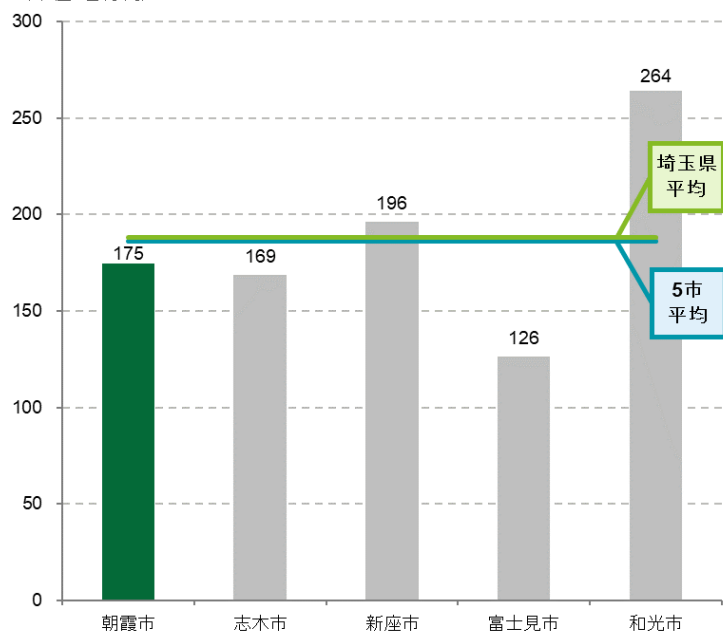
#### 小売業事業所あたり年間商品販売額

小売業事業所に対する年間商品販売額は、比較自治体及び埼玉県平均と同程度の水準にあり、経年比較では増加傾向で推移している。

自治体間比較(平成26年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市、新座市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(186百万円)、埼玉県平均(188百万円)をともに下回っている。

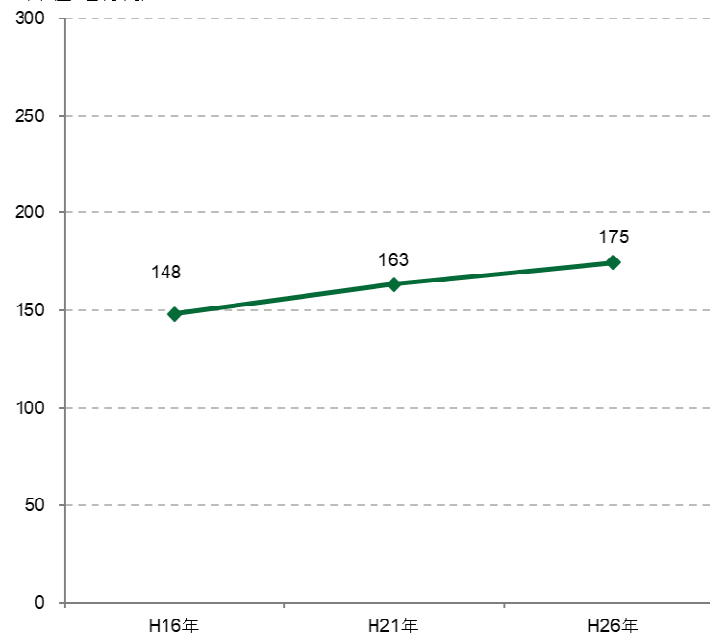
(単位:百万円)



経年比較

- 過去3回分を比較すると、増加傾向で推移している。

(単位:百万円)



出所:経済産業省「商業統計調査」

### 3. 分析結果(分野別)

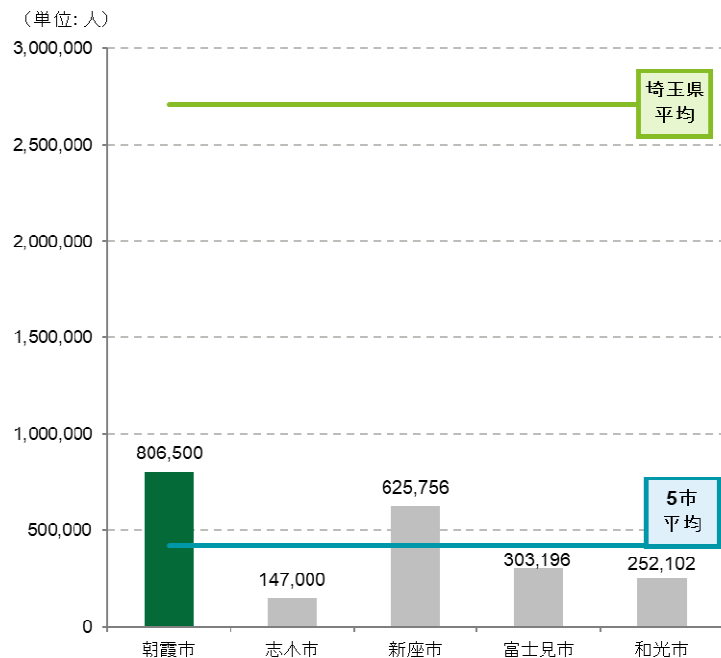
#### 3-1. 産業

##### 観光入込客数

観光入込客数は、比較自治体の中で高い水準にあるが、埼玉県平均を大きく下回っているため、朝霞市の観光客の数は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

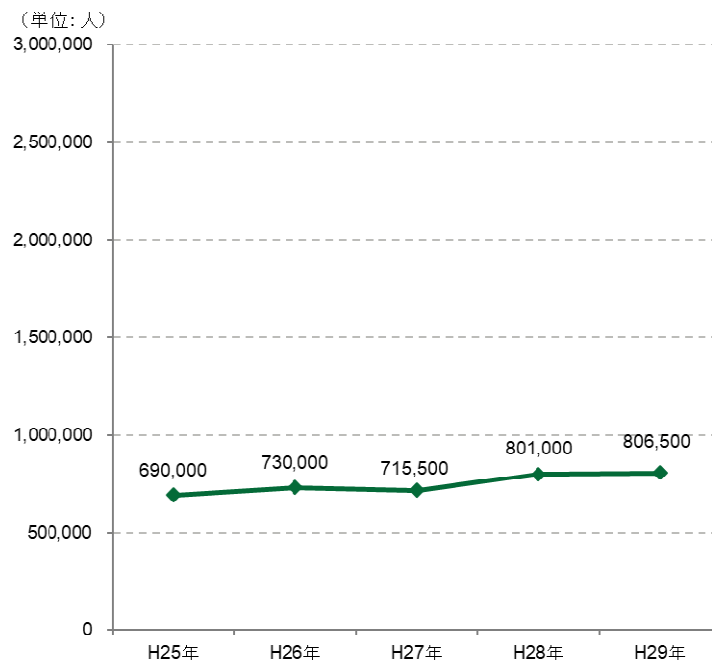
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(426,911人)を上回っているが、埼玉県平均(2,753,584人)を下回っている。



経年比較

- 平成27年に減少したものの、平成28年には増加している。



出所: 埼玉県「埼玉県観光入込客統計」

### 3. 分析結果(分野別)

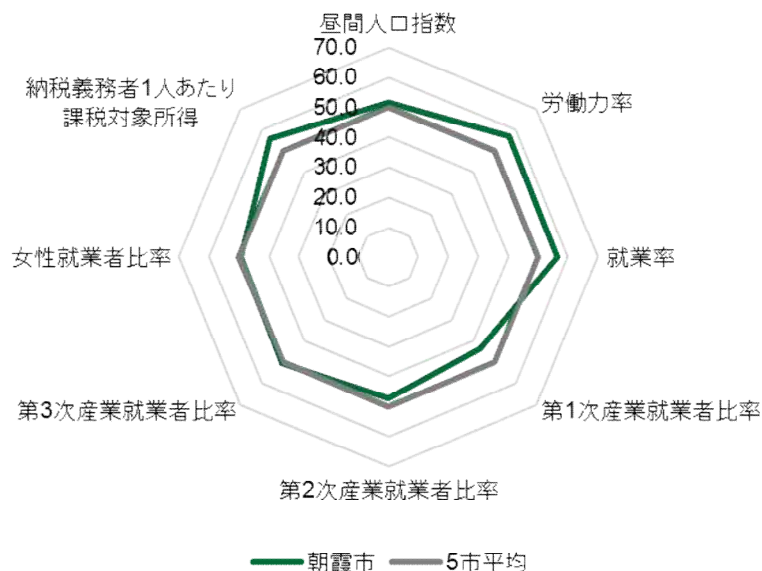
#### 3-2. 就業環境

##### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市 順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	昼間人口指数	-		82.6	81.7	3	51.5	79.1	85.7	74.0	87.3
2	労働力率	%		60.1	59.1	2	57.2	57.0	58.9	58.6	60.7
3	就業率	%		57.9	56.9	2	56.5	54.7	56.6	56.2	58.9
4	第1次産業就業者比率	%		0.67	0.87	4	43.3	0.56	1.04	1.29	0.77
5	第2次産業就業者比率	%		18.6	19.2	4	47.4	20.3	21.4	20.8	15.0
6	第3次産業就業者比率	%		70.2	70.2	3	50.2	70.3	68.7	68.9	72.8
7	女性就業者比率	%		41.8	41.8	4	49.4	42.1	42.0	42.9	40.4
8	納税義務者1人あたり課税対象所得	千円		3,645	3,544	2	55.8	3,636	3,367	3,345	3,726

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

レーダーチャート



分析コメント

- 「昼間人口指数」、「労働力率」、「就業率」、「納税義務者1人あたり課税対象所得」は比較自治体の平均を上回っている。
- 「第1次産業就業者比率」、「第2次産業就業者比率」は比較自治体の平均を下回っており、「女性就業者比率」は比較自治体の平均と同数となっている。
- 就業環境に係る各指標は比較自治体に比べ優れているが、「女性就業者比率」はやや低い水準となっており、さらなる女性の就業支援が必要だと考えられる。

## 3. 分析結果(分野別)

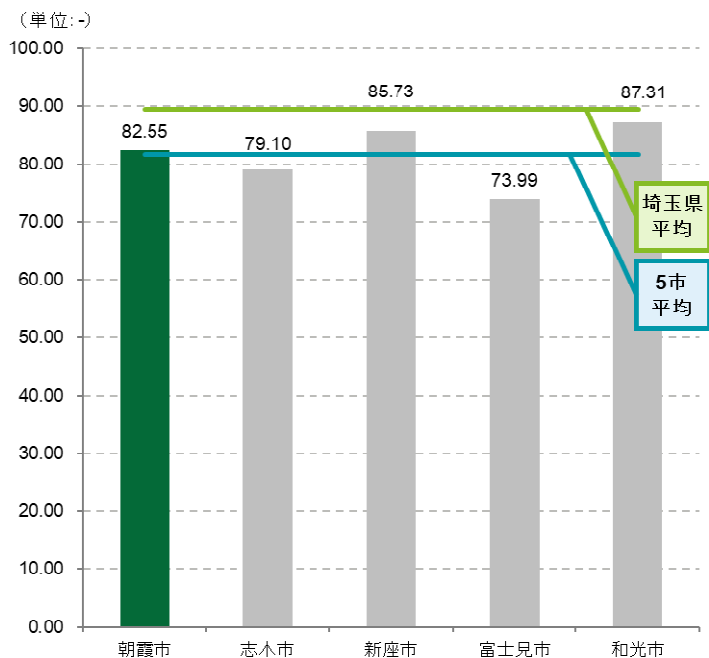
### 3-2. 就業環境

#### 昼間人口指数

総人口に対する昼間人口は、比較自治体と同水準であるものの、埼玉県平均より低い水準であるため、朝霞市の昼間人口は、埼玉県において、相対的に低い水準にあると考えられる。

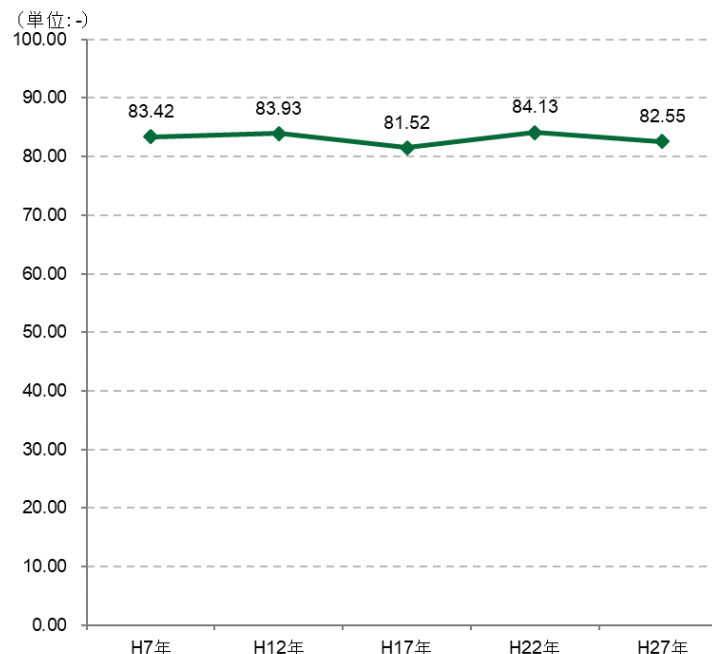
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市、新座市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(81.74)を上回っているが、埼玉県平均(89.47)を下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:総務省「国勢調査」



### 3. 分析結果(分野別)

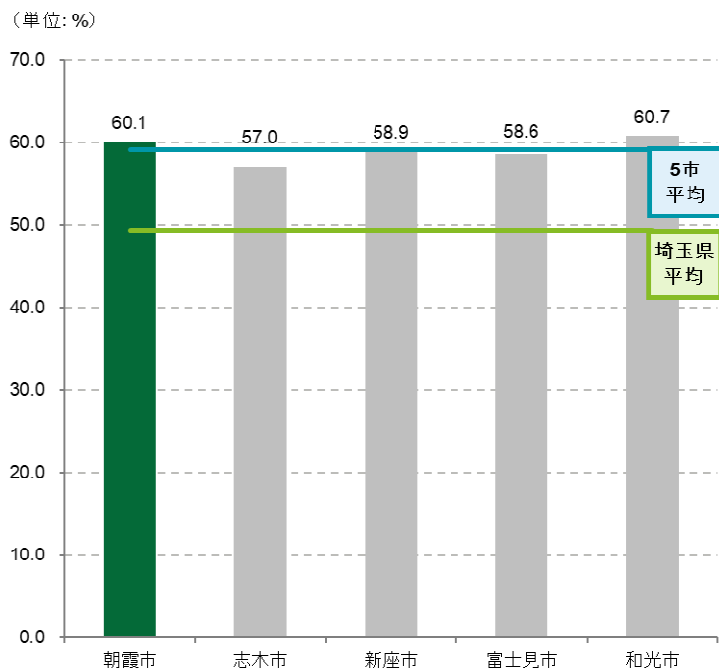
#### 3-2. 就業環境

##### 労働力率

15歳以上人口に対する労働力人口は、比較自治体及び埼玉県平均より高い水準であるため、朝霞市における働く意思と能力を持つ人の割合は、埼玉県において相対的に高い水準と考えられる。

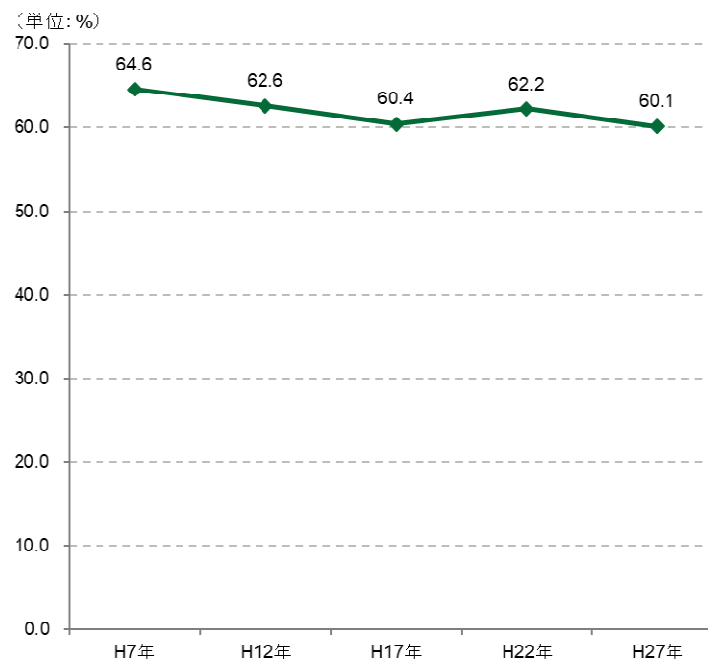
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(59.1%)、埼玉県平均(49.3%)をともに上回っている。



経年比較

- 平成22年には増加したものの、平成27年には減少している。



出所:総務省「国勢調査」

## 3. 分析結果(分野別)

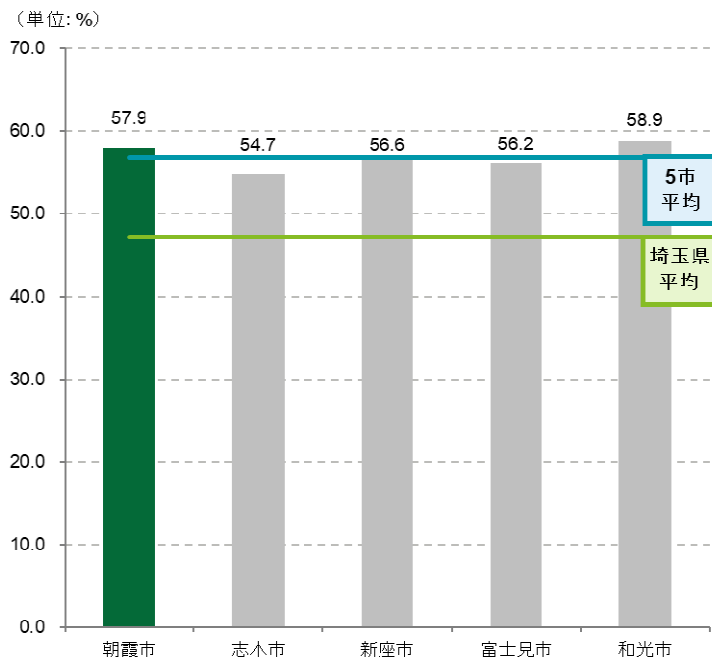
### 3-2. 就業環境

#### 就業率

15歳以上人口に占める全就業者数の比率は、比較自治体及び埼玉県平均より高い水準であるため、朝霞市の働いている人の割合は、埼玉県において相対的に高い水準にあると考えられる。

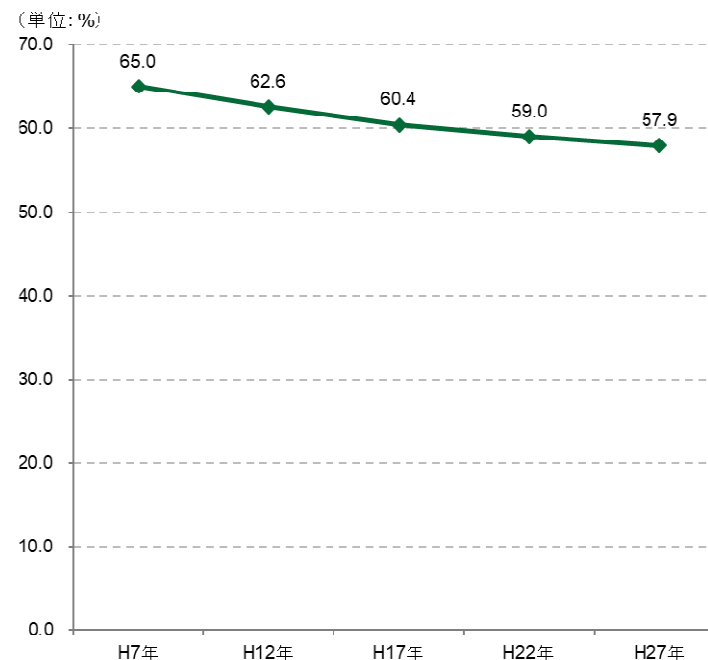
#### 自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(56.9%)、埼玉県平均(47.2%)をともに上回っている。



#### 経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:総務省「国勢調査」

### 3. 分析結果(分野別)

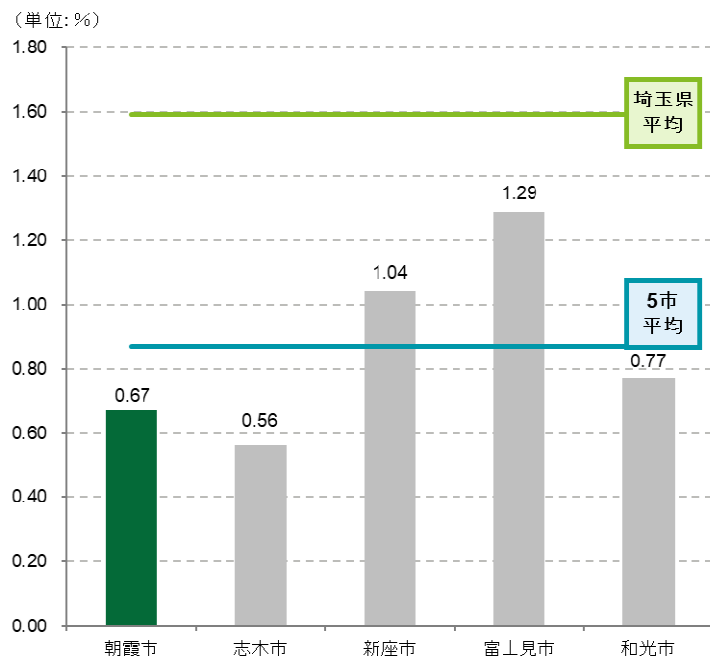
#### 3-2. 就業環境

##### 第1次産業就業者比率

全就業者に占める第1次産業就業者の数は、比較自治体及び埼玉県平均をとともに下回っているため、朝霞市の農林業に従事している就業者数は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

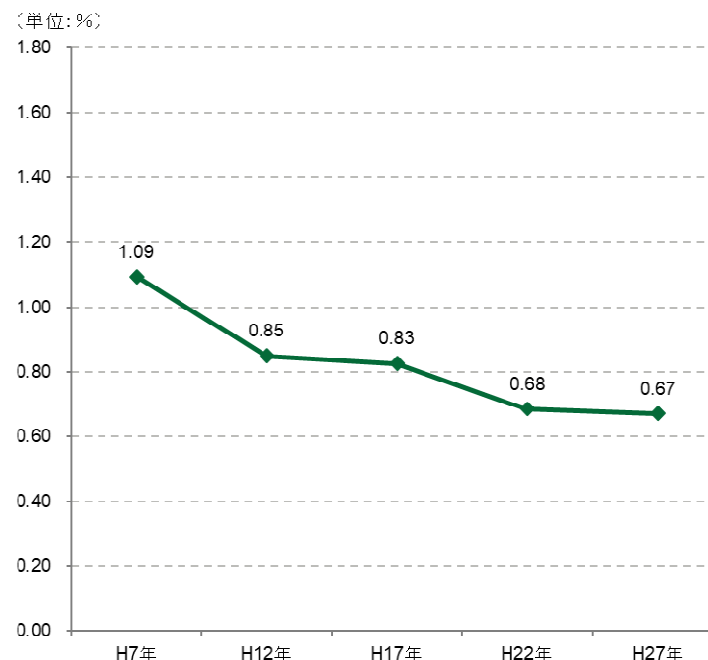
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は志木市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(0.87%)、埼玉県平均(1.59%)をとともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:総務省「国勢調査」

## 3. 分析結果(分野別)

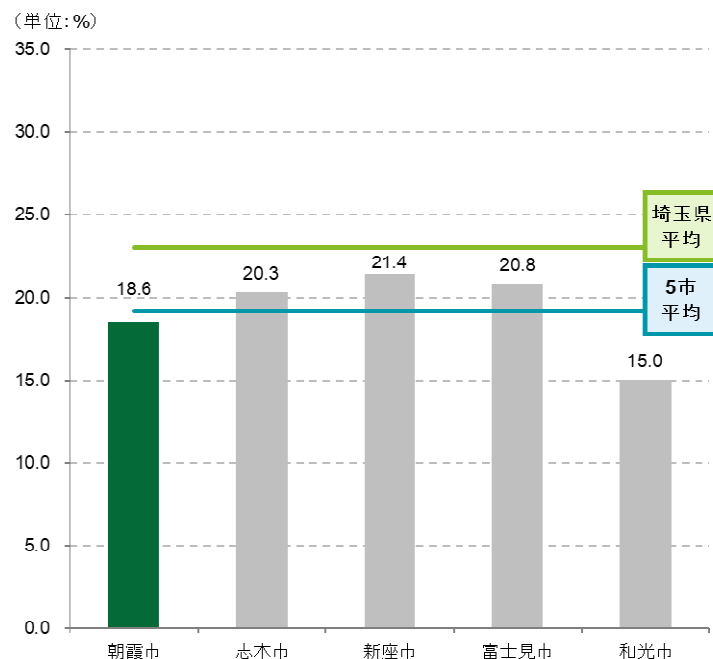
### 3-2. 就業環境

#### 第2次産業就業者比率

全就業者に占める第2次産業就業者の数は、比較自治体及び埼玉県平均をともに下回っているため、朝霞市の建設・製造業に従事する就業者数は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

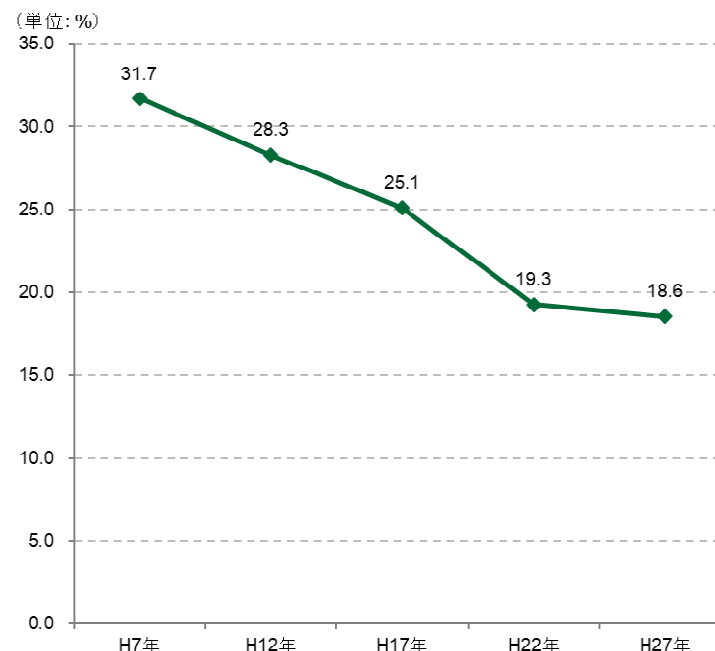
#### 自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(19.2%)、埼玉県平均(23.1%)をともに下回っている。



#### 経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:総務省「国勢調査」

### 3. 分析結果(分野別)

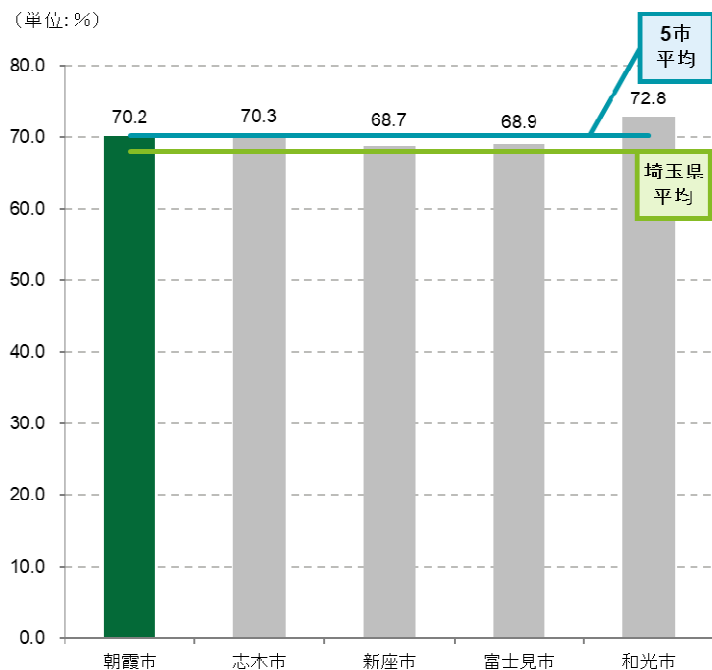
#### 3-2. 就業環境

##### 第3次産業就業者比率

全就業者数に占める第3次産業就業者の数は、比較自治体及び埼玉県平均と同程度の水準のため、朝霞市の小売業・サービス業などに従事している就業者数は、埼玉県において標準的な水準にあると考えられる。

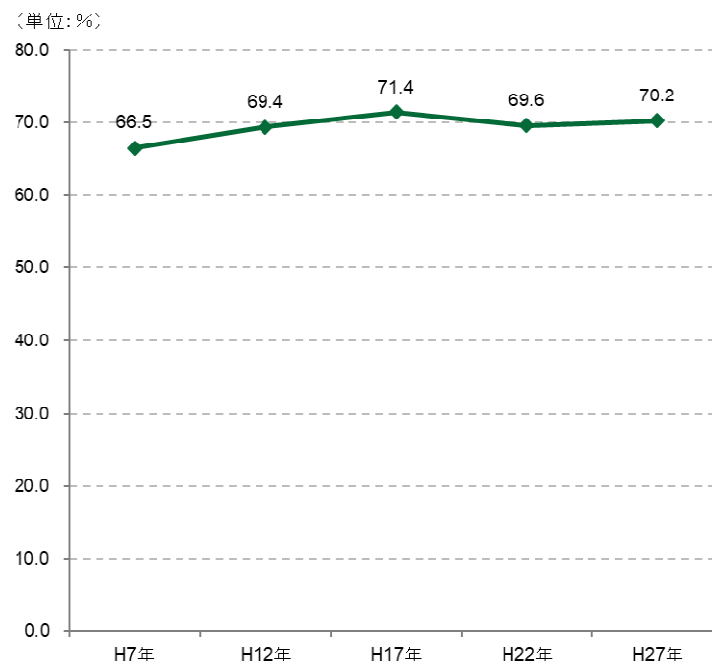
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市、志木市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(70.2%)と同じだが、埼玉県平均(67.9%)を上回っている。



経年比較

- 平成22年に減少したものの、平成27年には増加している。



出所:総務省「国勢調査」

### 3. 分析結果(分野別)

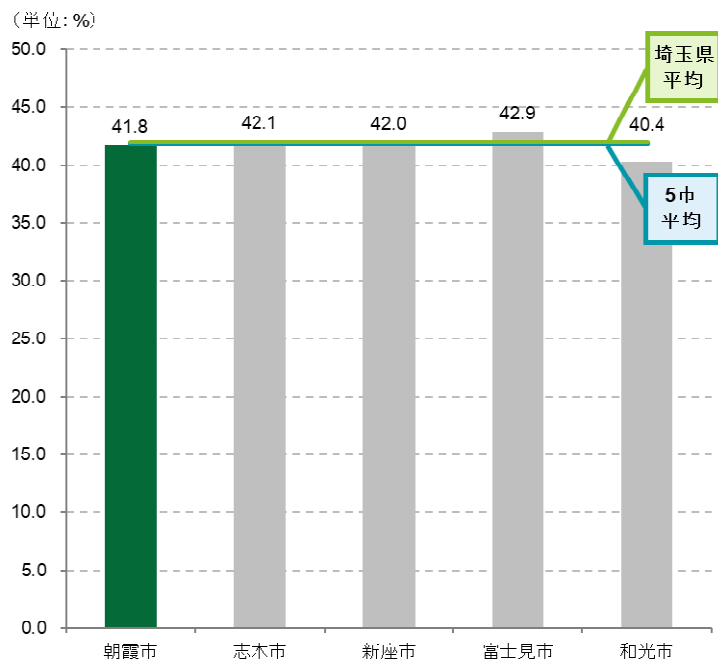
#### 3-2. 就業環境

##### 女性就業者比率

全就業者数に占める女性就業者の数は、比較自治体及び埼玉県平均と同程度の水準のため、朝霞市の女性の就業者数は、埼玉県において標準的な水準にあると考えられる。

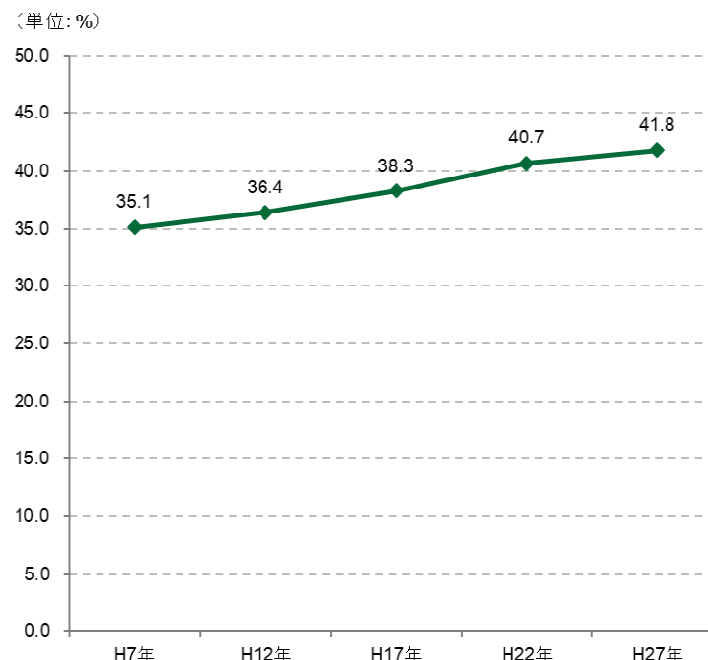
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(41.8%)と同じだが、埼玉県平均(42.0%)を下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:総務省「国勢調査」

## 3. 分析結果(分野別)

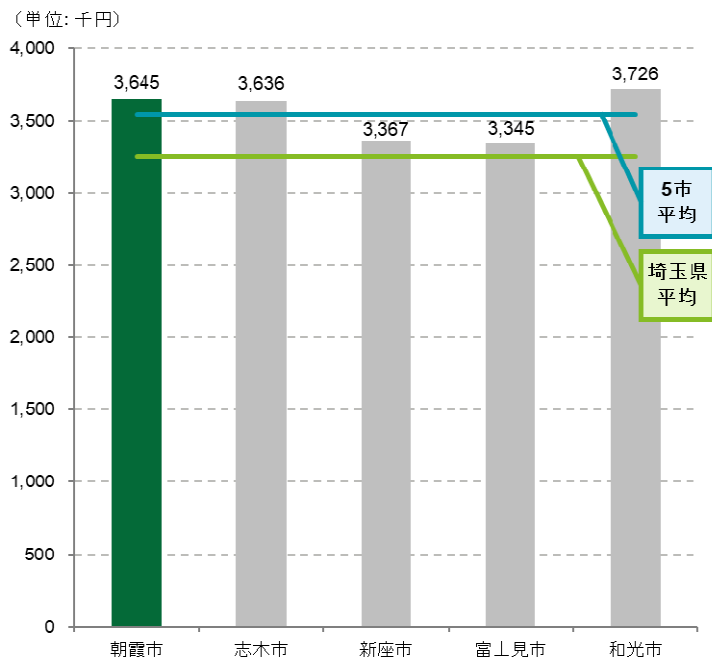
### 3-2. 就業環境

#### 納税義務者1人あたり課税対象所得

納税義務者に対する課税対象所得の額は、比較自治体及び埼玉県平均と比較して高い水準にあるため、朝霞市の所得水準は、埼玉県において相対的に高いと考えられる。

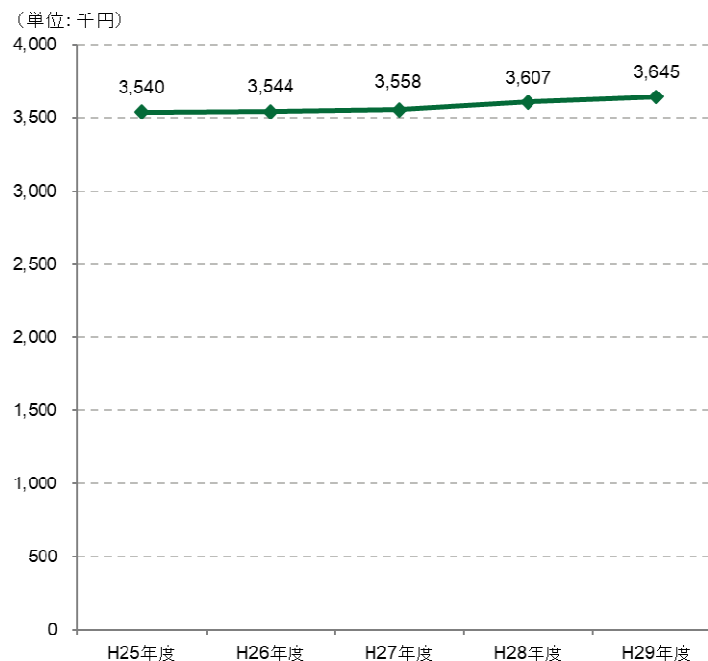
自治体間比較(平成28年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市、志木市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(3,544千円)、埼玉県平均(3,258千円)をともに上回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:総務省「社会・人口統計体系」

## 3. 分析結果(分野別)

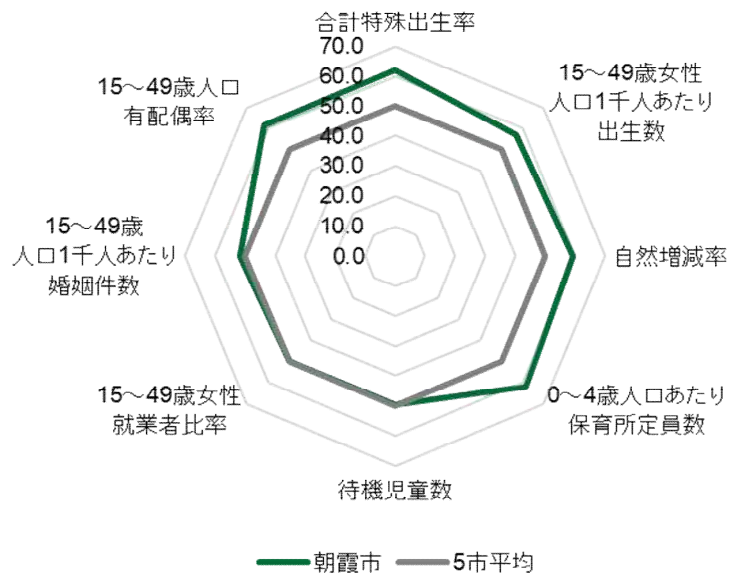
### 3-3. 出産・子育て

#### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市 順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	合計特殊出生率	-		1.43	1.34	1	62.1	1.41	1.26	1.30	1.32
2	15~49歳女性人口1千人あたり出生数	人		40.0	37.9	2	56.8	39.8	33.8	35.6	40.5
3	自然増減率	%		0.29	0.11	2	59.3	0.05	-0.09	-0.05	0.35
4	0~4歳人口あたり保育所定員数	人		0.40	0.35	1	61.5	0.36	0.36	0.29	0.35
5	待機児童数	人	※	44	44	3	49.8	47	68	19	40
6	15~49歳女性就業者比率	%		45.6	45.6	3	49.6	44.7	45.2	46.6	46.0
7	15~49歳人口1千人あたり婚姻件数	件		9.5	9.3	3	51.7	9.5	7.7	8.9	11.1
8	15~49歳人口有配偶率	%		38.7	37.4	1	61.5	37.2	36.9	35.9	38.4

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

レーダーチャート



分析コメント

- 「合計特殊出生率」、「15~49歳女性人口1千人あたり出生数」、「自然増減率」、「0~4歳人口あたり保育所定員数」、「15~49歳人口1千人あたり婚姻件数」、「15~49歳人口有配偶率」は、比較自治体の平均を上回っており、特に「合計特殊出生率」、「0~4歳人口あたり保育所定員数」、「15~49歳人口有配偶率」は比較自治体の中で最も高い水準となっている。
- 「待機児童数」、「15~49歳女性就業者比率」は比較自治体の平均と同数となっている。
- 「0~4歳人口あたり保育所定員数」は比較自治体の中で優れている一方で、「待機児童数」が一定数存在していることから、保育所定員数が不足している可能性がある。



## 3. 分析結果(分野別)

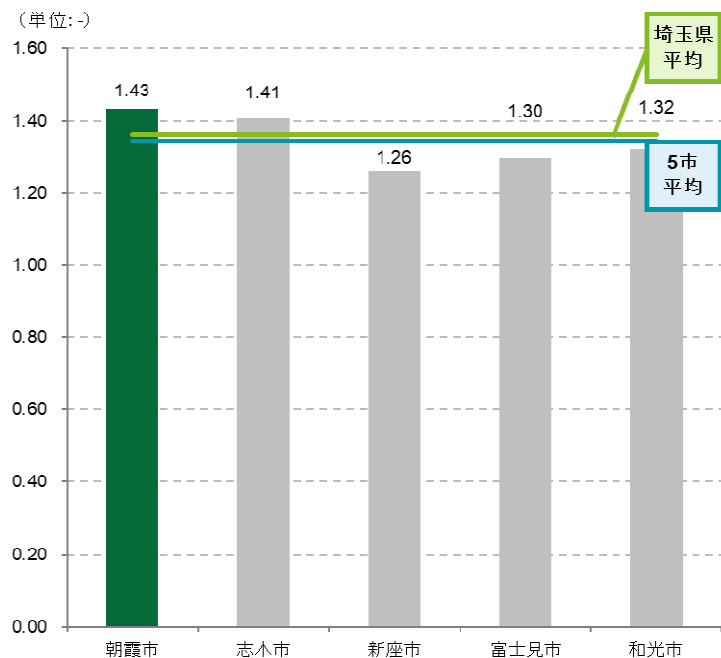
### 3-3. 出産・子育て

#### 合計特殊出生率

朝霞市の合計特殊出生率は、比較自治体及び埼玉県平均を上回っており、朝霞市の合計特殊出生率は、埼玉県において相対的に高いと考えられる。

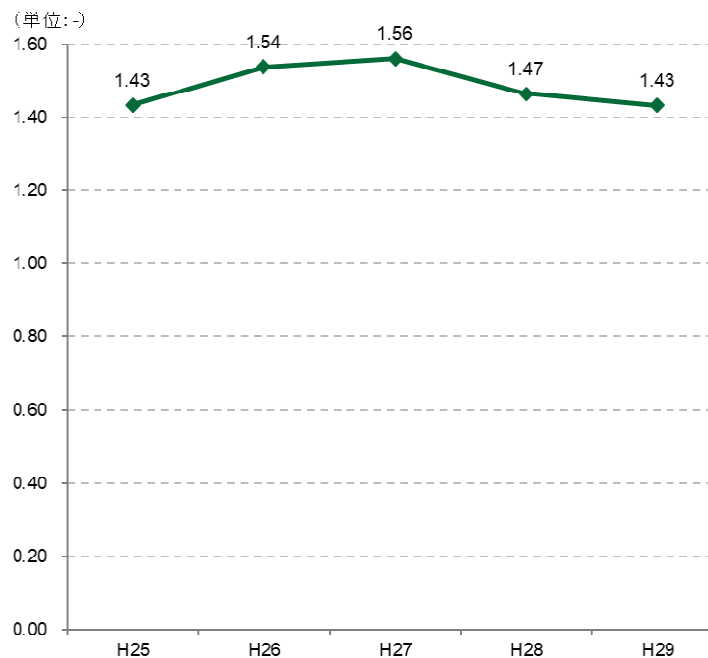
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(1.34)、埼玉県平均(1.36)をとともに上回っている。



経年比較

- 平成27年まで増加傾向で推移していたが、平成28年に減少傾向に転じている。



出所:埼玉県「埼玉県の合計特殊出生率」

## 3. 分析結果(分野別)

### 3-3. 出産・子育て

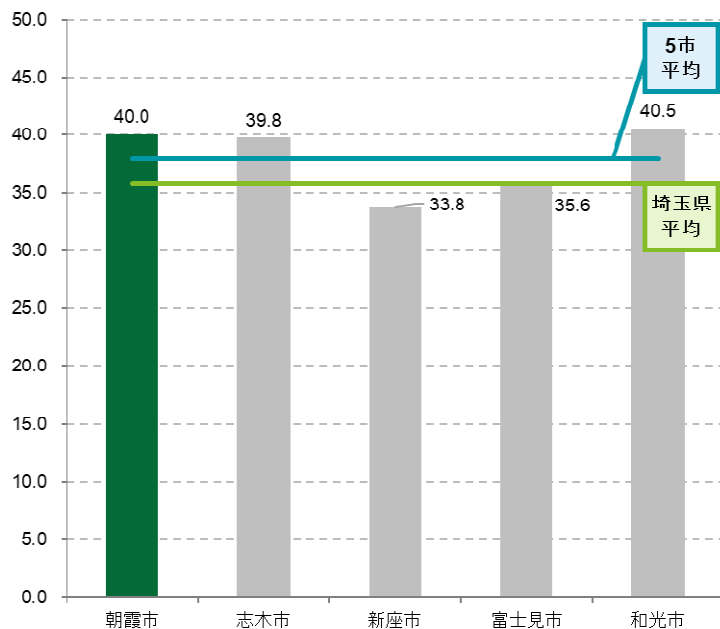
#### 15～49歳女性人口1千人あたり出生数

15～49歳女性人口に対する出生数は、比較自治体及び埼玉県平均を上回っているため、朝霞市で毎年出生する子どもの数は、埼玉県において相対的に多いと考えられる。

自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(37.9人)、埼玉県平均(35.8人)をともに上回っている。

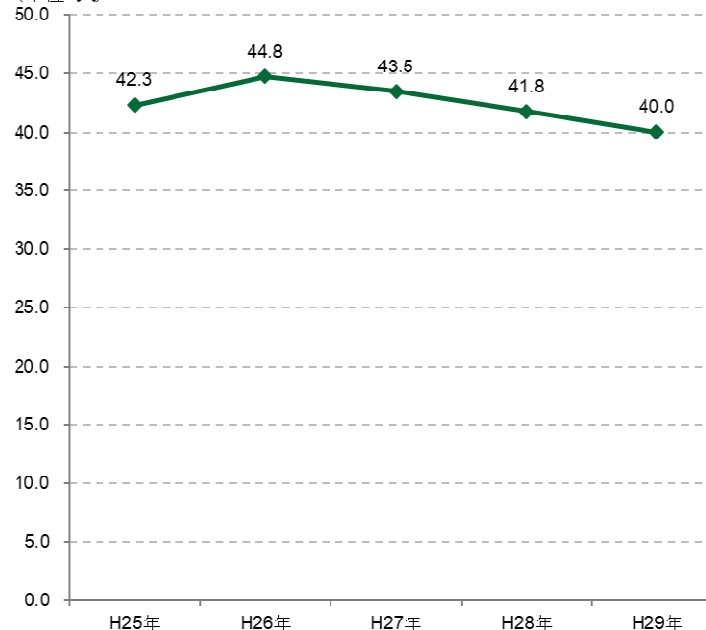
(単位: 人)



経年比較

- 平成26年までは増加傾向で推移していたが、平成27年に減少傾向に転じている。

(単位: 人)



出所: 埼玉県「埼玉県の合計特殊出生率」

## 3. 分析結果(分野別)

### 3-3. 出産・子育て

#### 自然増減率

総人口に占める自然増減数(出生数－死亡数)の比率は、比較自治体及び埼玉県平均の中で高い水準にあり、また平成30年に増加傾向に転じている。

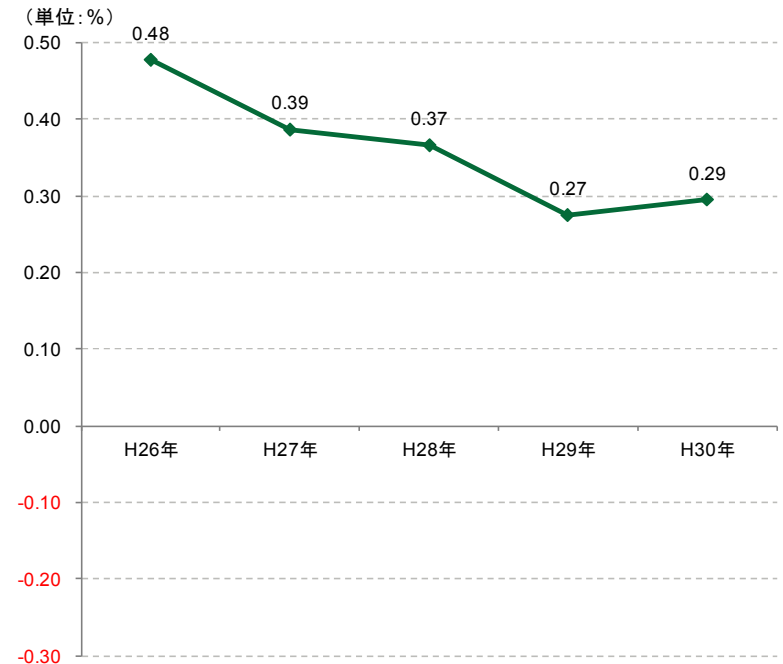
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(0.11%)、埼玉県平均(-0.21%)をともに上回っている。



経年比較

- 平成29年までは減少傾向で推移していたが、平成30年に増加傾向に転じている。



出所:総務省「住民基本台帳」

## 3. 分析結果(分野別)

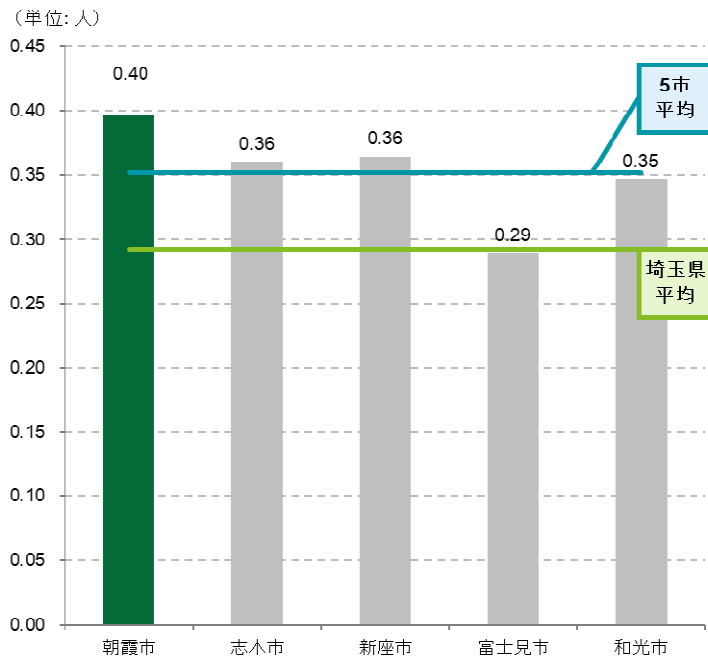
### 3-3. 出産・子育て

#### 0～4歳人口あたり保育所定員数

0～4歳人口に対する保育所定員の数は、比較自治体及び埼玉県平均を上回る水準であるため、朝霞市の保育の場は、埼玉県において相対的に整備されていると考えられる。

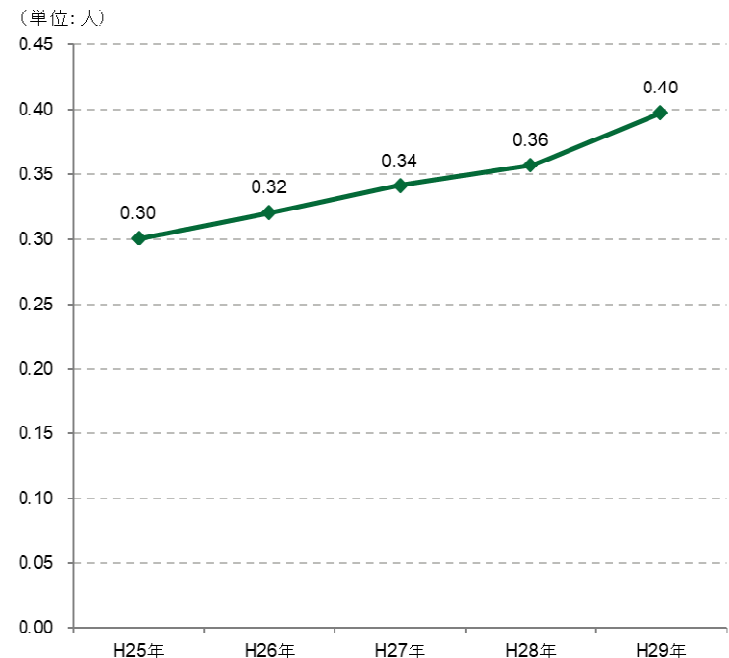
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(0.35人)、埼玉県平均(0.29人)をとともに上回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所: 厚生労働省「社会福祉施設等調査」

## 3. 分析結果(分野別)

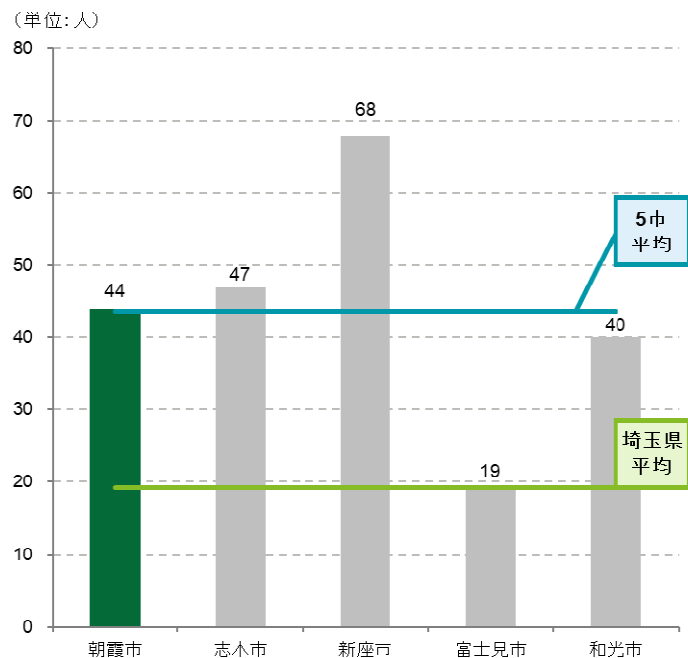
### 3-3. 出産・子育て

#### 待機児童数

朝霞市の待機児童数は、埼玉県平均を上回る水準のため、朝霞市の保育サービスの強化が必要と考えられる。

#### 自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市、志木市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(44人)と同じだが、埼玉県平均(19人)を上回っている。



#### 経年比較

- 単年度データのため、経年比較はない。

単年度データのため経年比較なし

## 3. 分析結果(分野別)

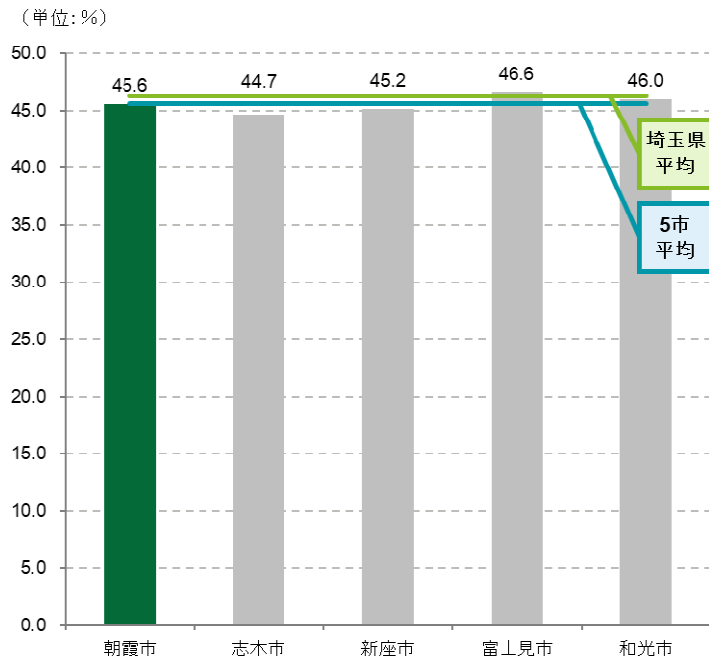
### 3-3. 出産・子育て

#### 15～49歳女性就業者比率

15～49歳女性人口に占める女性就業者の数は、比較自治体及び埼玉県平均と同じ水準のため、朝霞市の女性の社会進出は、埼玉県において標準的な進展だと考えられる。

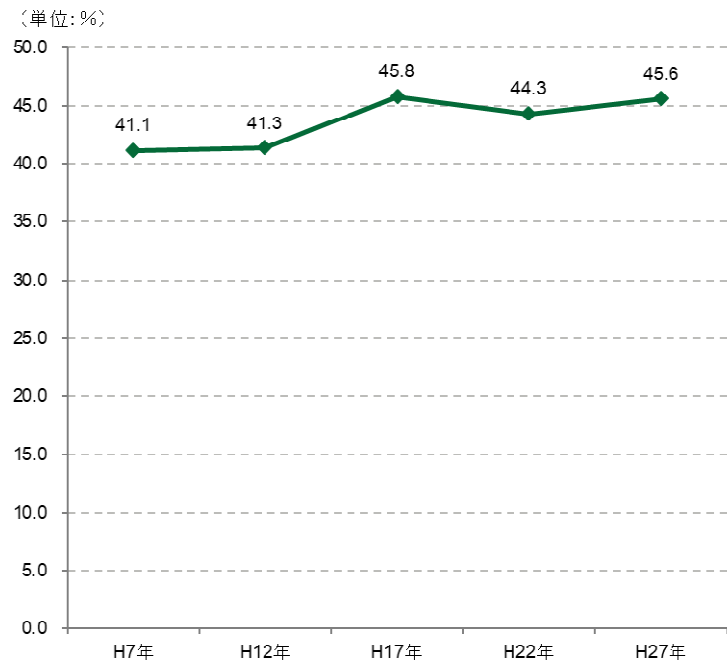
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市、和光市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(45.6%)と同じだが、埼玉県平均(46.3%)を下回っている。



経年比較

- 平成22年に減少したものの、平成27年には増加している。



出所:総務省「国勢調査」

## 3. 分析結果(分野別)

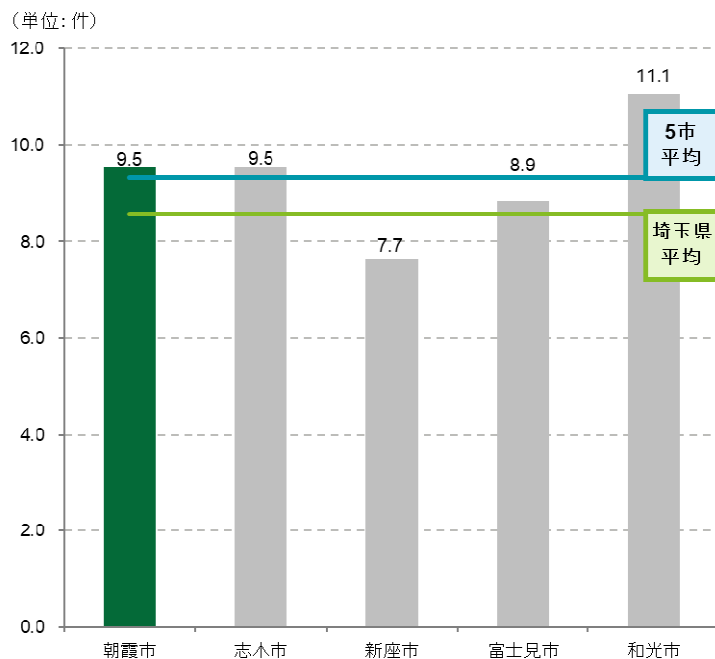
### 3-3. 出産・子育て

#### 15～49歳人口1千人あたり婚姻件数

15～49歳人口に対する婚姻件数は、比較自治体及び埼玉県平均を上回っているが、減少傾向で推移している。経年の推移から朝霞市の婚姻件数は今後さらに減少する可能性があると考えられる。

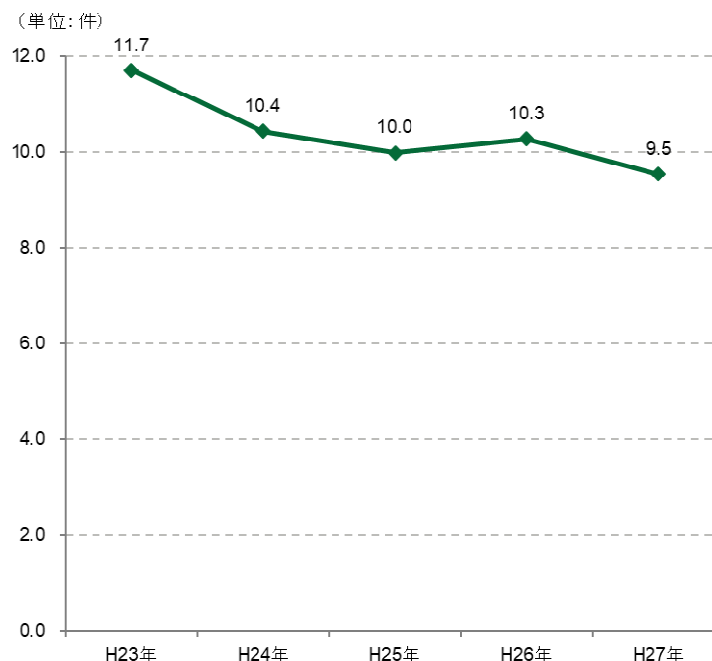
自治体間比較(平成28年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(9.3件)、埼玉県平均(8.6件)をともに上回っている。



経年比較

- 平成26年に増加したものの、平成27年には減少している。



出所:厚生労働省「人口動態調査」

## 3. 分析結果(分野別)

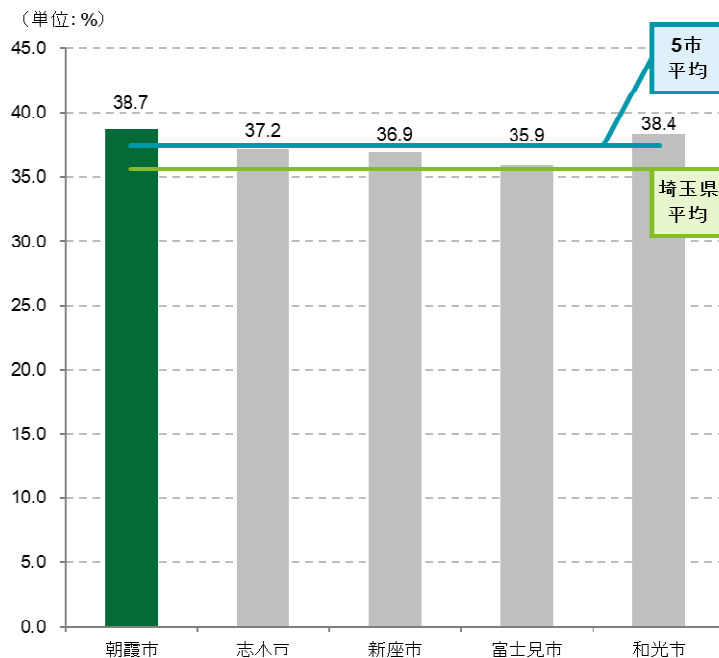
### 3-3. 出産・子育て

#### 15～49歳人口有配偶率

15～49歳人口に占める有配偶者数は、比較自治体及び埼玉県平均を上回っているが、横ばいで推移している。

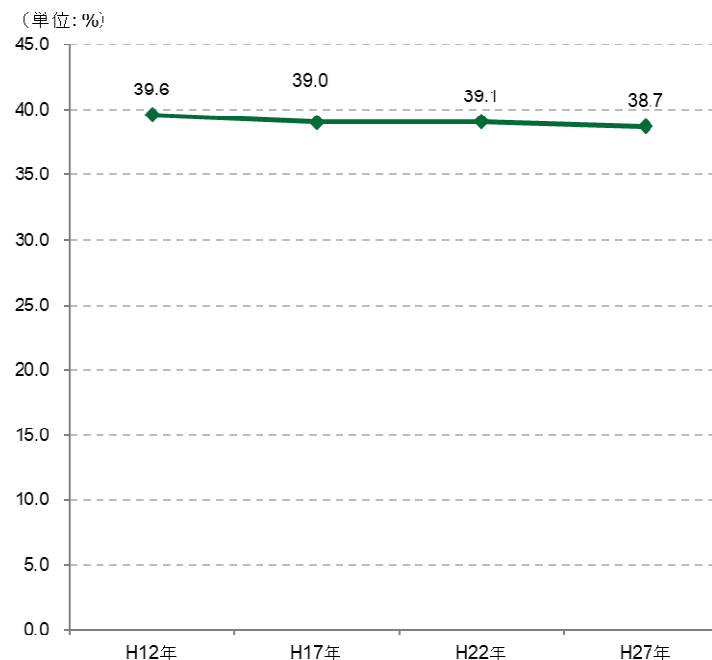
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(37.4%)、埼玉県平均(35.6%)をともに上回っている。



経年比較

- 過去4回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:総務省「国勢調査」



### 3. 分析結果(分野別)

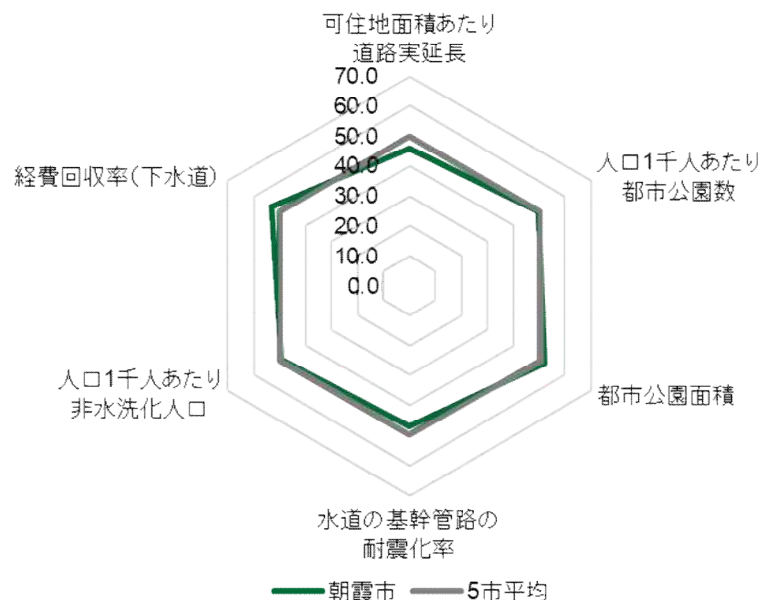
#### 3-4. 都市基盤

##### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市 順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	可住地面積あたり道路実延長	m		136.7	151.1	4	45.8	162.5	145.9	202.1	108.4
2	人口1千人あたり都市公園数	箇所		0.287	0.291	2	49.7	0.270	0.268	0.482	0.149
3	都市公園面積	m <sup>2</sup>		301,883	281,452	3	52.0	325,768	263,494	399,490	116,625
4	水道の基幹管路の耐震化率	%		29.3	32.9	4	46.8	33.7	17.3	48.8	35.6
5	人口1千人あたり非水洗化人口	人	※	1.9	1.9	3	49.3	2.3	0.8	2.8	1.5
6	経費回収率(下水道)	%		101.2	97.2	3	53.3	92.6	79.0	102.2	111.1

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

レーダーチャート



分析コメント

- 「都市公園面積」、「経費回収率(下水道)」は比較自治体の平均を上回っている。
- 「可住地面積あたり道路実延長」、「人口1千人あたり都市公園数」、「水道の期間管路の耐震化率」は比較自治体の平均を下回っている。
- 「水道の基幹管路の耐震化率」が比較自治体の中で低く、**基幹管路の耐震化の推進**が課題と考えられる。

### 3. 分析結果(分野別)

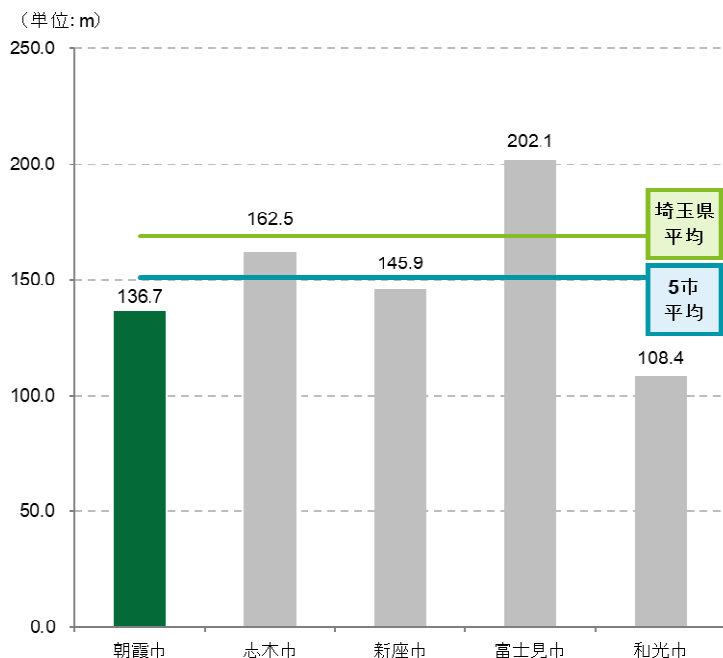
#### 3-4. 都市基盤

##### 可住地面積あたり道路実延長

可住地面積に対する道路実延長は、比較自治体及び埼玉県平均より下回る水準にある。

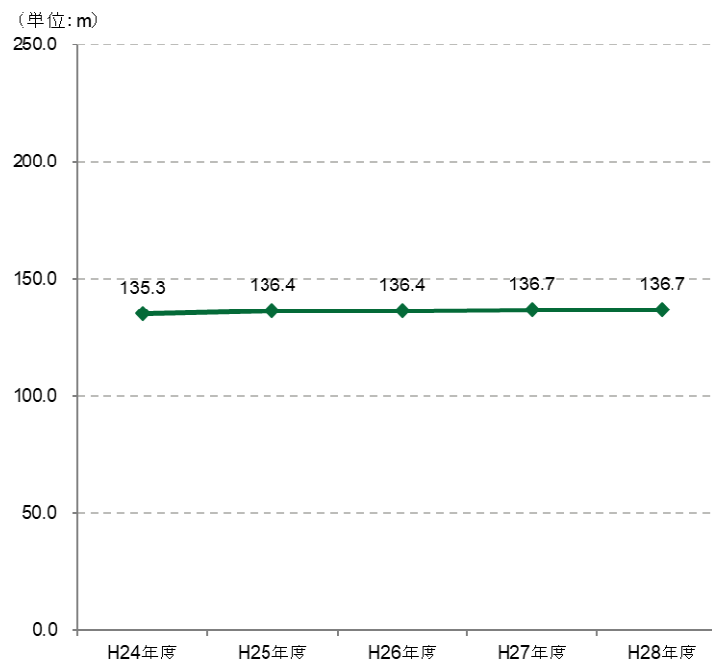
自治体間比較(平成25年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(151.1m)、埼玉県平均(169.0m)をともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所: 国土交通省「道路施設現況調査」

### 3. 分析結果(分野別)

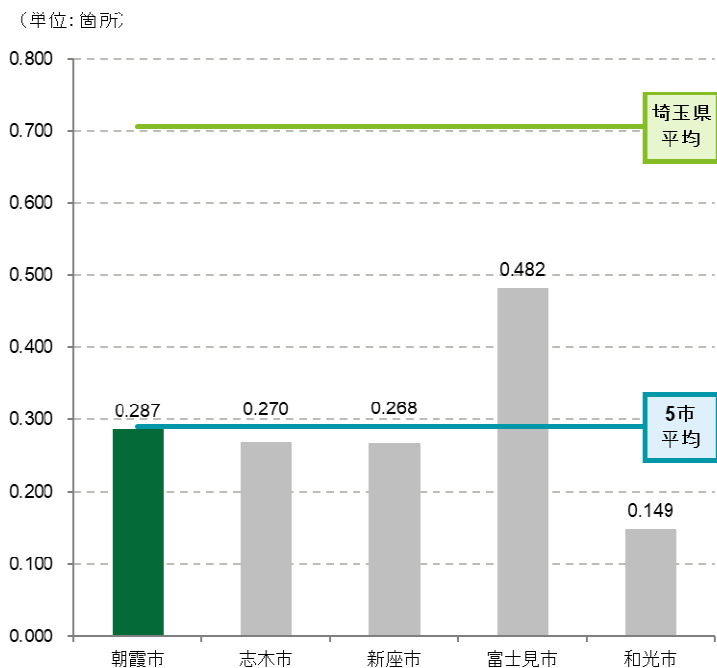
#### 3-4. 都市基盤

##### 人口1千人あたり都市公園数

総人口に対する都市公園数は、比較自治体平均と同じ水準にあるものの、埼玉県平均を下回る水準にあるため、朝霞市の公園の整備状況は、埼玉県において、低い水準にあると考えられる。

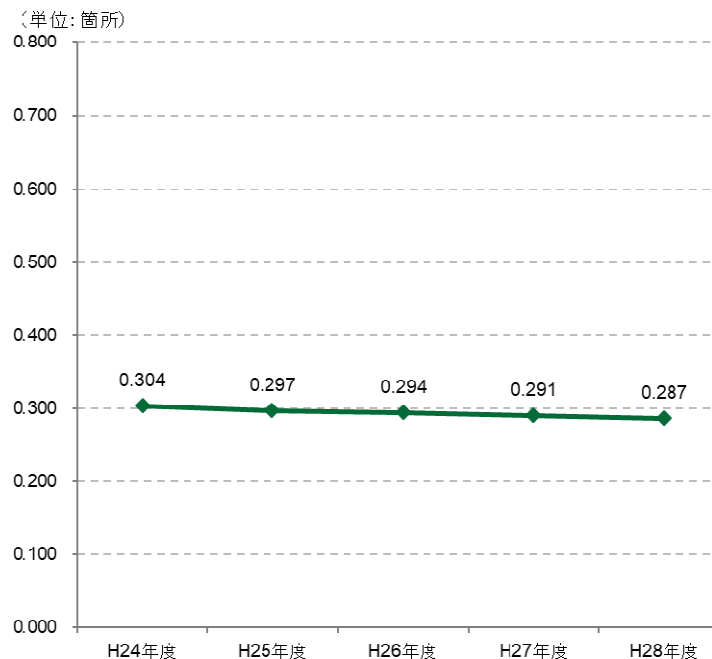
自治体間比較(平成28年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(0.291箇所)、埼玉県平均(0.706箇所)をともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:総務省「公共施設状況調経年比較表」

### 3. 分析結果(分野別)

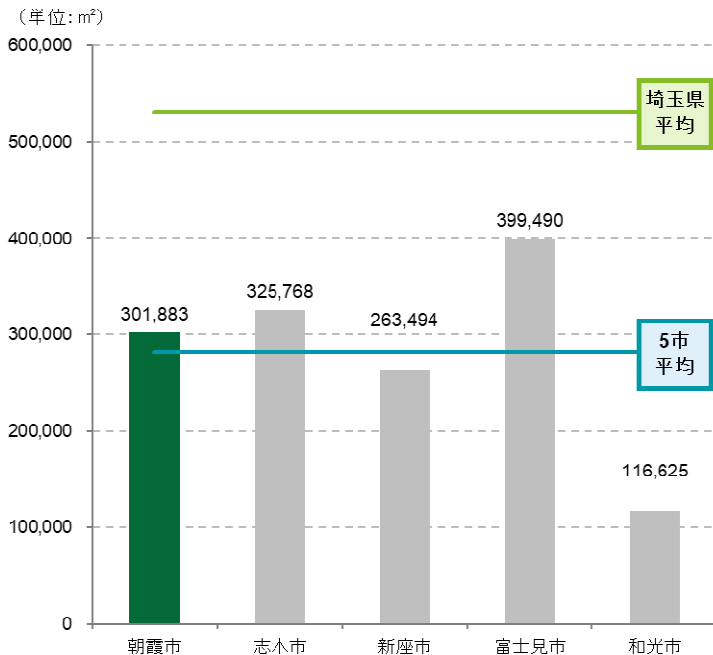
#### 3-4. 都市基盤

##### 都市公園面積

都市公園面積は、比較自治体平均より高い水準にあるものの、埼玉県平均より低い水準にある。

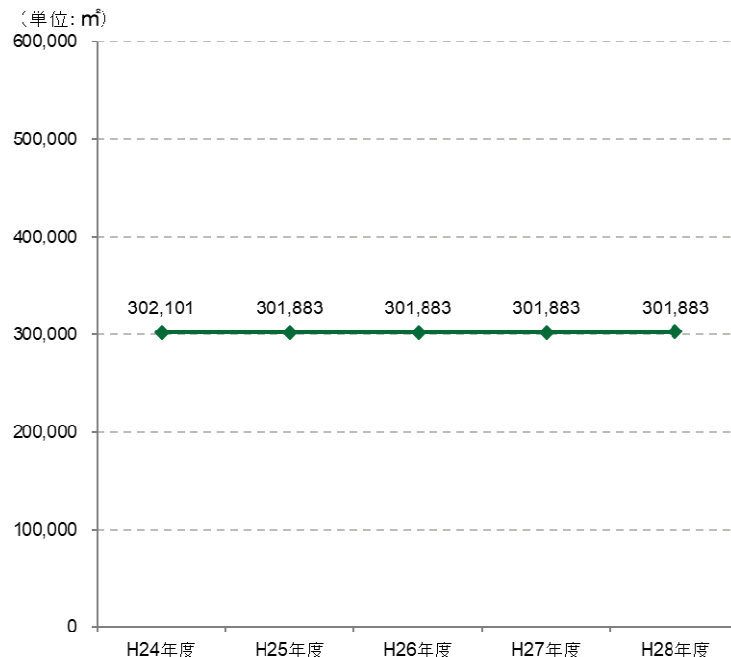
自治体間比較(平成28年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市、志木市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(281,452㎡)を上回っているが、埼玉県平均(531,368㎡)を下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:総務省「公共施設状況調経年比較表」

### 3. 分析結果(分野別)

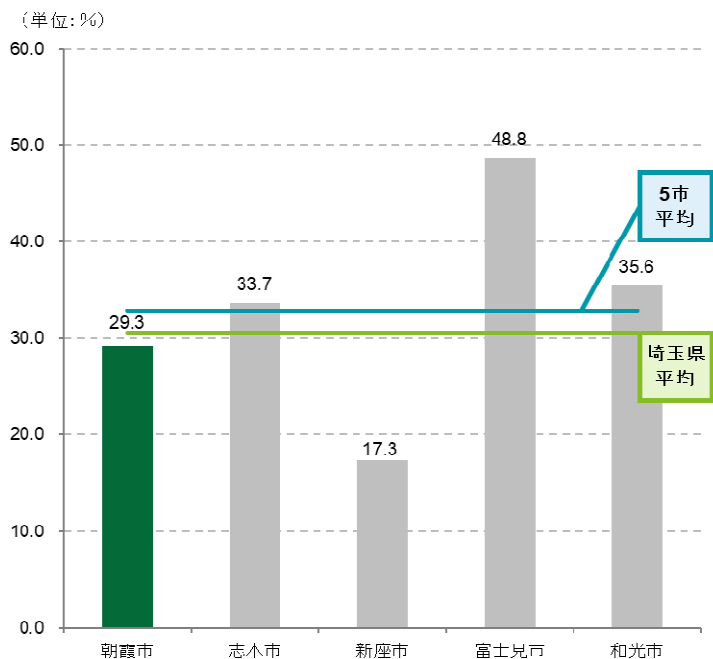
#### 3-4. 都市基盤

##### 水道の基幹管路の耐震化率

水道の基幹管路の耐震化率は、比較自治体及び埼玉県平均より低い水準であるため、朝霞市の水道管の耐震化状況は、耐震化率向上に向けた取り組みが必要だと考えられる。

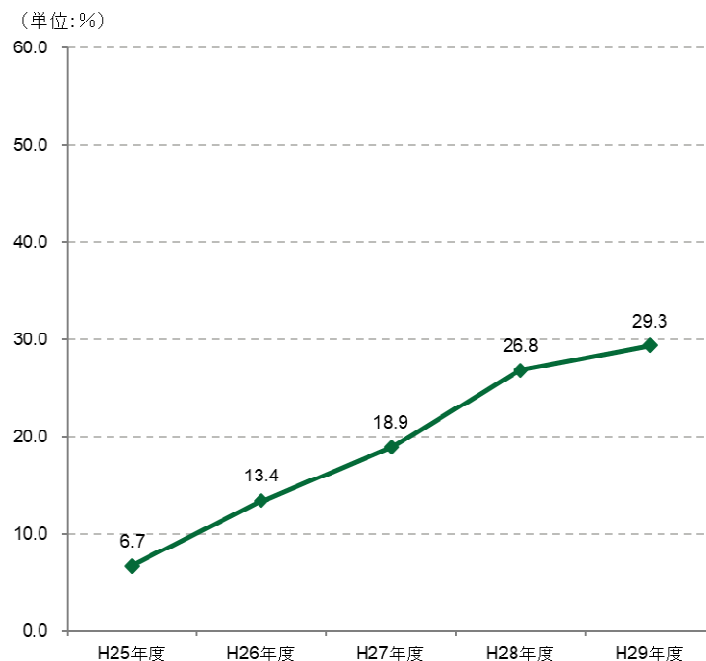
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(32.9%)、埼玉県平均(30.6%)をとともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:厚生労働省「水道事業における耐震化の状況」

### 3. 分析結果(分野別)

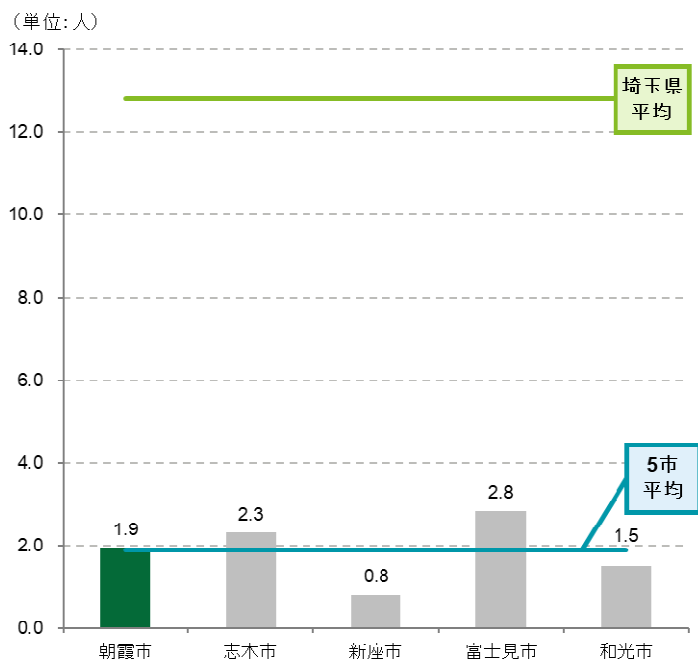
#### 3-4. 都市基盤

##### 人口1千人あたり非水洗化人口

総人口に対する非水洗化人口は、埼玉県平均より低い水準にあり、減少傾向で推移しているものの、比較自治体平均と同じ水準となっている。

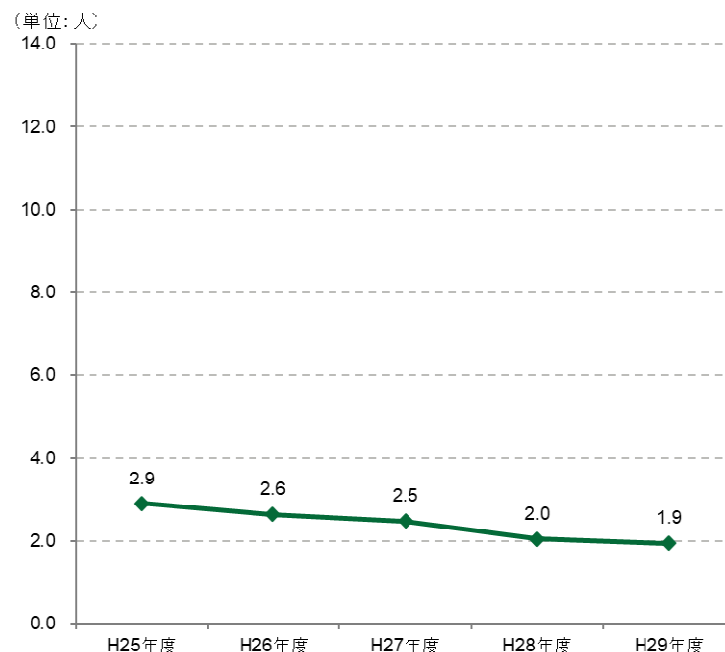
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市、志木市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(1.9人)と同じだが、埼玉県平均(12.8人)を下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

### 3. 分析結果(分野別)

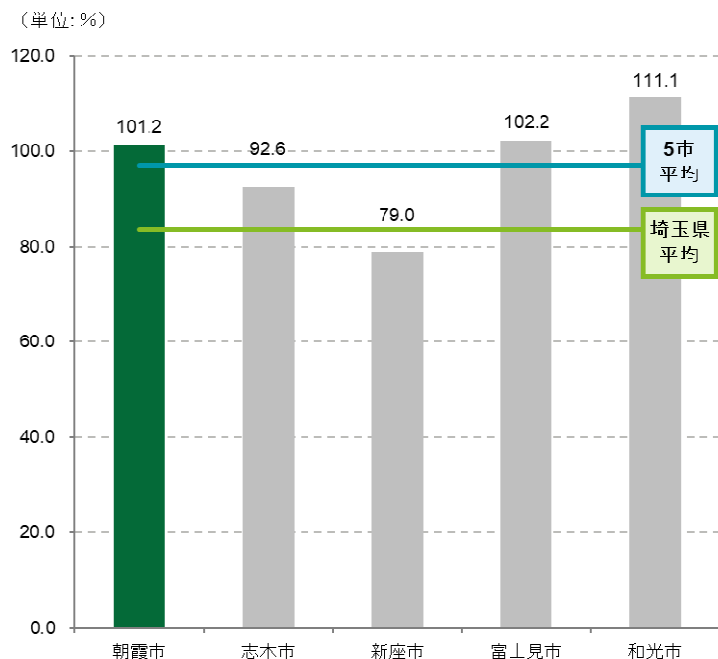
#### 3-4. 都市基盤

##### 経費回収率(下水道)

下水道の経費回収率は、比較自治体及び埼玉県平均よりも高い水準にあり、増加傾向にあるため、朝霞市の下水道事業は、埼玉県において、健全な運営がされていると考えられる。

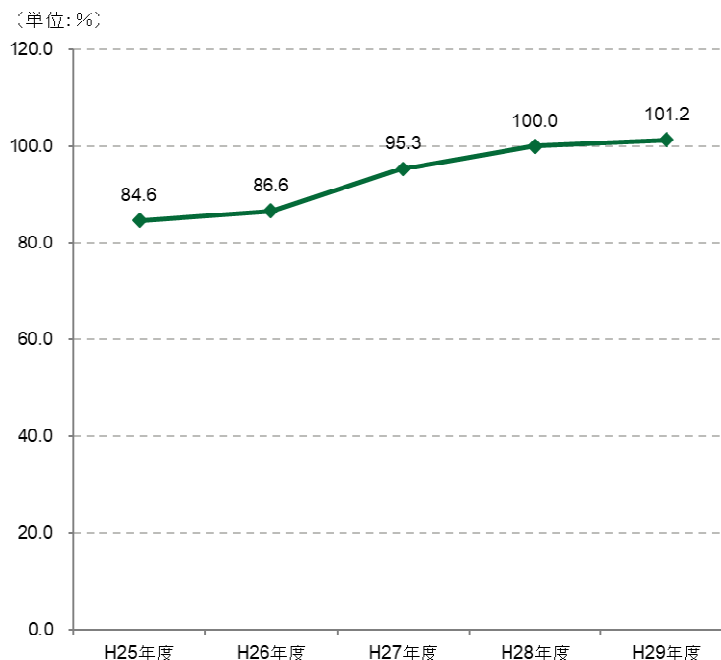
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市、富士見市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(97.2%)、埼玉県平均(83.6%)をともに上回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所: 埼玉県「経営比較分析表」

## 3. 分析結果(分野別)

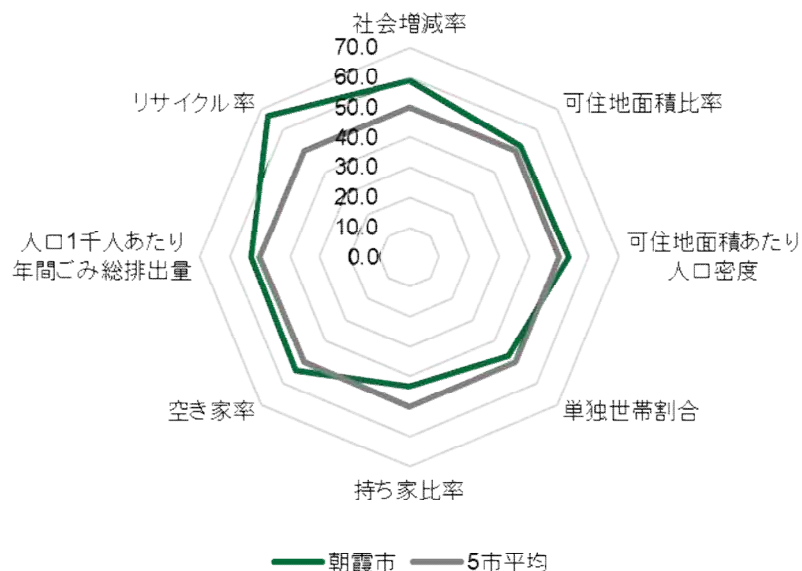
### 3-5. 住環境

#### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市 順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	社会増減率	%		0.83	0.47	2	58.9	0.27	0.00	0.30	0.95
2	可住地面積比率	%		99.1	98.4	4	52.5	100.0	93.9	99.6	99.6
3	可住地面積あたり人口密度	人/ha		75.0	71.9	3	53.2	80.3	75.8	54.9	73.5
4	単独世帯割合	%	※	36.4	35.0	4	46.9	31.3	30.1	36.3	41.1
5	持ち家比率	%		49.4	55.6	4	43.1	62.2	66.1	56.8	43.8
6	空き家率	%	※	11.1	11.8	3	53.6	11.6	10.4	10.6	15.5
7	人口1千人あたり年間ごみ総排出量	t	※	274.4	276.1	2	53.1	279.4	282.1	268.0	276.3
8	リサイクル率	%		34.1	28.2	1	66.9	28.1	26.2	25.2	27.6

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

レーダーチャート



分析コメント

- 「社会増減率」、「可住地面積比率」、「可住地面積あたり人口密度」、「空き家率」、「人口1千人あたり年間ごみ総排出量」、「リサイクル率」は比較自治体の平均を上回っており、特に「リサイクル率」は比較自治体の中で最も高い水準となっている。
- 「単独世帯割合」、「持ち家比率」は比較自治体の平均を下回っている。
- 「持ち家比率」が比較自治体の中で低い水準にあることから、今後人口の定着を図るには、**持ち家の取得促進**が必要と考えられる。



### 3. 分析結果(分野別)

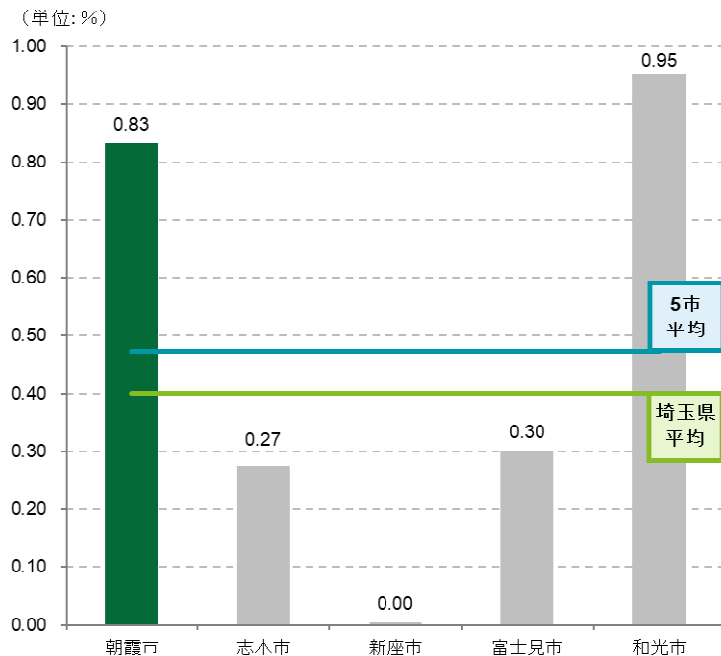
#### 3-5. 住環境

##### 社会増減率

総人口に占める社会増減数(転入者数－転出者数)は、比較自治体及び埼玉県平均と比較して高い水準にあるため、朝霞市の社会移動による増加率が、埼玉県において相対的に高いと考えられる。

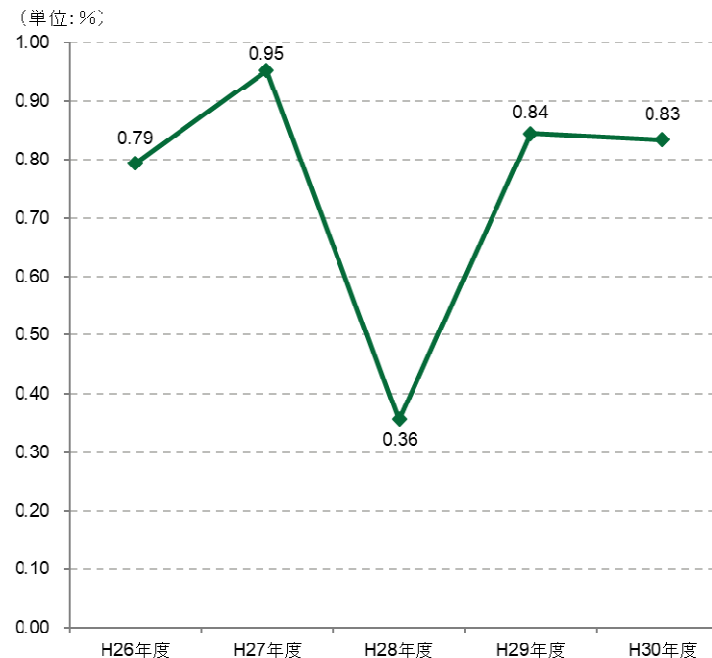
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市について2番目に高い水準にある。
- 5市平均(0.47%)、埼玉県平均(0.40%)をとともに上回っている。



経年比較

- 平成28年度に減少したものの、平成30年度には平成26年度と同じ水準まで増加している。



出所:総務省「住民基本台帳」

## 3. 分析結果(分野別)

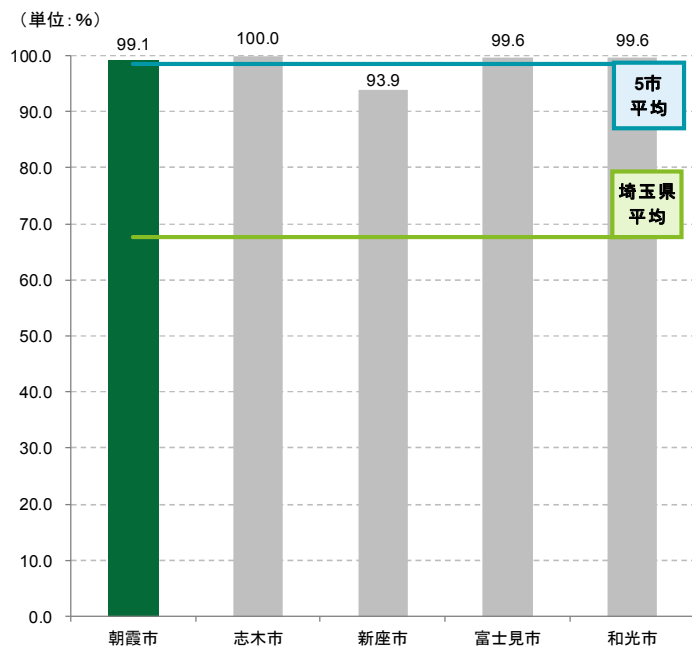
### 3-5. 住環境

#### 可住地面積比率

総面積に占める可住地面積は、埼玉県平均より高い水準であり、朝霞市の林野面積及び湖沼面積を除いた面積の割合は、埼玉県において相対的に多いと考えられる。

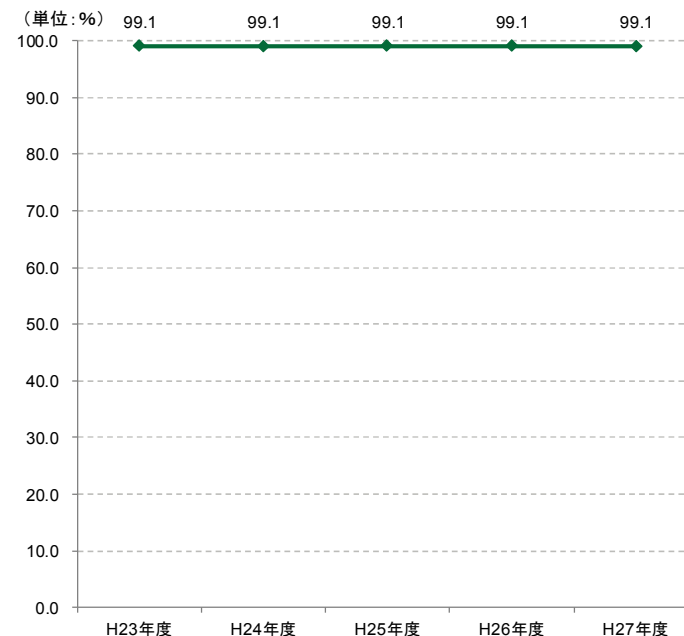
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(98.4%)を上回っているが、埼玉県平均(67.8%)を下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所: 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

### 3. 分析結果(分野別)

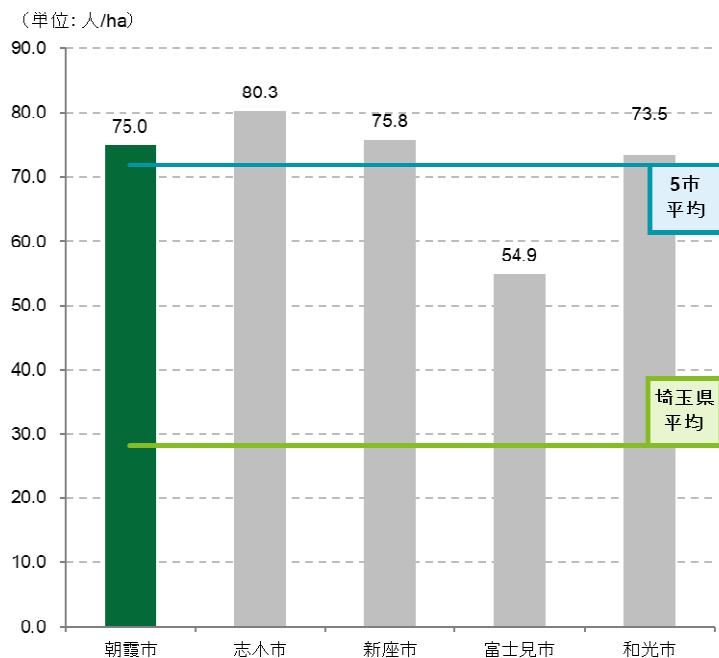
#### 3-5. 住環境

##### 可住地面積あたり人口密度

可住地面積に対する総人口の割合は、比較自治体及び埼玉県平均を上回っているため、朝霞市の人口密度は、埼玉県において相対的に高いと考えられる。

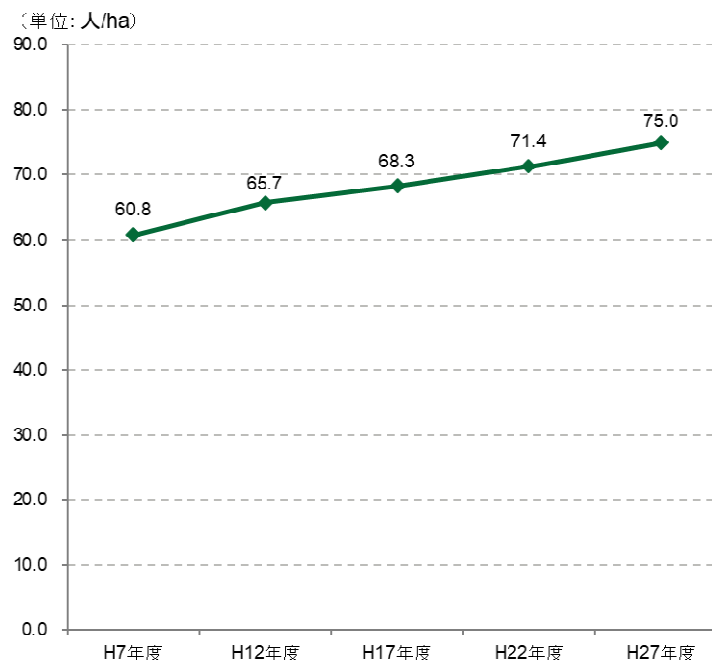
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(71.9人/ha)、埼玉県平均(28.2人/ha)を上回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:総務省「国勢調査」

### 3. 分析結果(分野別)

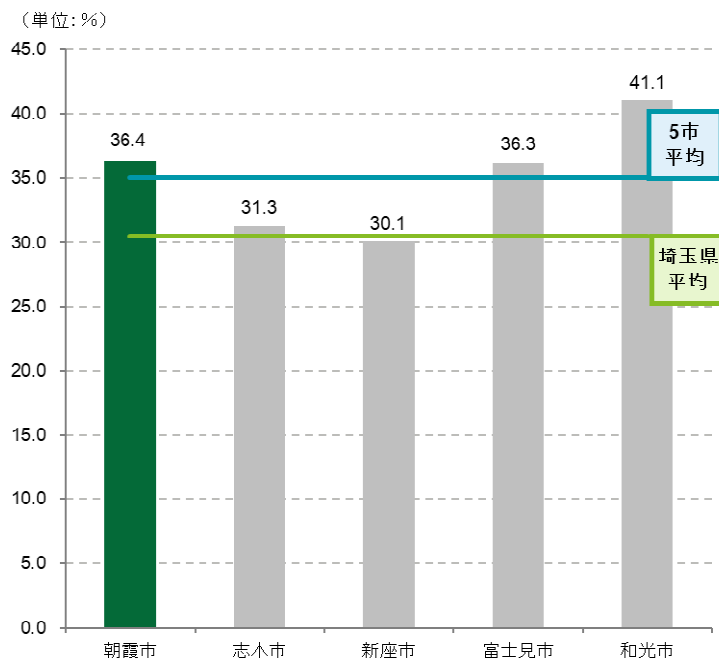
#### 3-5. 住環境

##### 単独世帯割合

全世帯に占める単独世帯の数は、比較自治体及び埼玉県平均より高い水準にあるため、朝霞市の単身者は相対的に多いと考えられる。

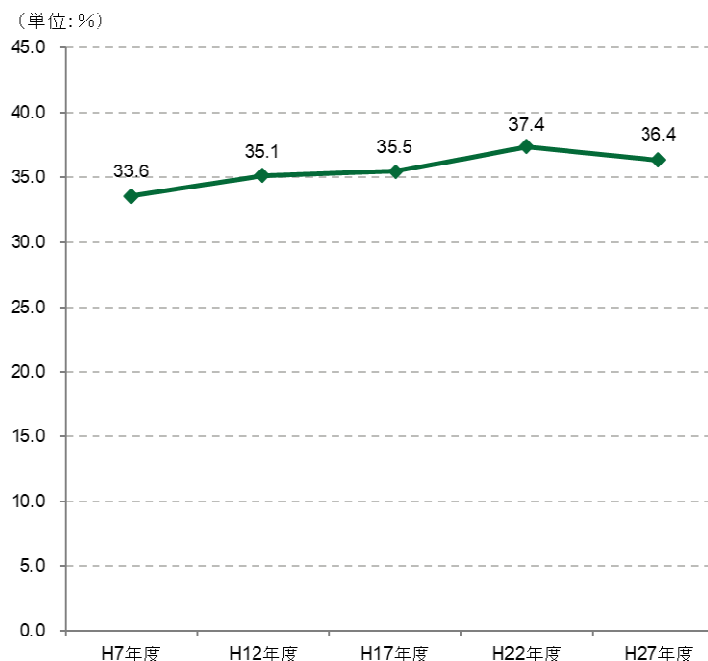
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(35.0%)、埼玉県平均(30.5%)をともに上回っている。



経年比較

- 平成22年度まで増加傾向で推移していたが、平成27年度には減少している。



出所:総務省「国勢調査」

## 3. 分析結果(分野別)

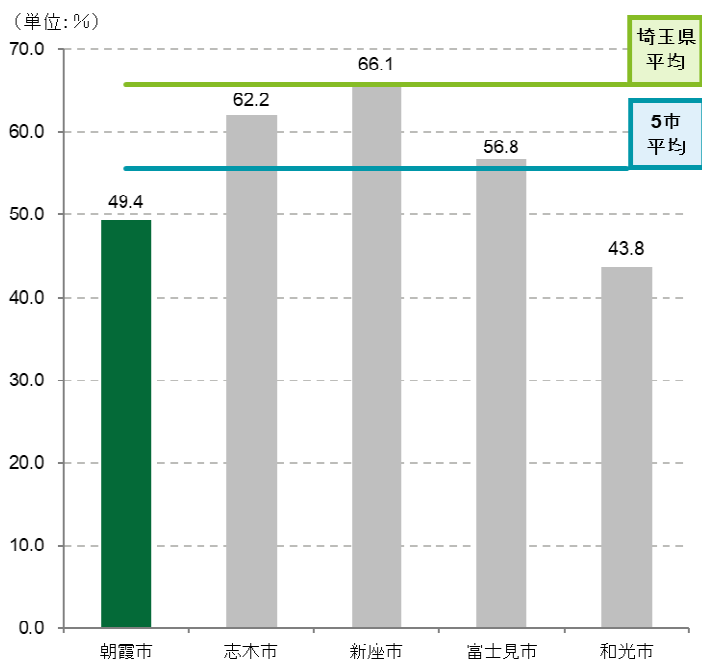
### 3-5. 住環境

#### 持ち家比率

住宅数(空き家を除く)に占める持ち家の数は、比較自治体及び埼玉県平均より低い水準にあるため、朝霞市内で家を持ち、定住している人は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。定住者増の取り組みを検討する際、持ち家取得の推進が手法の一つとして考えられる。

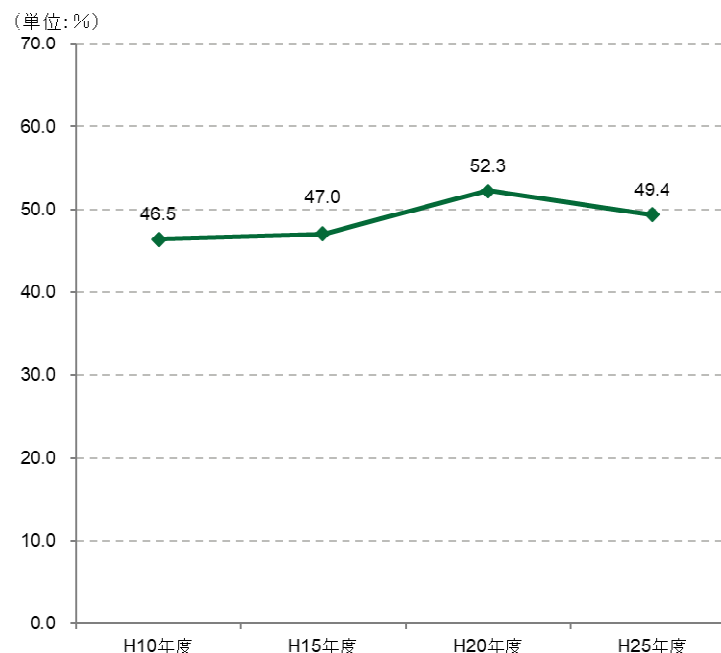
自治体間比較(平成25年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(55.6%)、埼玉県平均(65.9%)をともに下回っている。



経年比較

- 平成20年度まで増加傾向で推移していたが、平成25年度には減少している。



出所:総務省「住宅・土地統計調査」

## 3. 分析結果(分野別)

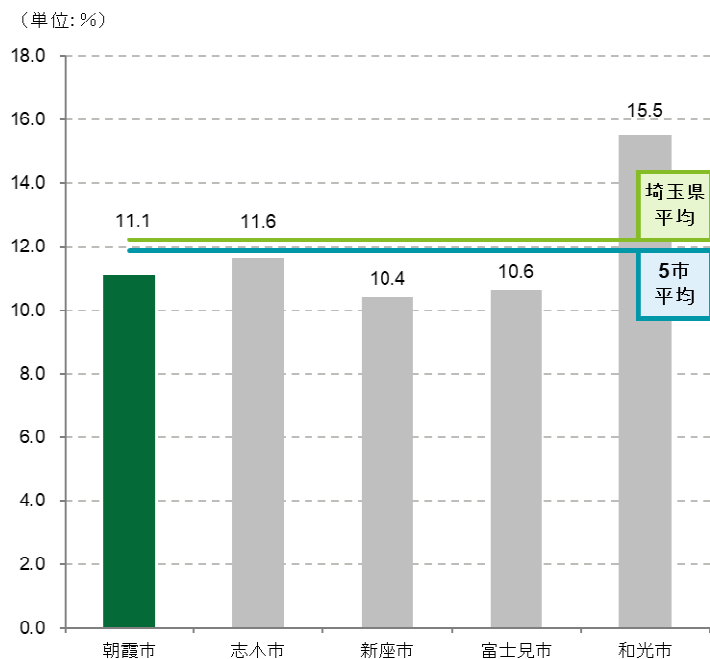
### 3-5. 住環境

#### 空き家率

総住宅数に占める空き家の数は、比較自治体及び埼玉県平均を下回る水準のため、朝霞市の空き家率は、埼玉県において相対的に低いと考えられる。

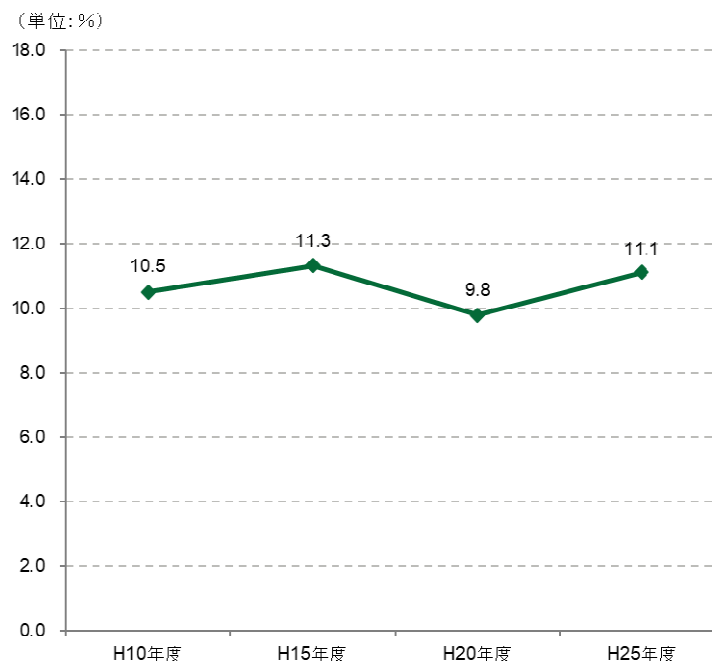
自治体間比較(平成25年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市、志木市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(11.8%)、埼玉県平均(12.2%)をとともに下回っている。



経年比較

- 平成20年度には減少したが、平成25年度には平成15年度と同じ水準まで増加している。



出所:総務省「住宅・土地統計調査」

### 3. 分析結果(分野別)

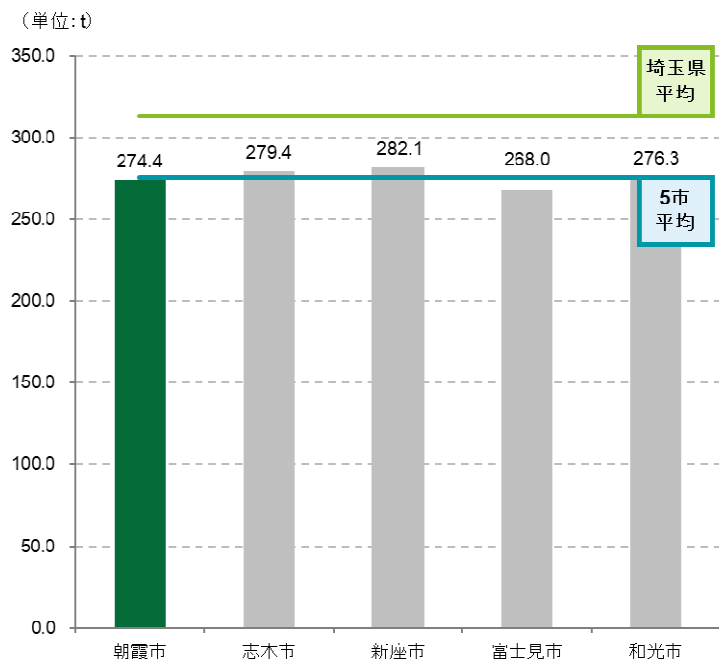
#### 3-5. 住環境

##### 人口1千人あたり年間ごみ総排出量

総人口に対するごみ総排出量は、埼玉県平均を下回る水準にあるため、朝霞市のごみの排出量は、埼玉県において少ないと考えられる。

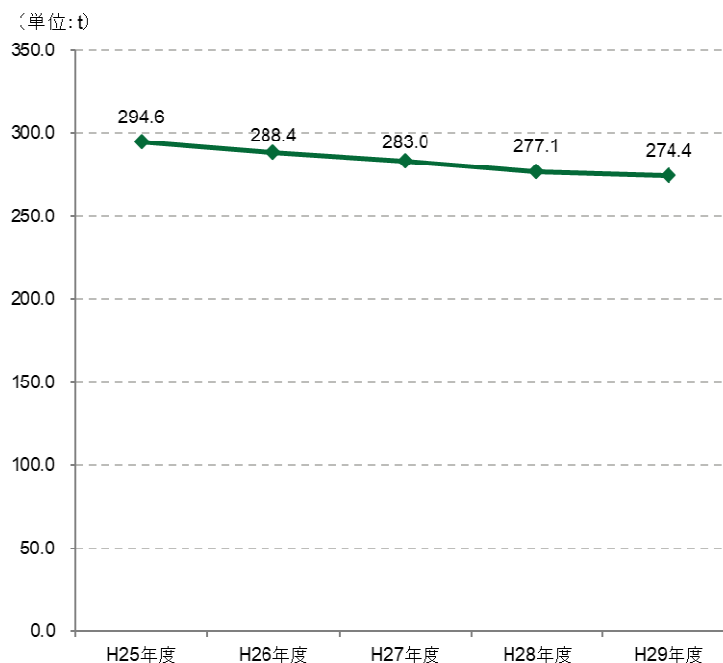
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(276.1t)、埼玉県平均(313.8t)をともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:環境省「一般廃棄物処理実態調査」

## 3. 分析結果(分野別)

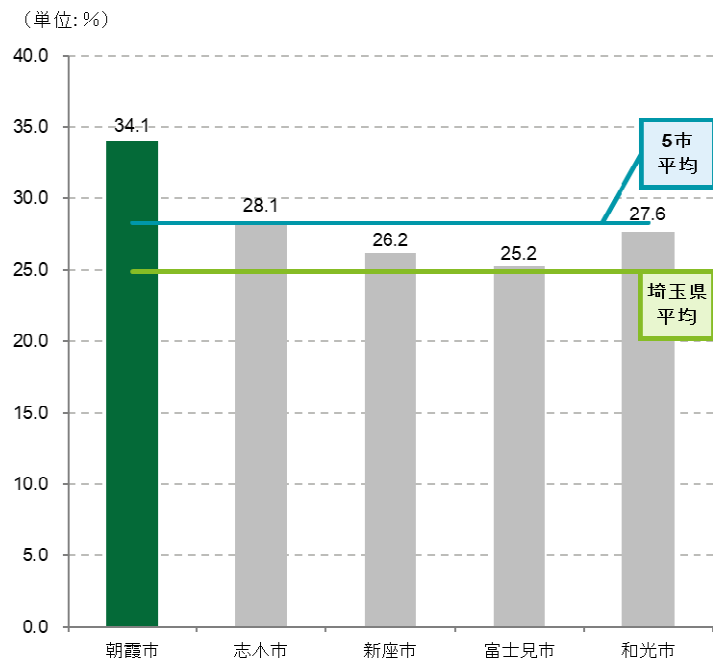
### 3-5. 住環境

#### リサイクル率

朝霞市のリサイクル率は、比較団体及び埼玉県平均を上回っており、またごみの総排出量も減少傾向にあるため(前頁参照)、リサイクルの取り組みが効果をあげていると考えられる。

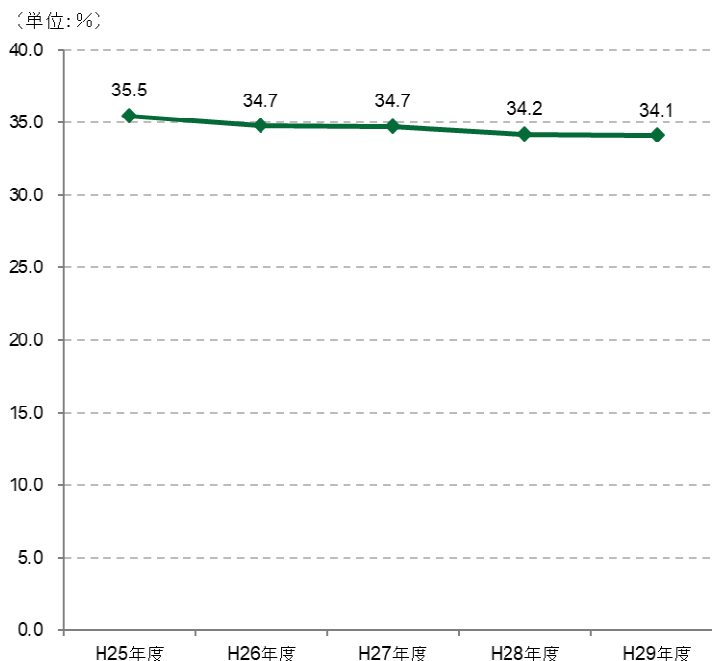
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(28.2%)、埼玉県平均(24.9%)をともに上回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所: 環境省「一般廃棄物処理実態調査」



### 3. 分析結果(分野別)

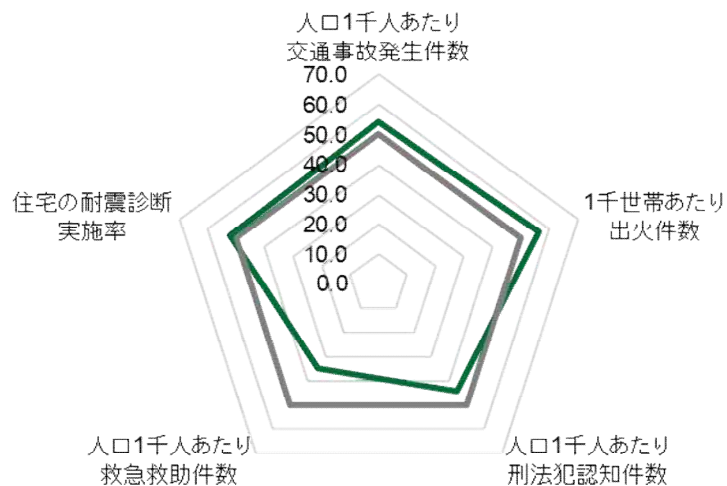
#### 3-6. 安心・安全

##### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市 順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	人口1千人あたり交通事故発生件数	件	※	2.38	2.46	3	54.1	2.27	2.73	2.28	2.66
2	1千世帯あたり出火件数	件	※	0.019	0.021	2	56.5	0.017	0.023	0.021	0.026
3	人口1千人あたり刑法犯認知件数	件	※	7.8	7.2	4	44.3	5.9	8.3	7.7	6.4
4	人口1千人あたり救急救助件数	件	※	138.0	42.8	2	34.8	76.0	0.0	0.0	0.0
5	住宅の耐震診断実施率	%		11.8	11.1	2	52.3	8.3	10.9	8.2	16.2

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

レーダーチャート



分析コメント

- 「人口1千人あたり交通事故発生件数」、「1千世帯あたり出火件数」、「住宅の耐震診断実施率」は比較自治体の平均を上回っている。
- 「人口1千人あたり刑法犯認知件数」は比較自治体の平均を下回っている。
- 「人口1千人あたり刑法犯認知件数」が比較自治体の中で高い水準にあることから、**防犯対策の強化**が課題であると考えられる。

### 3. 分析結果(分野別)

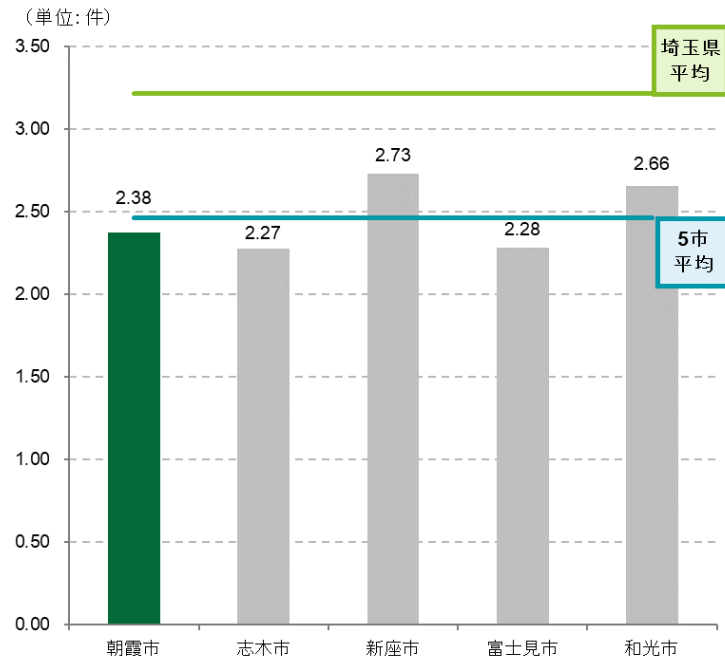
#### 3-6. 安心・安全

##### 人口1千人あたり交通事故発生件数

総人口に対する交通事故発生件数は、比較自治体及び埼玉県平均を下回る水準であるため、朝霞市の交通安全は、埼玉県において相対的に確保されていると考えられる。

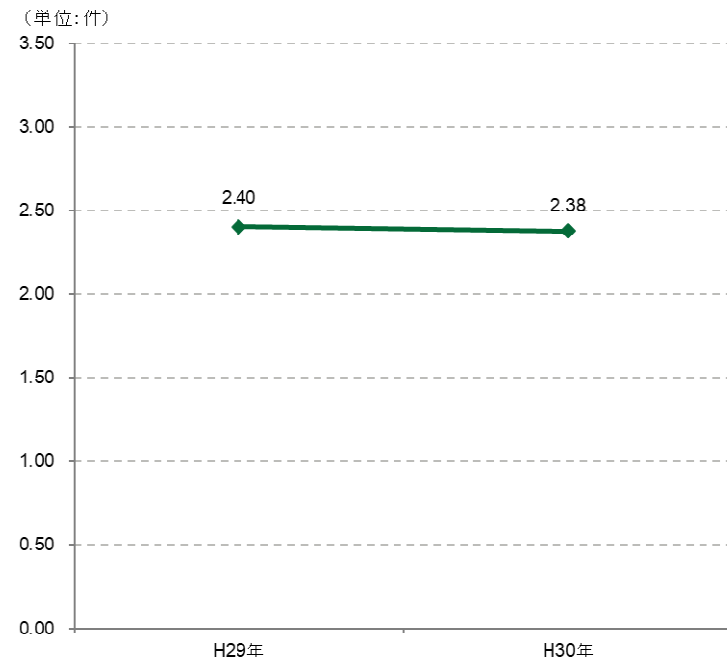
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市、和光市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(2.5件)、埼玉県平均(3.2件)をともに下回っている。



経年比較

- 過去2回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:埼玉県警察「交通事故統計」

### 3. 分析結果(分野別)

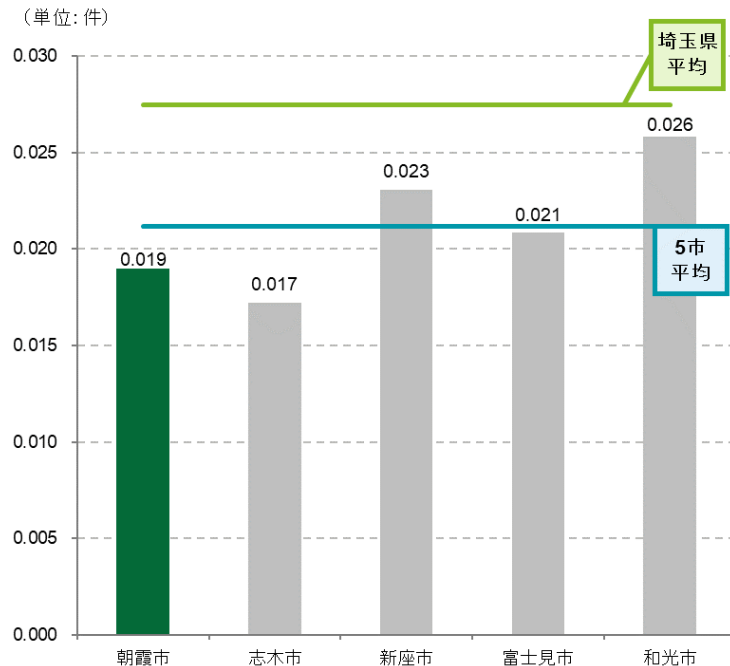
#### 3-6. 安心・安全

##### 1千世帯あたり出火件数

総世帯数に対する出火件数は、比較自治体や埼玉県平均を下回る水準であるため、朝霞市の住宅火災件数は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

##### 自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は志木市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(0.021件)、埼玉県平均(0.027件)をともに下回っている。



##### 経年比較

- 単年度データのため、経年比較はない。

単年度データのため経年比較なし

出所: 埼玉県「出火統計」

### 3. 分析結果(分野別)

#### 3-6. 安心・安全

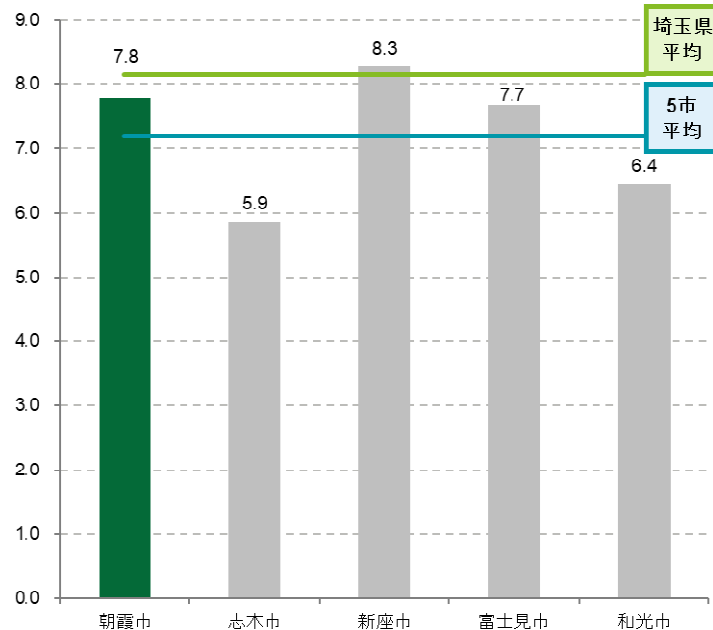
##### 人口1千人あたり刑法犯認知件数

総人口に対する刑法犯認知件数は、比較自治体及び埼玉県平均と同じ水準にあるため、朝霞市の刑法犯罪の発生件数は、埼玉県において標準的な水準にあると考えられる。

##### 自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(7.2件)は上回っているが、埼玉県平均(8.1件)は下回っている。

(単位: 件)



##### 経年比較

- 単年度データのため、経年比較はない。

単年度データのため経年比較なし

出所: 埼玉県「犯罪統計」

### 3. 分析結果(分野別)

#### 3-6. 安心・安全

##### 人口1千人あたり救急救助件数

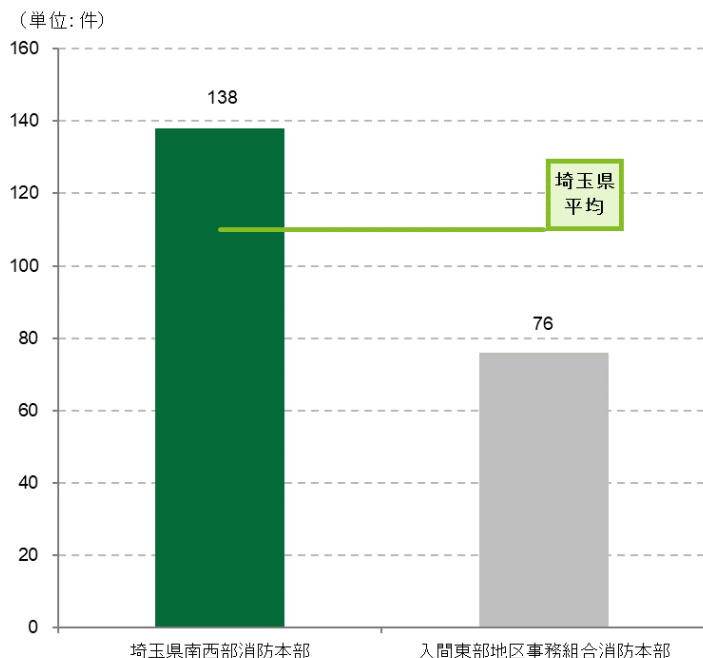
総人口に対する救急救助件数は、埼玉県平均を上回っており、朝霞市の救急救助件数は埼玉県において相対的に多いと考えられる。

自治体間比較(平成29年)

- 入間東部地区事務組合消防本部を上回っている。
- 埼玉県平均(110件)を上回っている。

経年比較

- 単年度データのため、経年比較はない。



単年度データのため経年比較なし  
また、消防年報は消防本部ごとに数値がまとめられているため、自治体ごとの数値取得は不可能

出所: 埼玉県「消防年報」

### 3. 分析結果(分野別)

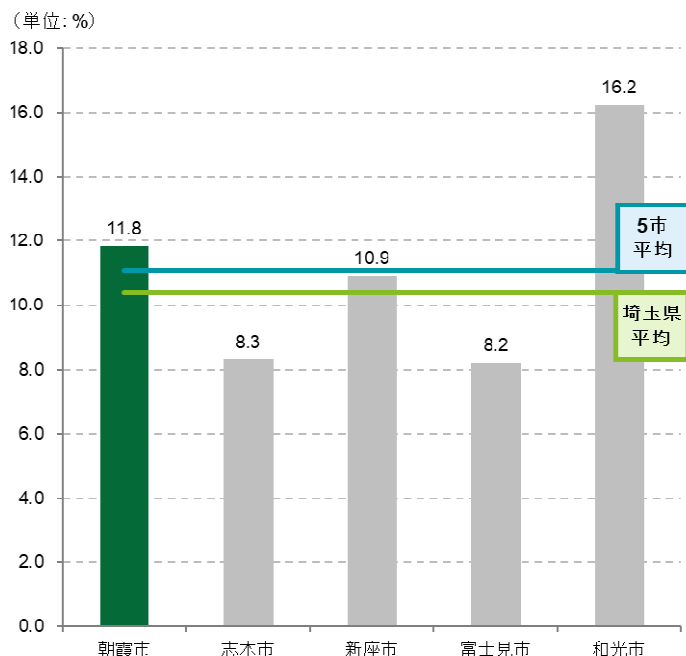
#### 3-6. 安心・安全

##### 住宅の耐震診断実施率

総住宅数に占める住宅耐震診断数の比率は、比較自治体及び埼玉県平均を上回っており、朝霞市内の地震に対する備えを行っている住宅の割合は、埼玉県において相対的に高いと考えられる。

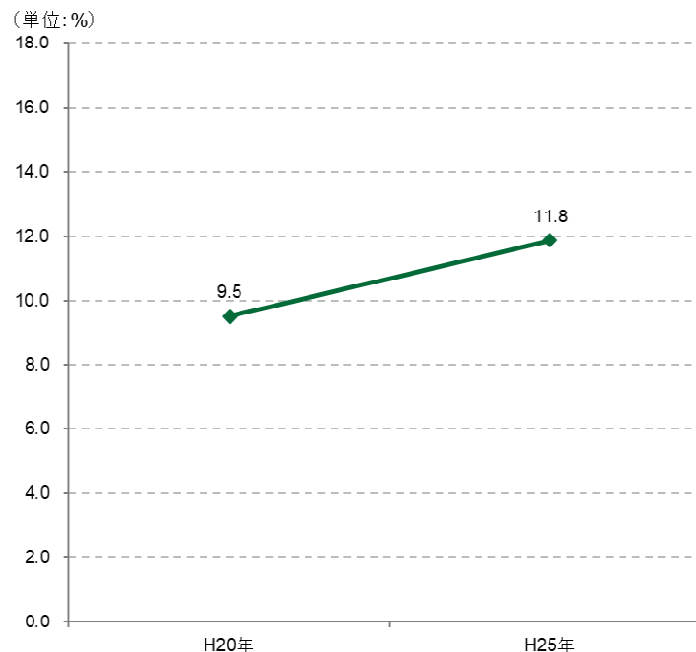
自治体間比較(平成25年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(11.09%)、埼玉県平均(10.40%)をともに上回っている。



経年比較

- 過去2回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:「住宅・土地統計調査」

### 3. 分析結果(分野別)

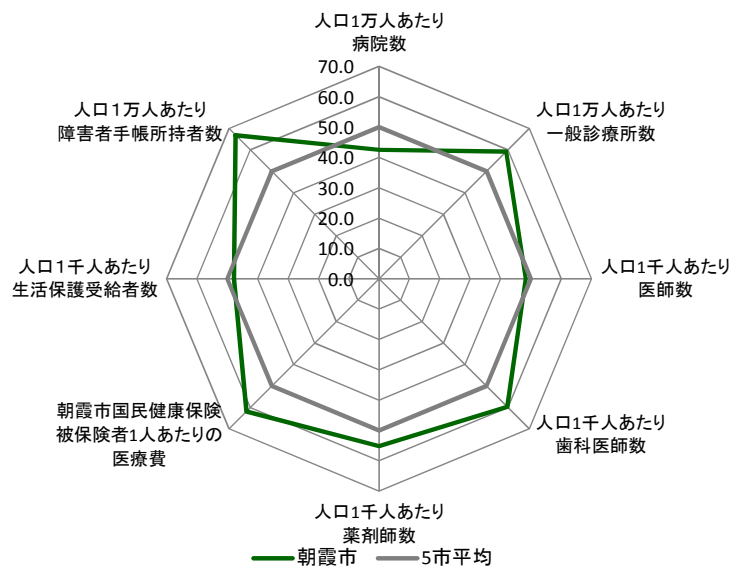
#### 3-7. 健康・福祉

##### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	人口1万人あたり病院数	施設		0.29	0.40	4	42.5	0.26	0.36	0.45	0.61
2	人口1万人あたり一般診療所数	施設		5.27	4.67	2	59.2	4.6	4.1	5.4	4.0
3	人口1千人あたり医師数	人		1.29	1.44	3	48.3	0.58	1.06	1.45	2.82
4	人口1千人あたり歯科医師数	人		0.75	0.64	1	59.7	0.67	0.46	0.72	0.58
5	人口1千人あたり薬剤師数	人		1.91	1.75	2	55.2	1.40	1.52	2.12	1.82
6	人口1人あたり医療費	円	※	307,577	318,920	1	61.9	314,929	324,667	332,052	315,374
7	人口1千人あたり生活保護受給者数	人	※	13.6	13.0	3	47.9	10.2	17.4	15.3	8.7
8	人口1万人あたり障害者手帳所持者数	人	※	338.7	369.1	2	66.8	373.2	385.3	379.2	296.1

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

##### レーダーチャート



##### 分析コメント

- 「人口1万人あたり一般診療所数」、「人口1千人あたり歯科医師数」、「人口1千人あたり薬剤師数」、「人口1人あたり医療費」、「人口1万人あたり障害者手帳所持者数」は比較自治体の中で最も高い水準となっており、特に「人口1千人あたり歯科医師数」、「人口1人あたり医療費」は比較自治体の中で最も高い水準となっている。
- 「人口1千人あたり生活保護受給者数」は比較自治体の平均と同程度である。
- 「人口1万人あたり病院数」「人口1千人あたり医師数」は比較自治体の平均を下回っている。
- 「人口1万人あたり病院数」が、比較自治体の中で低く、「人口1千人あたり医師数」が比較自治体の中でやや低い水準にあることから、**医療環境の充実**に課題があると考えられる。

### 3. 分析結果(分野別)

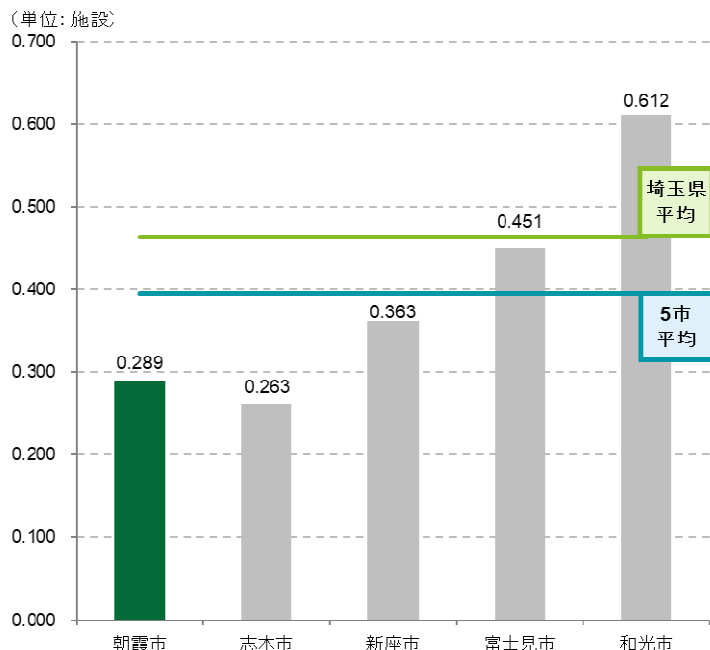
#### 3-7. 健康・福祉

##### 人口1万人あたり病院数

総人口に対する病院の数は、比較自治体及び埼玉県平均を大きく下回る水準であるため、朝霞市の入院を要する医療の場は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

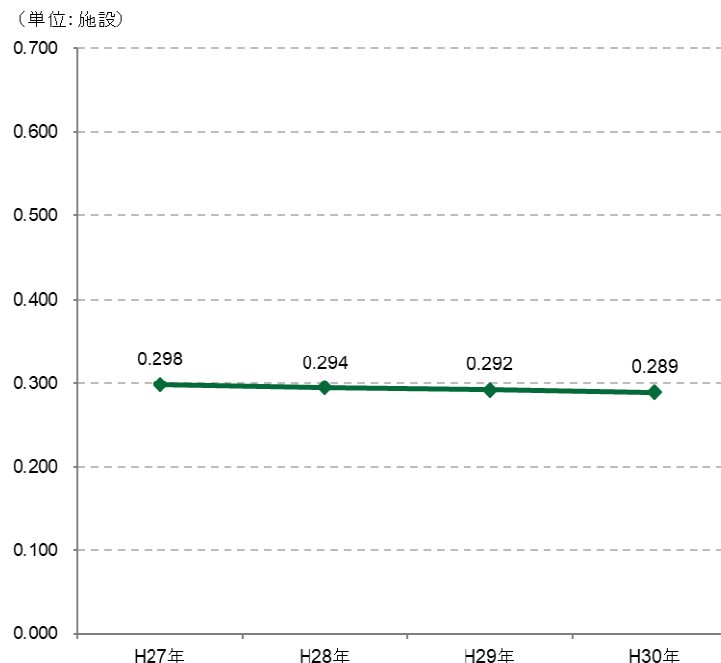
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は志木市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(0.395施設)、埼玉県平均(0.464施設)をともに下回っている。



経年比較

- 過去4回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:「医療施設調査」



## 3. 分析結果(分野別)

### 3-7. 健康・福祉

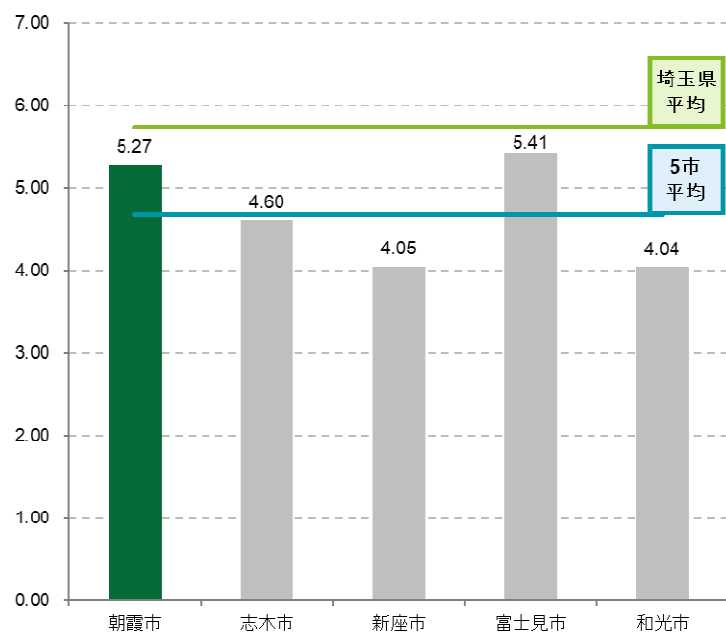
#### 人口1万人あたり一般診療所数

総人口に対する一般診療所の数は、比較自治体及び埼玉県平均と同じ水準であるため、朝霞市の日々の健康を守る医療の場は、埼玉県において標準的な水準で整備されていると考えられる。

自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(4.67施設)は上回っているが、埼玉県平均(5.74施設)は下回っている。

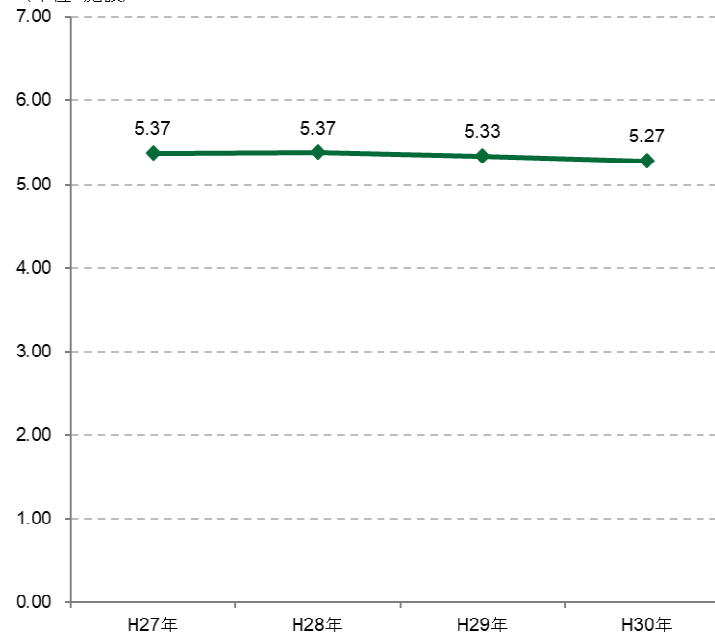
(単位: 施設)



経年比較

- 過去4回分を比較すると、減少傾向で推移している。

(単位: 施設)



出所:「医療施設調査」

## 3. 分析結果(分野別)

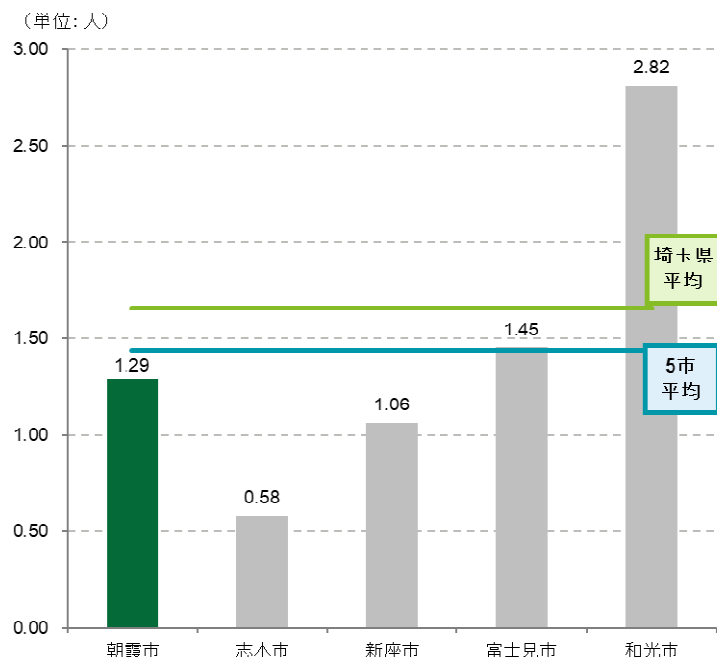
### 3-7. 健康・福祉

#### 人口1千人あたり医師数

総人口に対する医師数は、比較自治体及び埼玉県平均を下回る水準であり、国の目標値(2.30人)も下回っているため、朝霞市の医師数は、今後増加に向けた取り組みを推進する必要があると考えられる。

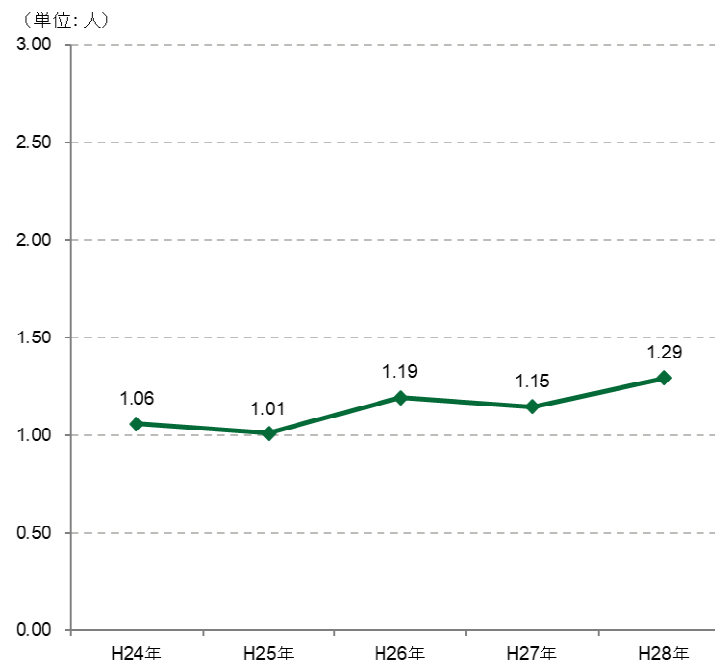
自治体間比較(平成28年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市、富士見市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(1.44人)、埼玉県平均(1.66人)をともに下回っている。



経年比較

- 平成27年に減少したものの、増加傾向で推移している。



出所:「医師・歯科医師・薬剤師調査」

## 3. 分析結果(分野別)

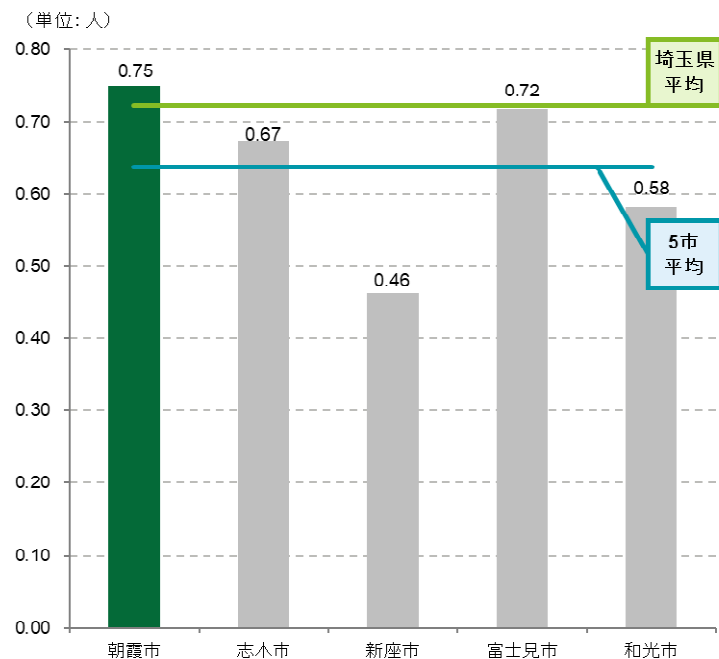
### 3-7. 健康・福祉

#### 人口1千人あたり歯科医師数

総人口に対する歯科医師数は、比較自治体の中で最も高い水準にあり、朝霞市の歯科医師数は、埼玉県において相対的に多いが、国の目標値(0.50人)と比較すると、過剰気味であると考えられる。

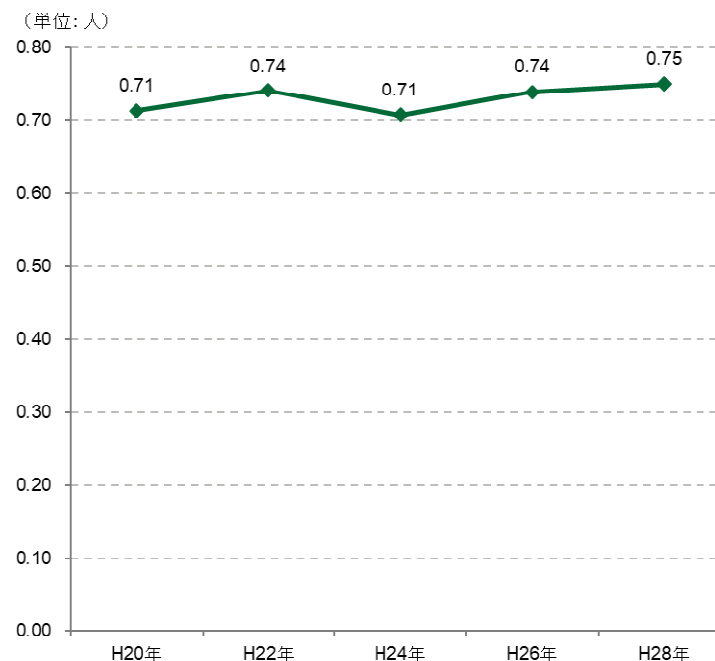
自治体間比較(平成28年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(0.64人)、埼玉県平均(0.72人)をとともに上回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:「医師・歯科医師・薬剤師調査」

### 3. 分析結果(分野別)

#### 3-7. 健康・福祉

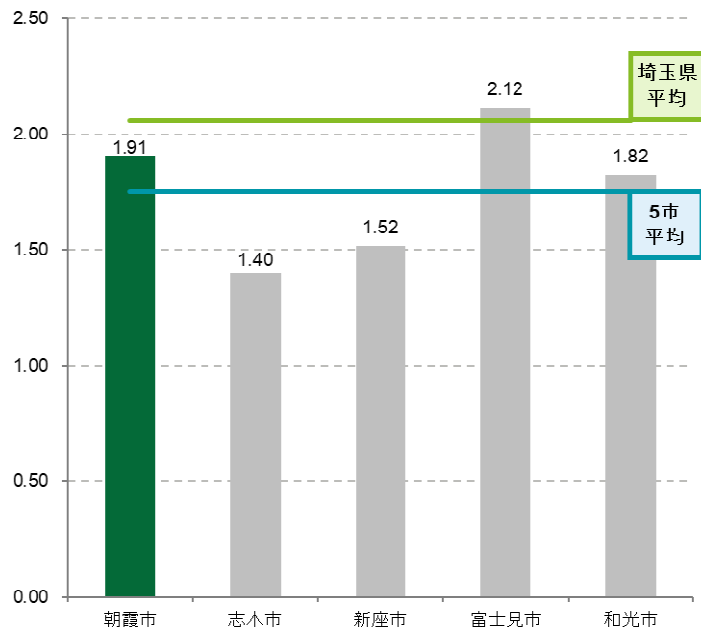
##### 人口1千人あたり薬剤師数

総人口に対する薬剤師数は、比較自治体及び埼玉県平均と同じ水準であるため、朝霞市の薬剤師数は、埼玉県において標準的な水準と考えられる。

自治体間比較(平成28年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(1.75人)は上回っているが、埼玉県平均(2.06人)は下回っている。

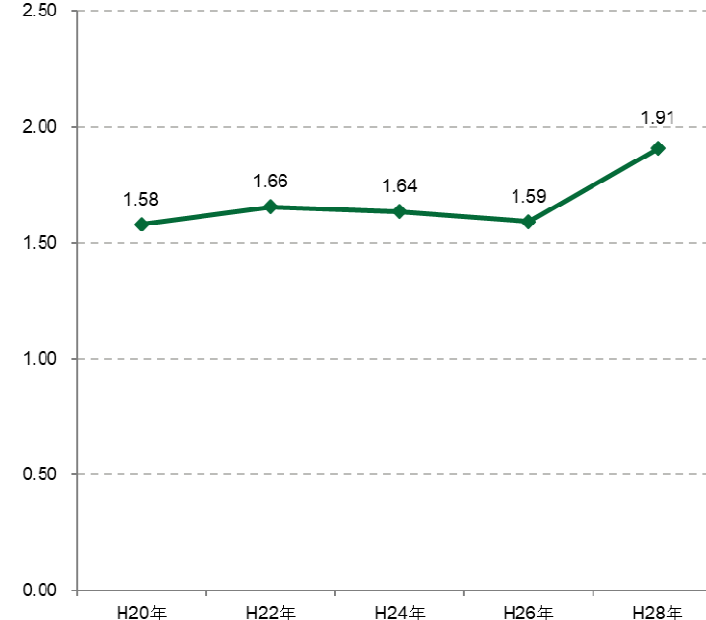
(単位:人)



経年比較

- 平成26年まで横ばいで推移しているものの、平成28年は増加している。

(単位:人)



出所:「医師・歯科医師・薬剤師調査」

## 3. 分析結果(分野別)

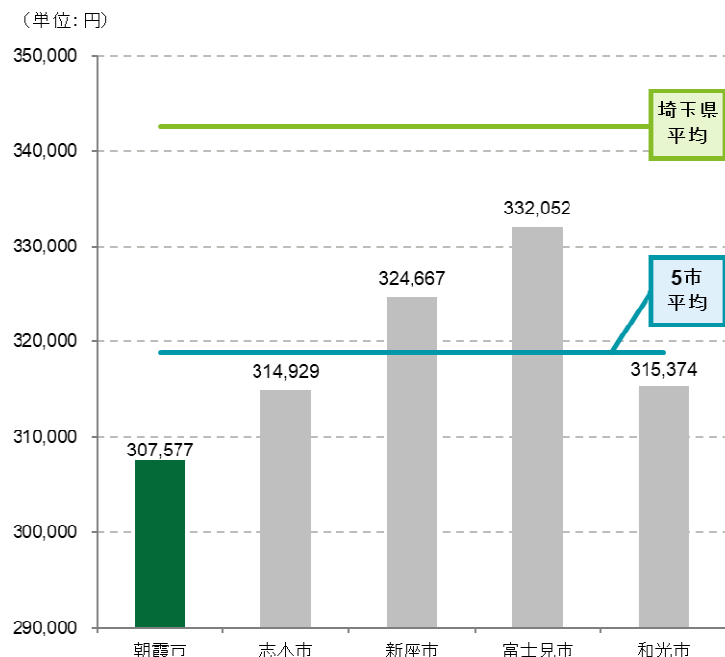
### 3-7. 健康・福祉

#### 人口1人あたり医療費

総人口に対する医療費は、比較自治体及び埼玉県平均を大きく下回る水準であるが、増加傾向で推移しており、朝霞市民1人あたりの医療費は、今後高齢者の増加も相まって増加し続けることが懸念される。

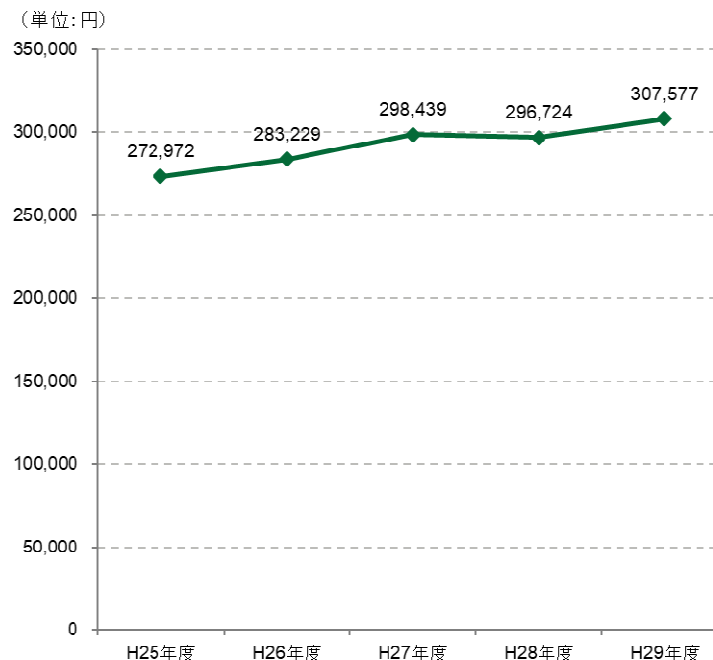
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も低い水準にある。
- 5市平均(318,920円)、埼玉県平均(342,589円)をともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:「国民健康保険事業年報」

## 3. 分析結果(分野別)

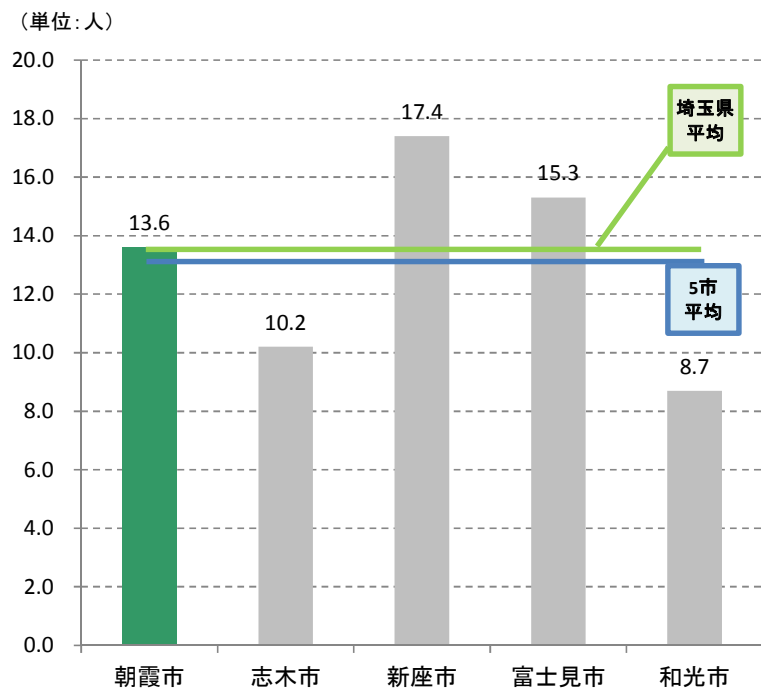
### 3-7. 健康・福祉

#### 人口1千人あたり生活保護受給者数

総人口に対する生活保護受給者数は埼玉県平均とほぼ同じか、若干上回る水準で推移している。今後、増加傾向となった場合には財政負担の増加も懸念される。

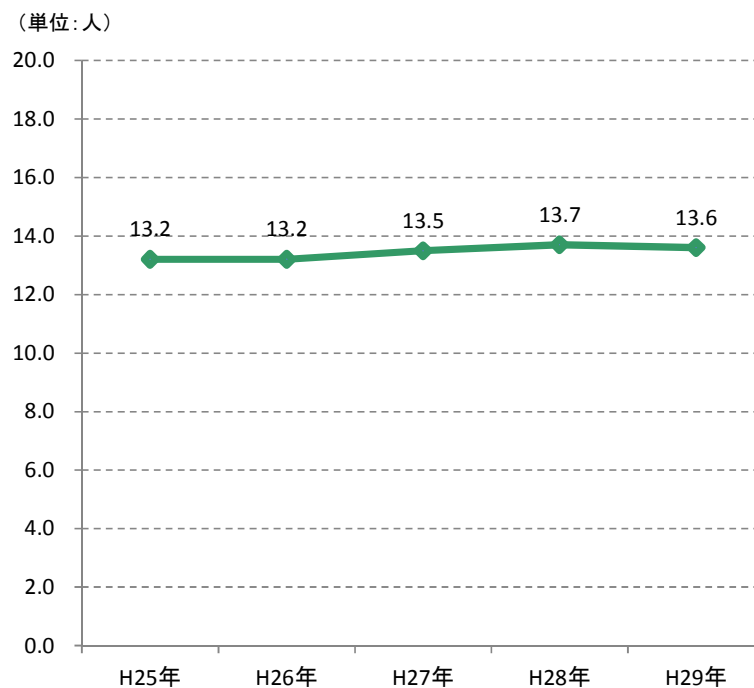
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市・富士見市に次いで3番目に高い水準である。
- 5市平均(13.0)および埼玉県平均(13.3)を上回っている。



経年比較

- 過去5年間では増加傾向にあるが、ほぼ横ばいで推移している。



出所:「埼玉県 保護率の推移(各年度月平均)」

## 3. 分析結果(分野別)

### 3-7. 健康・福祉

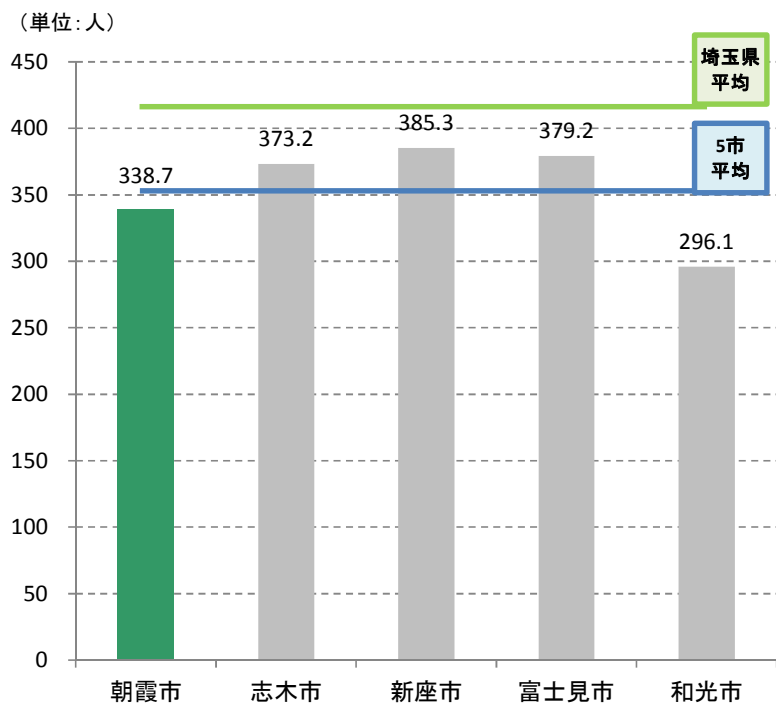
#### 人口1万人あたり障害者手帳所持者数

総人口に対する障害者手帳所持者数は、埼玉県平均(417.9人)より少なく、近隣市とほぼ同水準である。

※障害者手帳は、身体障害者・療育・精神障害者保健福祉の3手帳である。

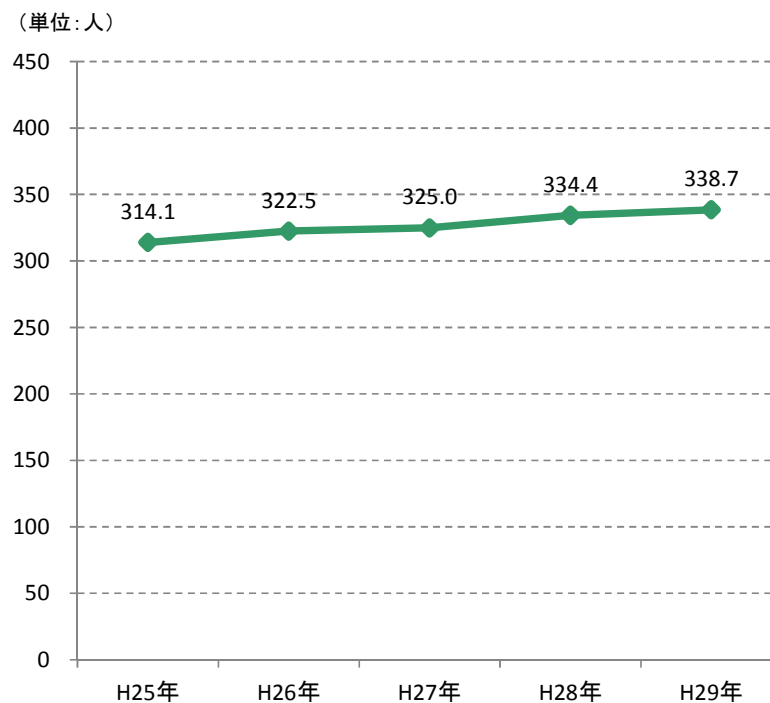
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市の障害者手帳所持者数はやや少ない状況である。
- 5市平均(354.5人)、埼玉県平均(417.9人)をともに下回っている。



経年比較

- 過去5年分を比較すると、障害者数は増加している。



出所:「各市統計資料」

### 3. 分析結果(分野別)

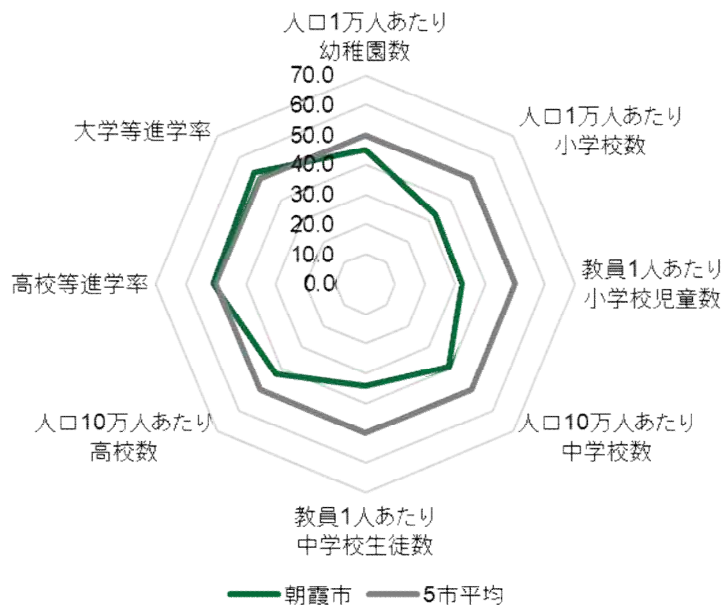
#### 3-8. 教育

##### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市 順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	人口1万人あたり幼稚園数	園		0.5779	0.6567	4	45.1	0.9204	0.6647	0.6313	0.4895
2	人口1万人あたり小学校数	校		0.72	0.98	5	32.8	1.05	1.03	0.99	1.10
3	教員1人あたり小学校児童数	人	※	22.0	19.6	5	32.3	19.0	19.3	18.8	19.1
4	人口10万人あたり中学校数	校		3.61	4.56	5	39.0	5.26	4.83	5.41	3.67
5	教員1人あたり中学校生徒数	人	※	18.1	16.5	5	34.0	15.8	16.8	15.8	15.9
6	人口10万人あたり高校数	校		1.44	2.35	4	42.5	3.94	3.02	0.90	2.45
7	高校等進学率	%		96.0	95.9	3	51.1	94.6	96.4	95.9	96.6
8	大学等進学率	%		58.8	54.2	3	52.6	72.7	53.8	25.5	60.1

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

レーダーチャート



分析コメント

- 「高校等進学率」、「大学等進学率」は比較自治体の平均を上回っている。
- 「人口1万人あたり幼稚園数」、「人口1万人あたり小学校数」、「教員1人あたり小学校児童数」、「人口10万人あたり中学校数」、「教員1人あたり中学校生徒数」、「人口10万人あたり高校数」は比較自治体の平均を下回っており、特に「人口1万人あたり小学校数」、「教員1人あたり小学校児童数」、「人口10万人あたり中学校数」、「教員1人あたり中学校生徒数」は比較自治体の中で最も低い水準となっている。
- 「小学校1万人あたり小学校数」、「教員1人あたり小学校児童数」、「人口10万人あたり中学校数」、「教員1人あたり中学校生徒数」が比較自治体の中で低い水準にあることから、**教育環境の整備**が課題であると考えられる。



### 3. 分析結果(分野別)

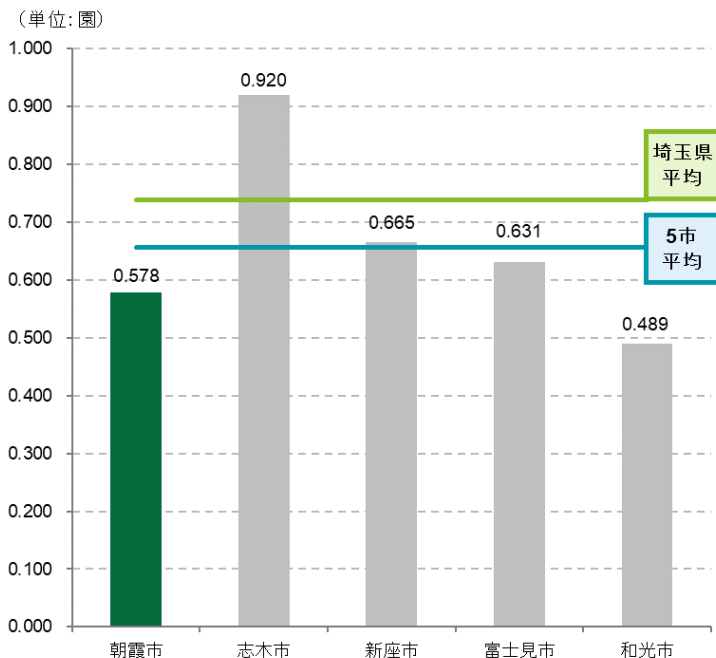
#### 3-8. 教育

##### 人口1万人あたり幼稚園数

総人口に対する幼稚園の数は、比較自治体及び埼玉県平均より低い水準であるため、朝霞市の幼稚園の整備状況は、埼玉県において相対的に低い水準にあると考えられる。

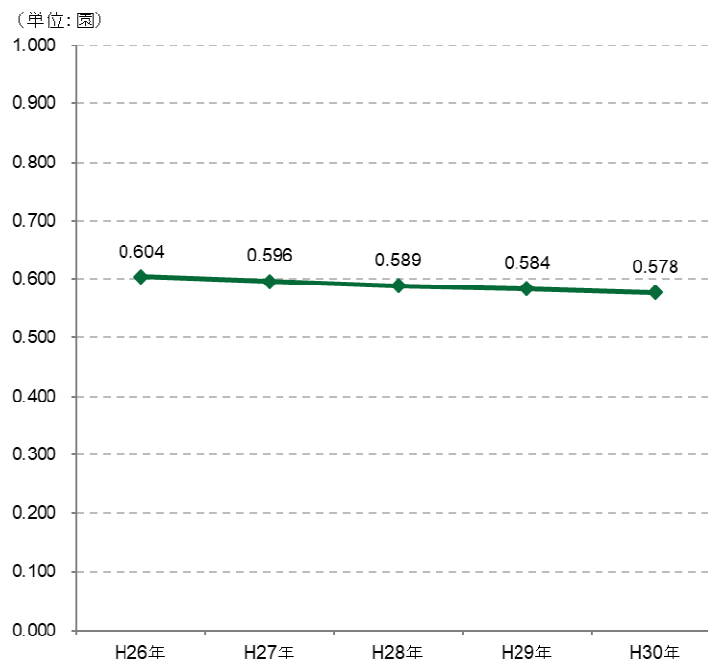
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(0.657園)、埼玉県平均(0.739園)をともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:「学校基本調査」

### 3. 分析結果(分野別)

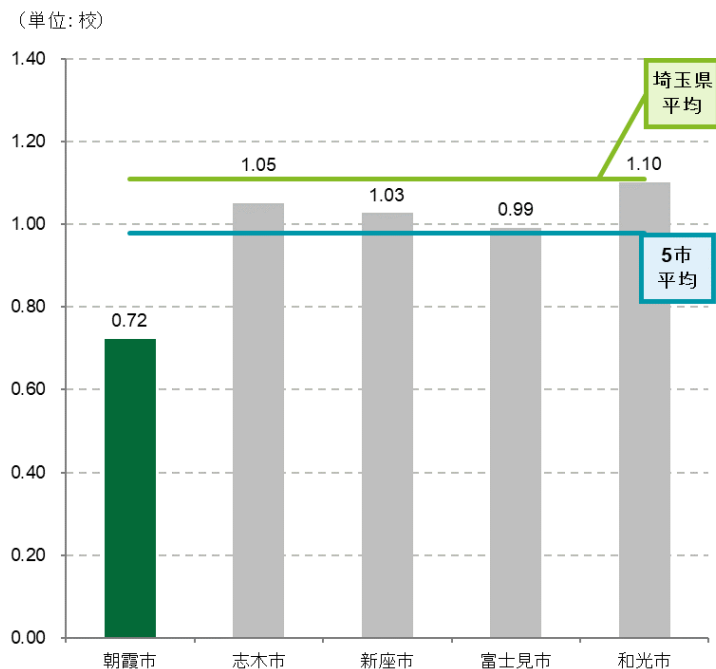
#### 3-8. 教育

##### 人口1万人あたり小学校数

総人口に対する小学校の数は、比較自治体の中で最も低い水準であり、朝霞市の小学校の数は、埼玉県において相対的に低い水準にあると考えられる。

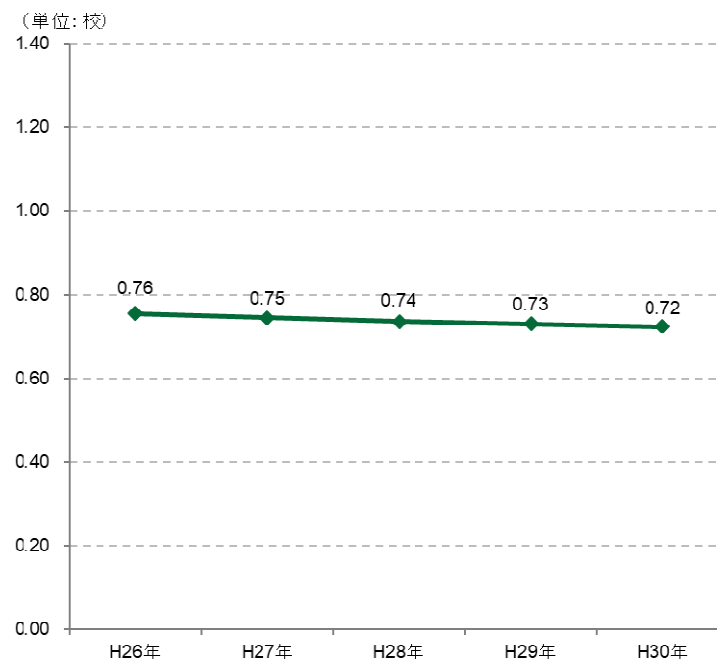
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も低い水準にある。
- 5市平均(0.98校)、埼玉県平均(1.11校)をとともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:「学校基本調査」

## 3. 分析結果(分野別)

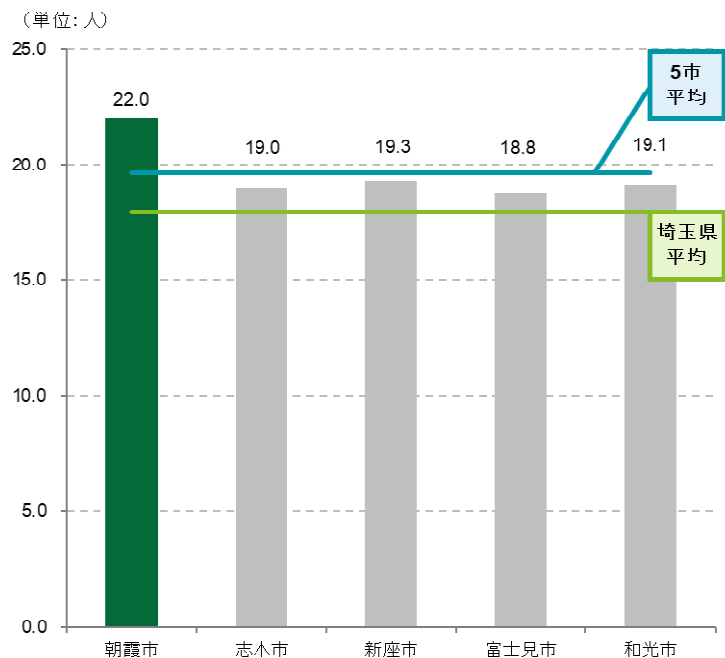
### 3-8. 教育

#### 教員1人あたり小学校児童数

教員数に対する小学校の児童数は、比較自治体及び埼玉県平均を上回る水準にあるため、朝霞市の小学校の教育環境は、埼玉県において相対的に教師の目が児童一人ひとりに行き届きにくい環境であると考えられる。

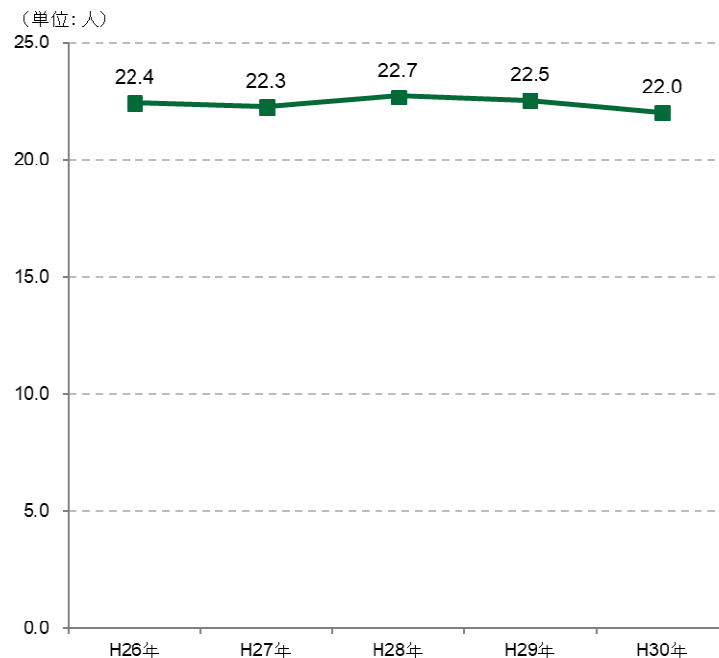
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(19.6人)、埼玉県平均(18.0人)をとともに上回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:「学校基本調査」

### 3. 分析結果(分野別)

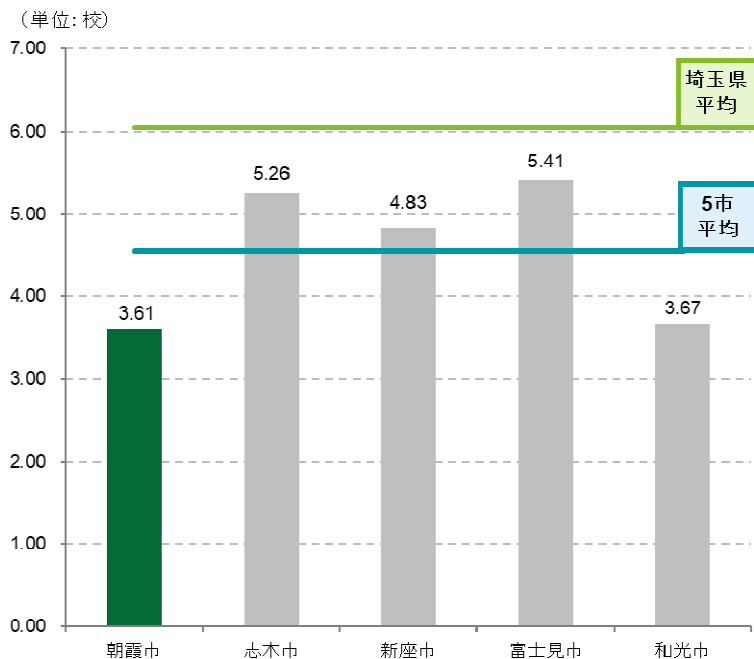
#### 3-8. 教育

##### 人口10万人あたり中学校数

総人口に対する中学校の数は、比較自治体及び埼玉県平均と比較して低い水準にあるため、朝霞市の中学校の数は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

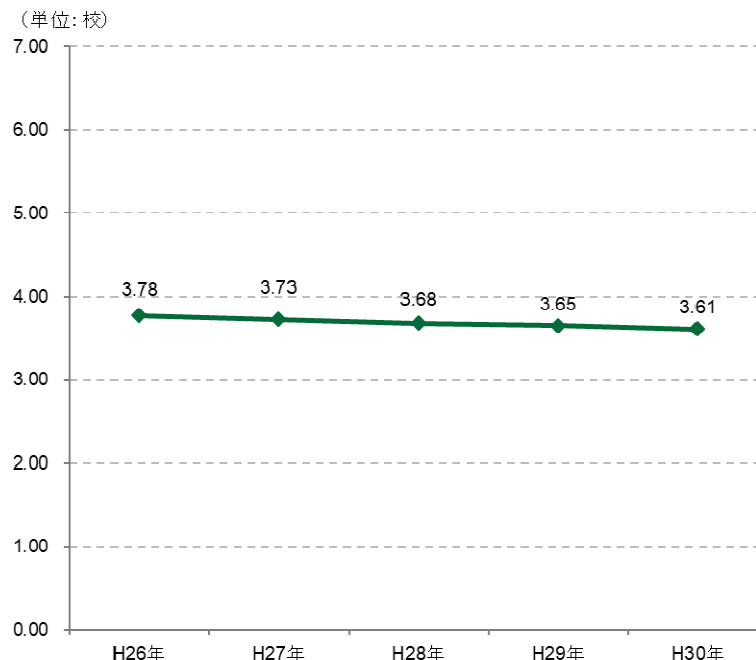
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も低い水準にある。
- 5市平均(4.56校)、埼玉県平均(6.06校)をとともに下回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:「学校基本調査」

## 3. 分析結果(分野別)

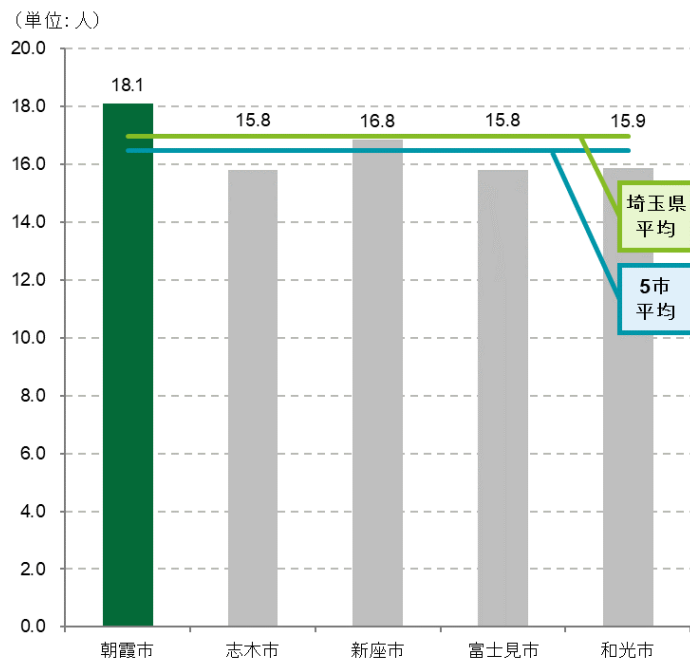
### 3-8. 教育

#### 教員1人あたり中学校生徒数

教員数に対する中学校の生徒数は、比較自治体及び埼玉県平均を上回る水準にあるため、朝霞市の中学校の教育環境は、埼玉県において相対的に教師の目が生徒一人ひとりに行き届きにくい環境であると考えられる。

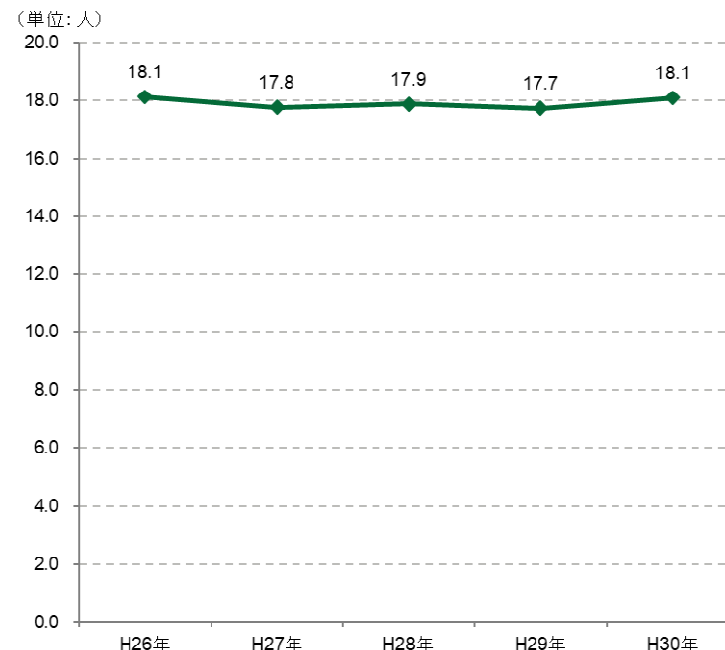
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(16.5人)、埼玉県平均(17.0人)をとともに上回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:「学校基本調査」

## 3. 分析結果(分野別)

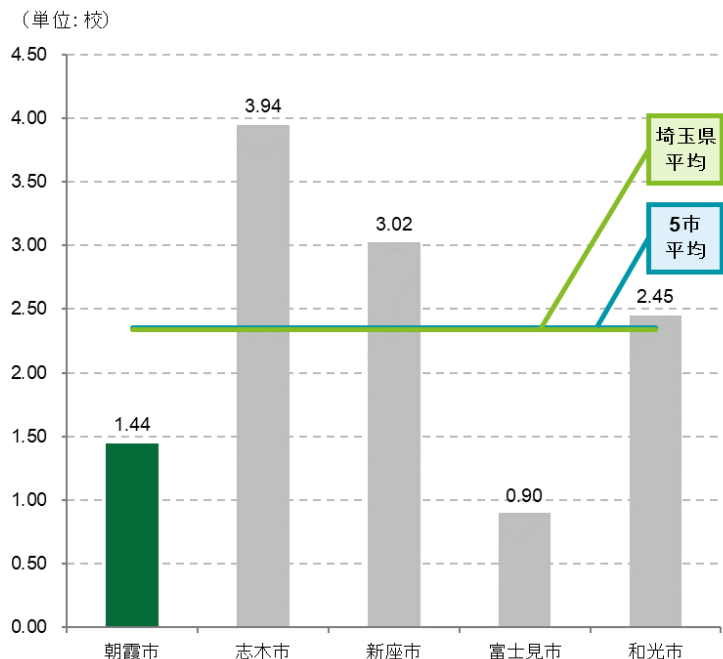
### 3-8. 教育

#### 人口10万人あたり高校数

総人口に対する高校の数は、比較自治体及び埼玉県平均を下回る水準であるため、朝霞市の高校の数は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

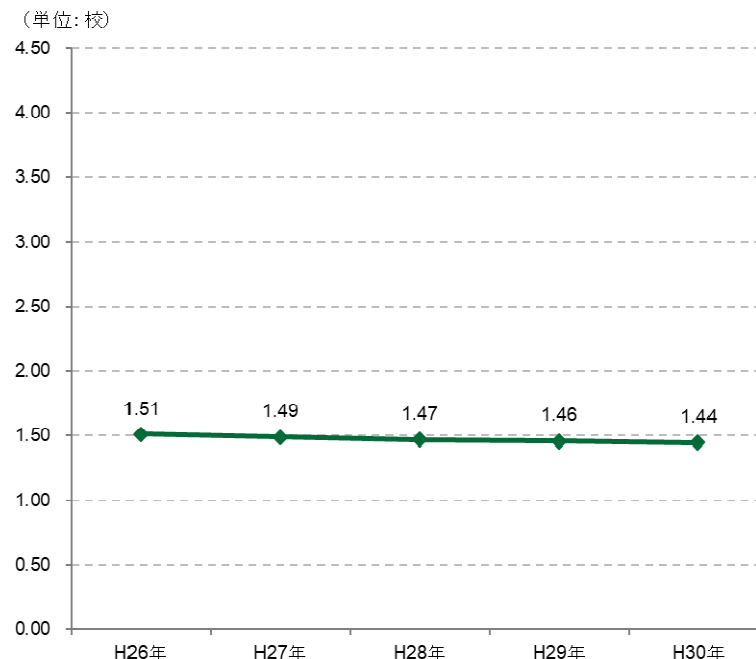
#### 自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(2.35人)、埼玉県平均(2.34人)をともに下回っている。



#### 経年比較

- 過去5回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:「学校基本調査」

## 3. 分析結果(分野別)

### 3-8. 教育

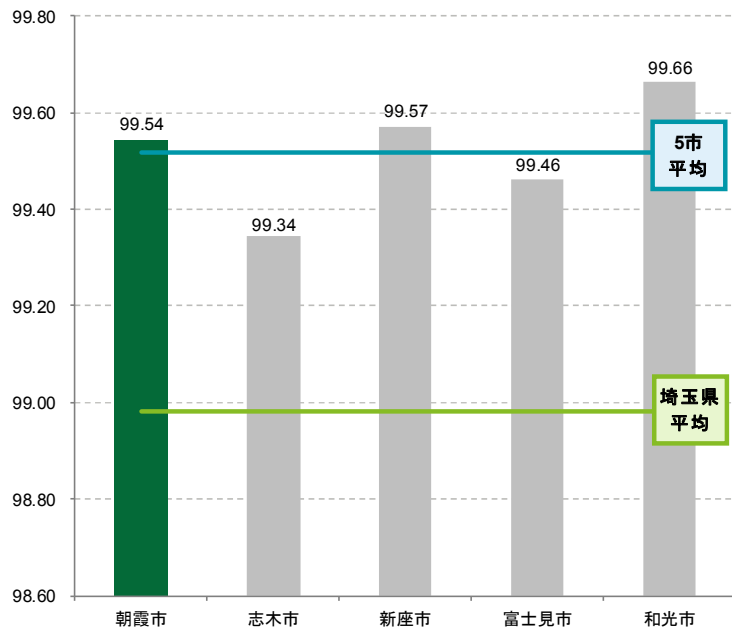
#### 高校等進学率

高校等進学率は、埼玉県平均を上回る水準にあるため、朝霞市の義務教育後の朝霞市内の高校への進学率は、埼玉県において相対的に高いと考えられる。

自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市、新座市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(99.52%)、埼玉県平均(98.98%)をともに上回っている。

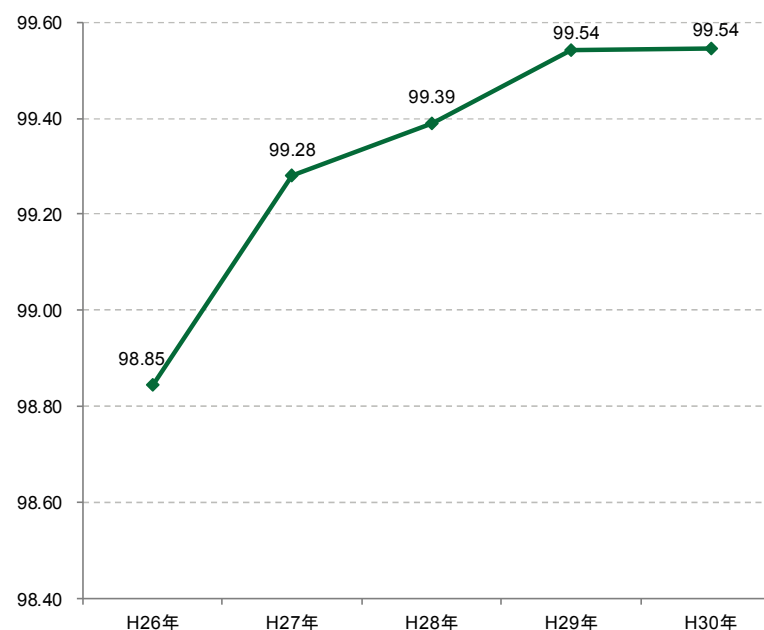
(単位: %)



経年比較

- 過去5回分を比較すると、増加傾向で推移している。

(単位: %)



出所:「学校基本調査」

## 3. 分析結果(分野別)

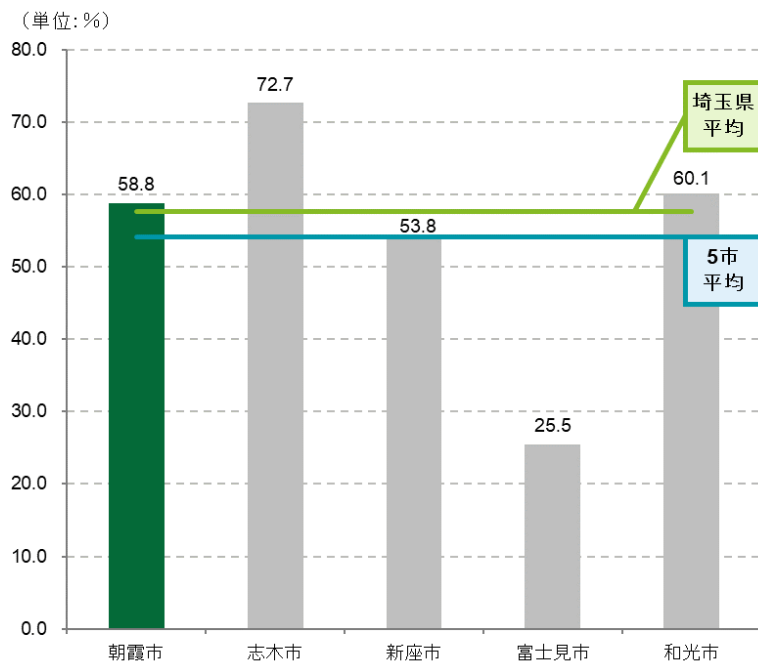
### 3-8. 教育

#### 大学等進学率

大学等進学率は、比較自治体及び埼玉県平均と同じ水準であるため、朝霞市内にある高校から高等教育機関への進学率は、埼玉県において標準的な水準と考えられる。

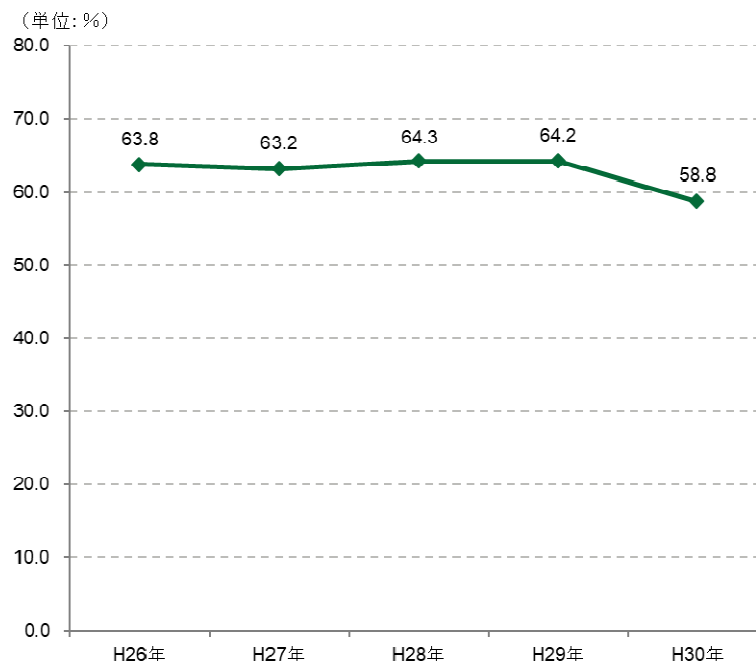
自治体間比較(平成30年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は志木市、和光市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(54.2%)、埼玉県平均(57.6%)をとともに上回っている。



経年比較

- 平成29年までは横ばいで推移しているものの、平成30年に減少している。



出所:「学校基本調査」



## 3. 分析結果(分野別)

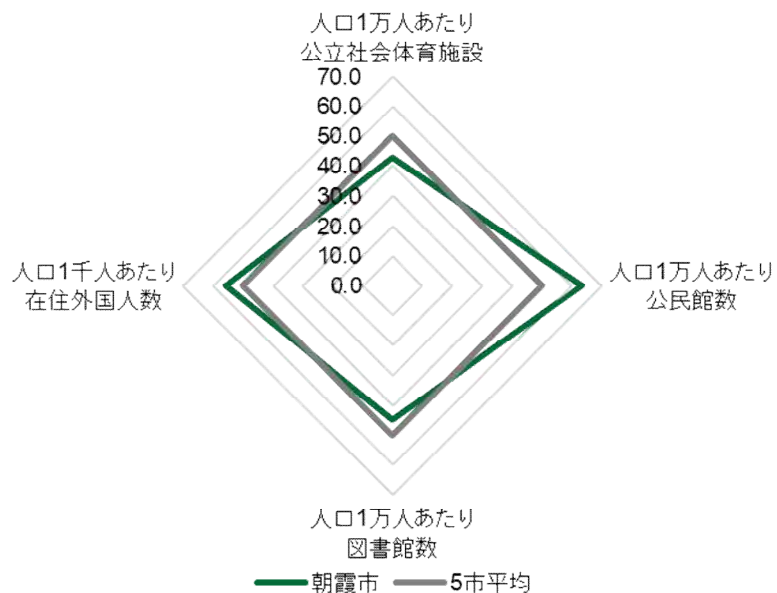
### 3-9. 文化

#### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市 順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	人口1万人あたり公立社会体育施設	施設		1.27	2.16	4	43.0	4.22	1.72	1.10	2.50
2	人口1万人あたり公民館数	施設		0.45	0.37	1	63.1	0.27	0.37	0.37	0.38
3	人口1万人あたり図書館数	施設		0.149	0.189	3	44.9	0.272	0.123	0.275	0.125
4	人口1千人あたり在住外国人数	人		27.4	25.0	2	55.8	25.0	20.2	22.1	30.4

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

レーダーチャート



分析コメント

- 「人口1万人あたり公民館数」、「人口1千人あたり在住外国人数」は比較自治体の平均を上回っており、特に「人口1万人あたり公民館数」は比較自治体の中で最も高い水準となっている。
- 「人口1万人あたり公立社会体育施設」、「人口1万人あたり図書館数」は比較自治体の平均を下回っている。
- 「人口1万人あたり公立社会体育施設」が、比較自治体の中で低い水準にあり、**市民一人ひとりが気軽にスポーツを楽しめる環境の整備**に課題があると考えられる。

## 3. 分析結果(分野別)

### 3-9. 文化

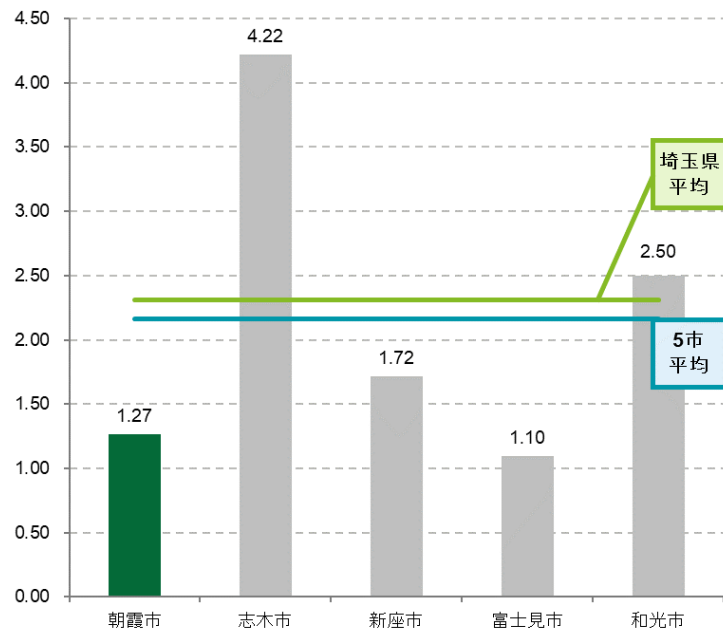
#### 人口1万人あたり公立社会体育施設数

総人口に対する公立社会体育施設の数、比較自治体及び埼玉県平均を大きく下回っているため、朝霞市のスポーツの場は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(2.16施設)、埼玉県平均(2.31施設)をともに下回っている。

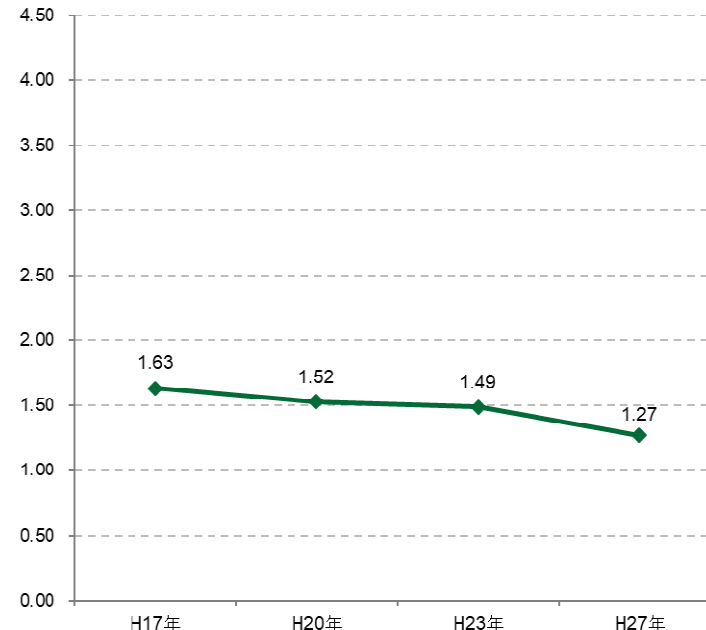
(単位: 施設)



経年比較

- 過去4回分を比較すると、減少傾向で推移している。

(単位: 施設)



出所:「社会教育調査」

## 3. 分析結果(分野別)

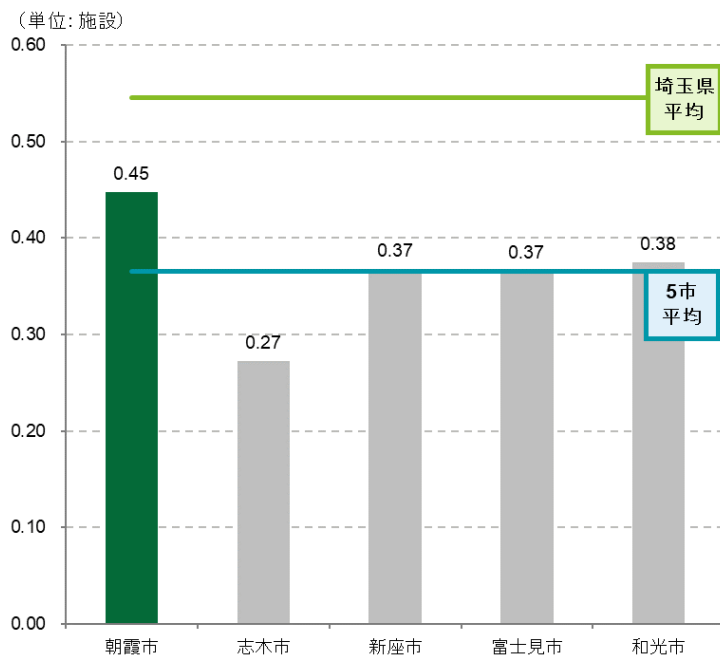
### 3-9. 文化

#### 人口1万人あたり公民館数

総人口に対する公民館の数は、埼玉県平均を下回っているため、朝霞市の地域コミュニティの拠点は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

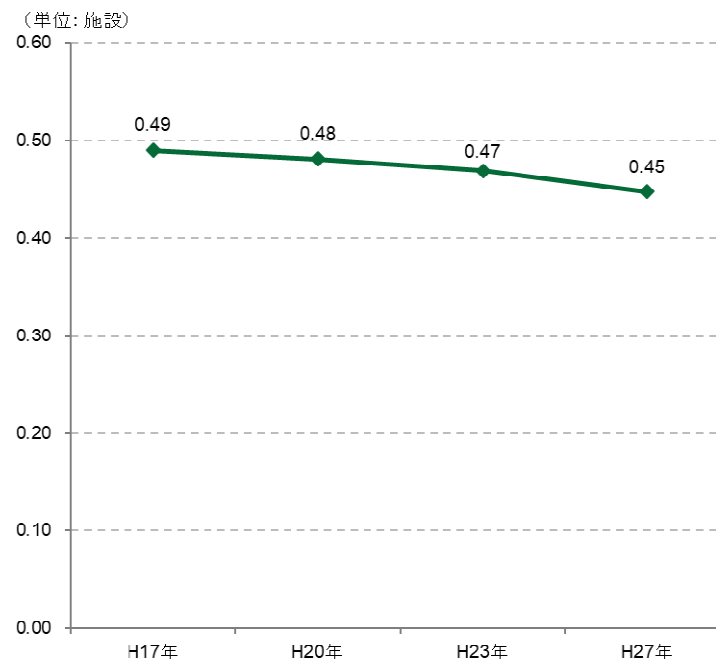
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(0.37施設)は上回っているが、埼玉県平均(0.55施設)は下回っている。



経年比較

- 過去4回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:「社会教育調査」

### 3. 分析結果(分野別)

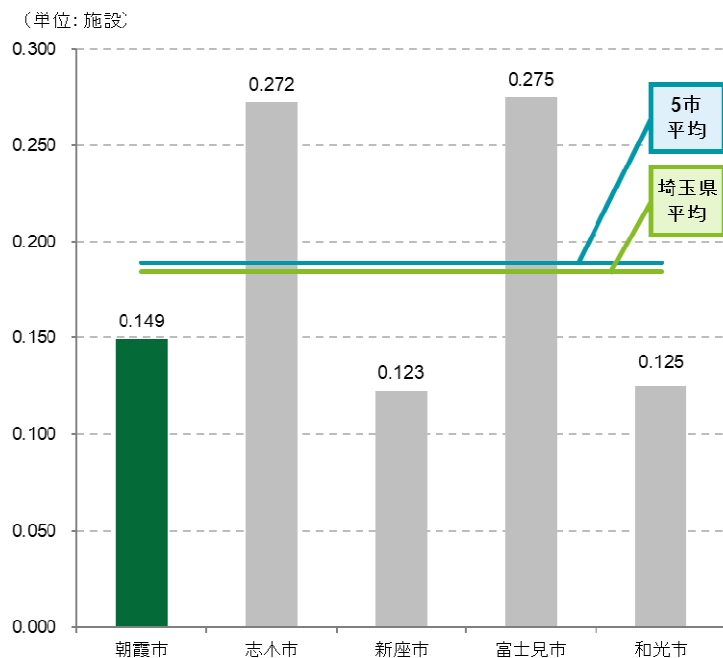
#### 3-9. 文化

##### 人口1万人あたり図書館数

総人口に対する図書館の数は、比較自治体及び埼玉県平均を下回っているため、朝霞市の図書館は、埼玉県において相対的に少ないと考えられる。

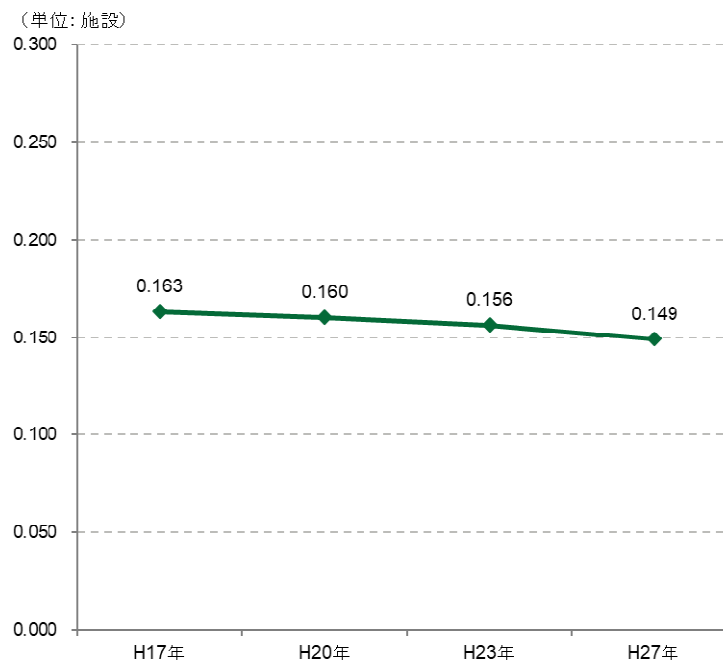
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市、志木市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(0.189施設)、埼玉県平均(0.185施設)をともに下回っている。



経年比較

- 過去4回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:「社会教育調査」

## 3. 分析結果(分野別)

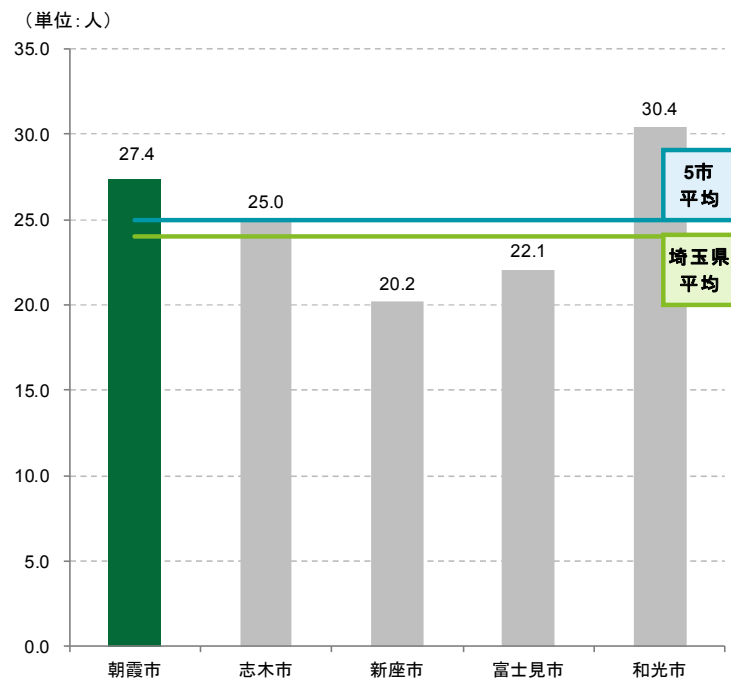
### 3-9. 文化

#### 人口1千人あたり在住外国人数

総人口に対する在住外国人数は、比較自治体及び埼玉県平均を上回る水準にあるため、朝霞市の外国人の市民の割合は、埼玉県において相対的に高いと考えられる。

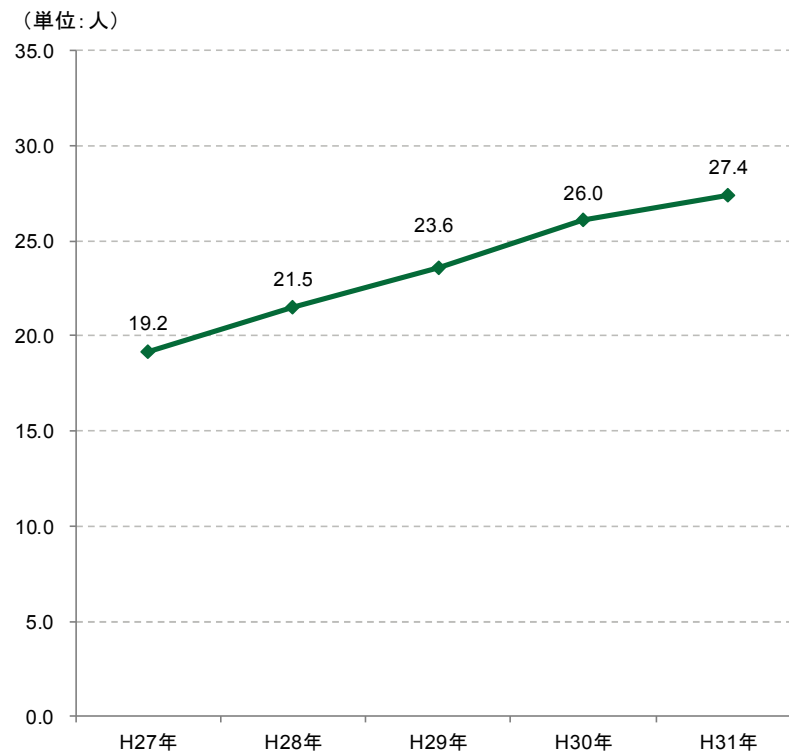
自治体間比較(平成31年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(25.0人)、埼玉県平均(24.0人)をともに上回っている。



経年比較

- 過去5回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:「住民基本台帳」

# 3. 分析結果(分野別)

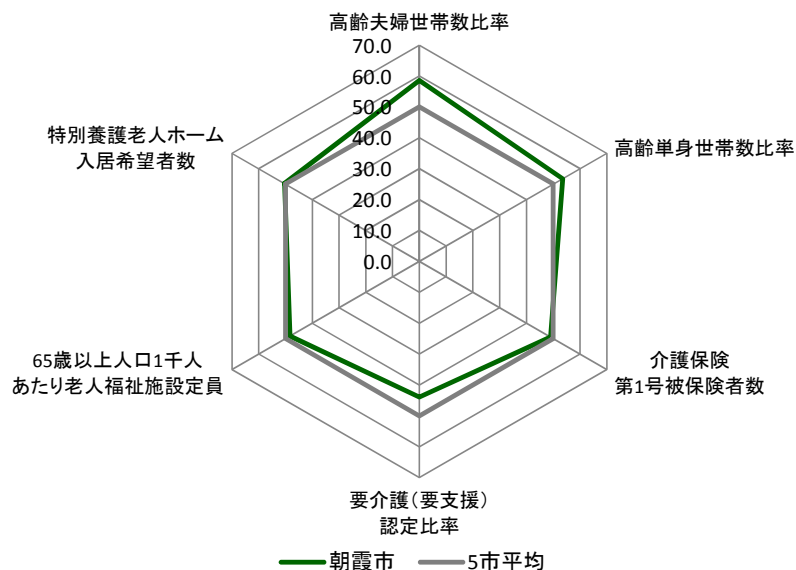
## 3-10. 高齢者

### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	高齢夫婦世帯数比率	%	※	8.0	9.9	2	58.5	11.7	11.9	10.6	7.2
2	高齢単身世帯数比率	%	※	8.3	8.7	2	53.5	9.0	9.7	9.9	6.7
3	介護保険第1号被保険者数	人	※	26,173	25,148	3	49.0	17,778	40,858	26,549	14,380
4	要介護(要支援)認定比率	%	※	15.9	14.3	4	43.9	14.2	16.0	15.6	9.9
5	65歳以上人口1千人あたり老人福祉施設定員	人		12.3	13.3	4	48.3	21.5	13.1	15.4	4.3
6	特別養護老人ホーム入居希望者数	人	※	125	127.8	3	50.4	35	187	220	72

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

レーダーチャート



分析コメント

- 「高齢夫婦世帯比率」、「高齢単身世帯数比率」、「65歳以上人口1千人あたり有料老人ホーム定員」は比較自治体の平均を上回っている。
- 「特別養護老人ホーム入居希望者数」の偏差値は比較自治体の平均と同程度である。
- 「介護保険第1号被保険者数」、「要介護(要支援)認定比率」、「65歳以上人口1千人あたり老人福祉施設定員」は比較自治体の平均を下回っている。
- 「介護保険第1号被保険者数」が平均よりやや高く、「要介護(要支援)認定比率」が、比較自治体と比べ高いことから、**高齢者の健康づくり**が課題になると考えられる。

## 3. 分析結果(分野別)

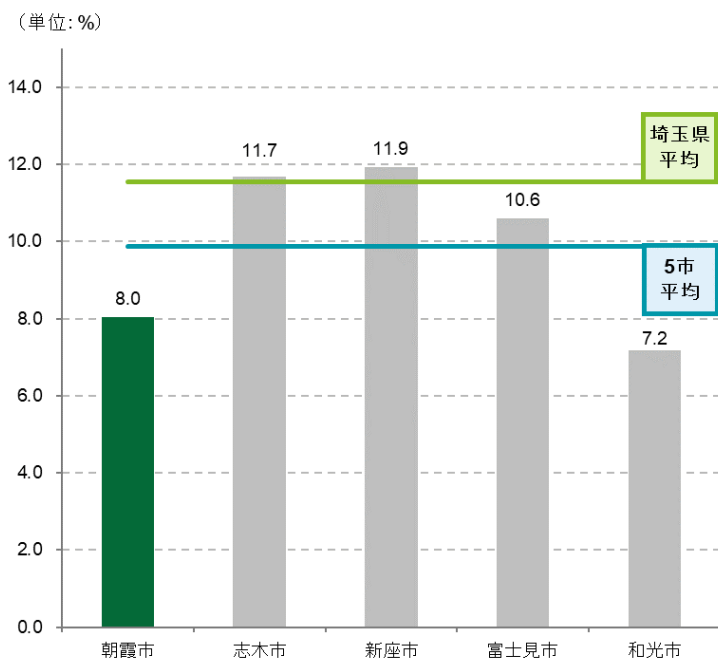
### 3-10. 高齢者

#### 高齢夫婦世帯数比率

全世帯に占める高齢夫婦(夫と妻が65歳以上)世帯の比率は、比較自治体及び埼玉県平均を下回る水準にあるが、増加傾向で推移しており、朝霞市の高齢夫婦世帯の割合は、今後も増加すると考えられる。

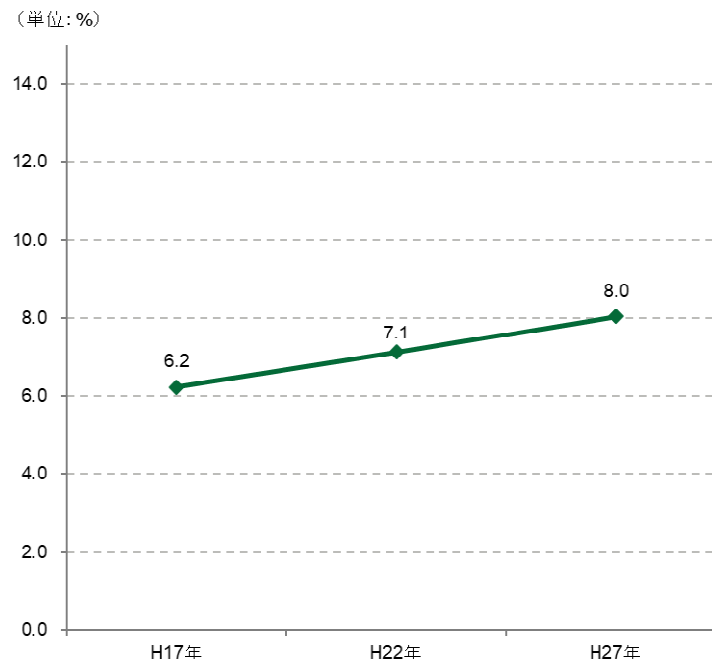
自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(9.9%)、埼玉県平均(11.6%)をとともに下回っている。



経年比較

- 過去3回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:「国勢調査」

## 3. 分析結果(分野別)

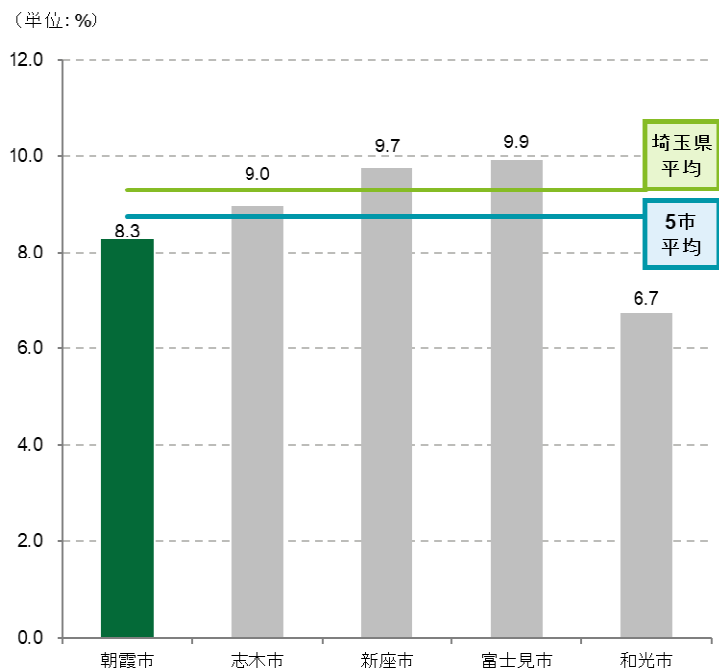
### 3-10. 高齢者

#### 高齢単身世帯数比率

全世帯に占める高齢単身世帯の比率は、比較自治体及び埼玉県平均を下回る水準にあるが、増加傾向で推移しているため、朝霞市の単身高齢者は、前頁の高齢夫婦世帯の割合と同様に増加すると考えられる。

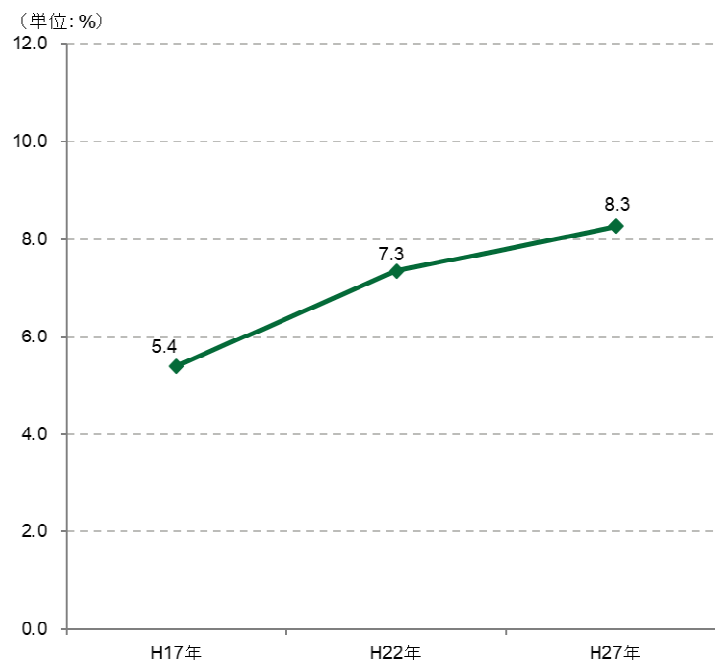
#### 自治体間比較(平成27年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(8.7%)、埼玉県平均(9.3%)をともに下回っている。



#### 経年比較

- 過去3回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:「国勢調査」



## 3. 分析結果(分野別)

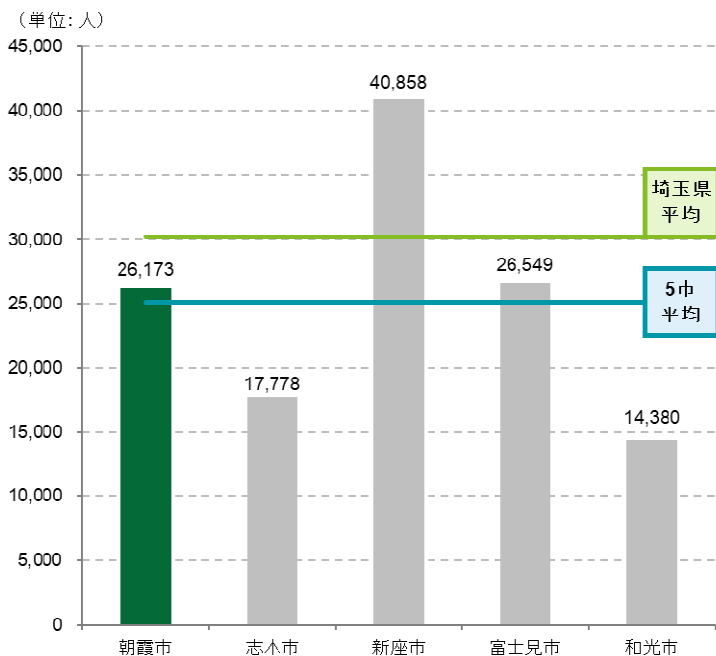
### 3-10. 高齢者

#### 介護保険第1号被保険者数

介護保険第1号被保険者数は、埼玉県平均を下回る水準にあるものの、増加傾向にあり、朝霞市の要介護(要支援)認定者は今後も増加すると考えられる。

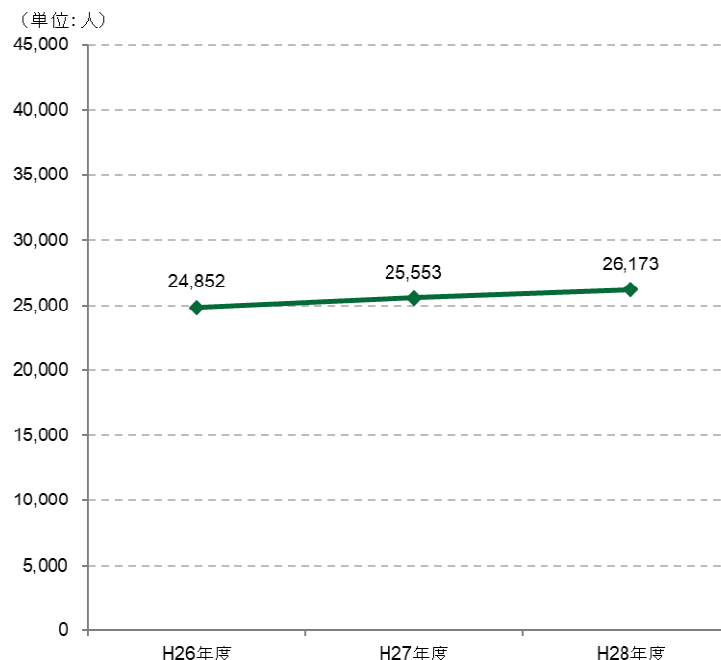
自治体間比較(平成28年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市、富士見市に次いで3番目に高い水準にある。
- 5市平均(25,148人)は上回っているが、埼玉県平均(30,237人)は下回っている。



経年比較

- 過去3回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:「介護保険事業状況報告」

## 3. 分析結果(分野別)

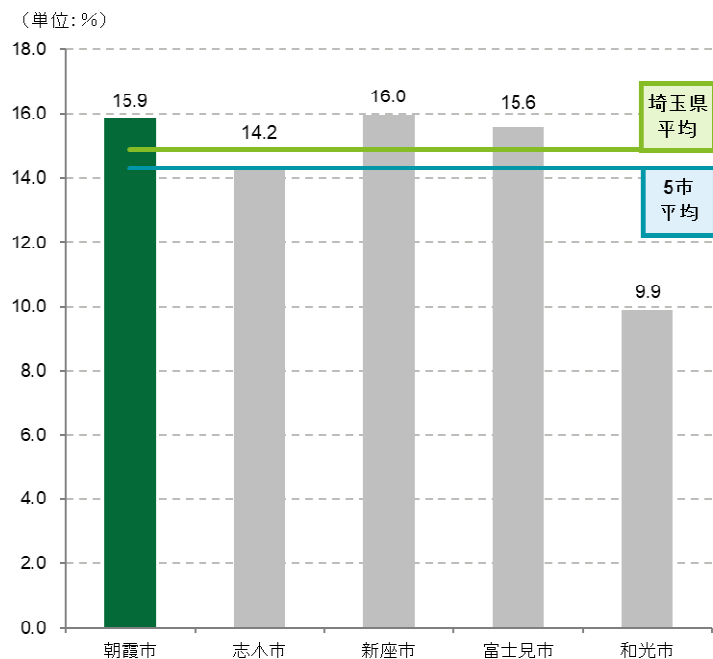
### 3-10. 高齢者

#### 要介護(要支援)認定比率

65歳以上人口に占める要介護(要支援)認定者の比率は、比較自治体及び埼玉県平均を上回る水準にあり、前頁の介護保険第1号被保険者数が増加傾向にあるため、朝霞市の要介護(要支援)認定者の割合は、今後増加することが懸念される。

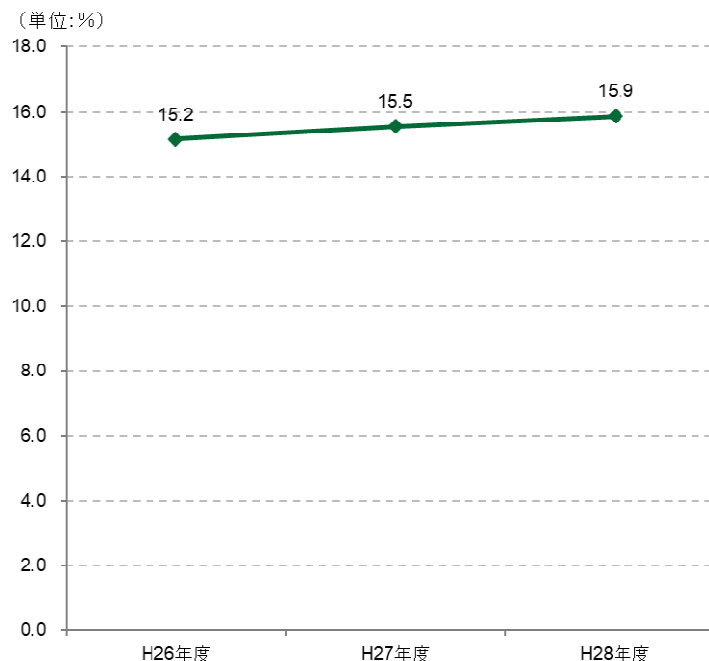
自治体間比較(平成28年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(14.3%)、埼玉県平均(14.9%)をとともに上回っている。



経年比較

- 過去3回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:「介護保険事業状況報告」

## 3. 分析結果(分野別)

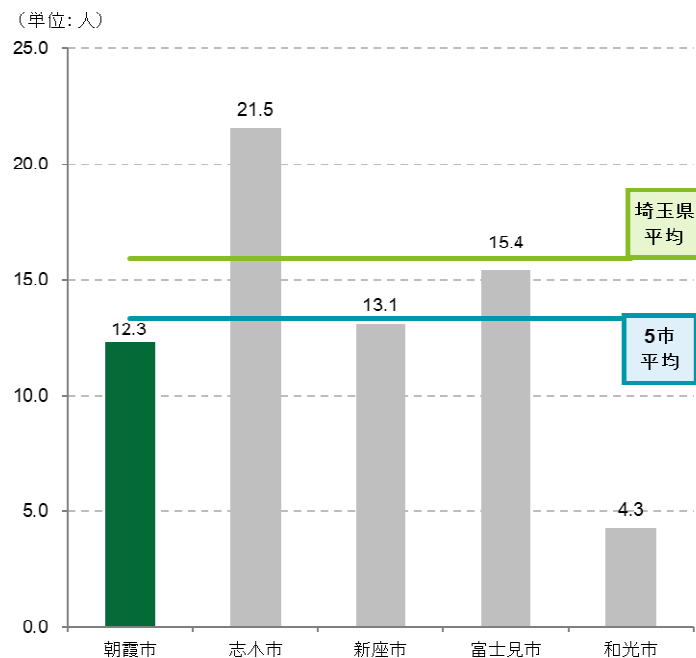
### 3-10. 高齢者

#### 65歳以上人口1千人あたり老人福祉施設定員

65歳以上人口1千人あたり老人福祉施設定員は、比較自治体及び埼玉県平均を下回る水準にあるが、高齢者は増加傾向にあるため、朝霞市の65歳以上人口1千人あたり老人福祉施設定員割合は今後も減少していくと考えられる。

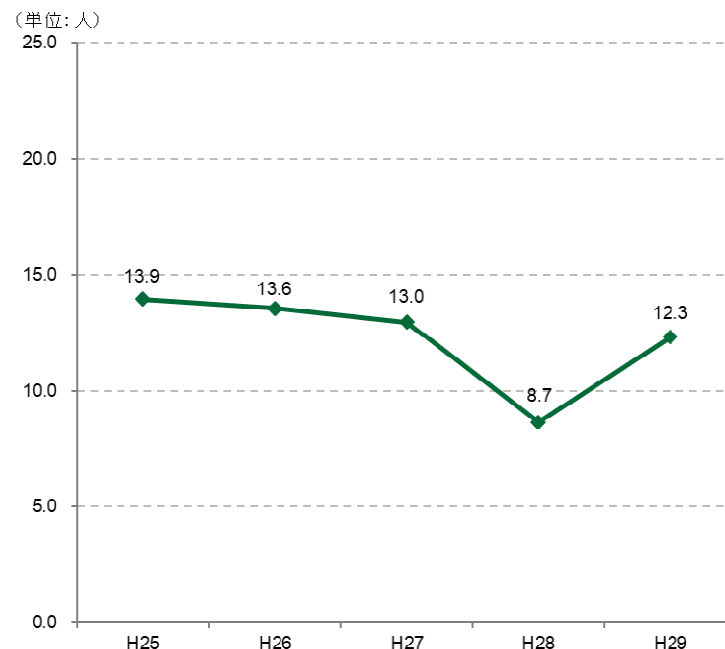
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(13.3人)、埼玉県平均(15.9人)をともに下回っている。



経年比較

- H29年に増加したものの減少傾向で推移している。



出所:「社会福祉施設等調査」

## 3. 分析結果(分野別)

### 3-10. 高齢者

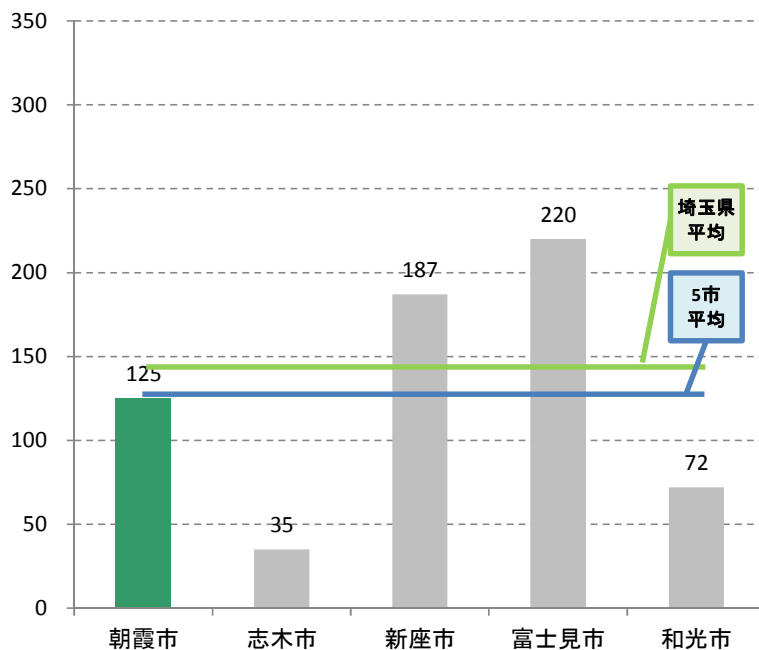
#### 特別養護老人ホーム入居希望者数

朝霞市の特別養護老人ホームの入所希望者は、減少傾向で推移し、平成28年度に100人を切ったが、平成29年度は増加している。また、平成25年度を100とした場合の増減割合では、県全体では、57.95%、朝霞市は45.45%となり、志木市92.3%、新座市68.75%、富士見市 82.4%、和光市62.5%と比較して、減少割合が大きくなっている。

自治体間比較(平成29年)

- 朝霞市は志木市、和光市に次いで3番目に低い水準にある。
- 5市平均(127.8人)とほぼ同じだが、埼玉県平均(143.6人)を下回っている。

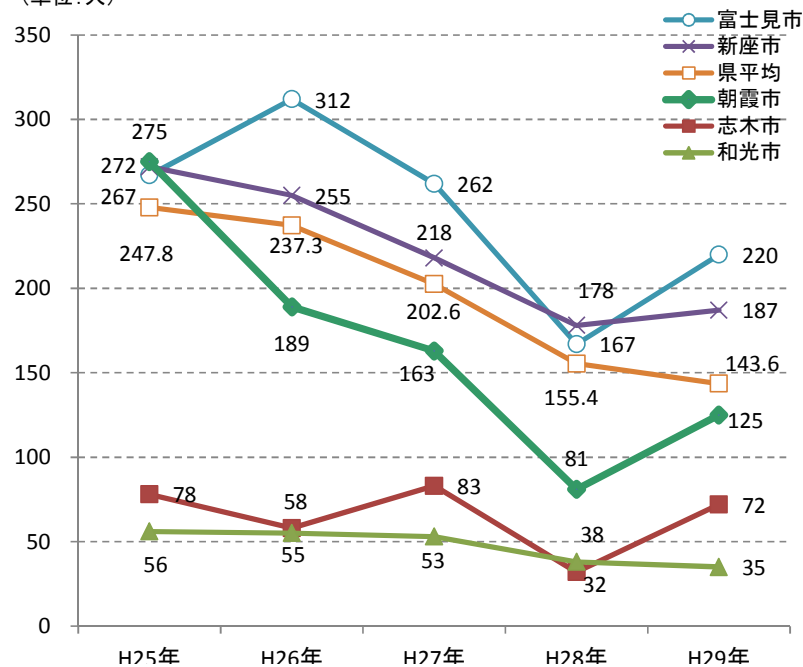
(単位:人)



経年比較

- 過去5年間で比較すると、平成29年度に増加したが、減少傾向で推移している。

(単位:人)



出所:「埼玉県特別養護老人ホーム入所希望者調査」

## 3. 分析結果(分野別)

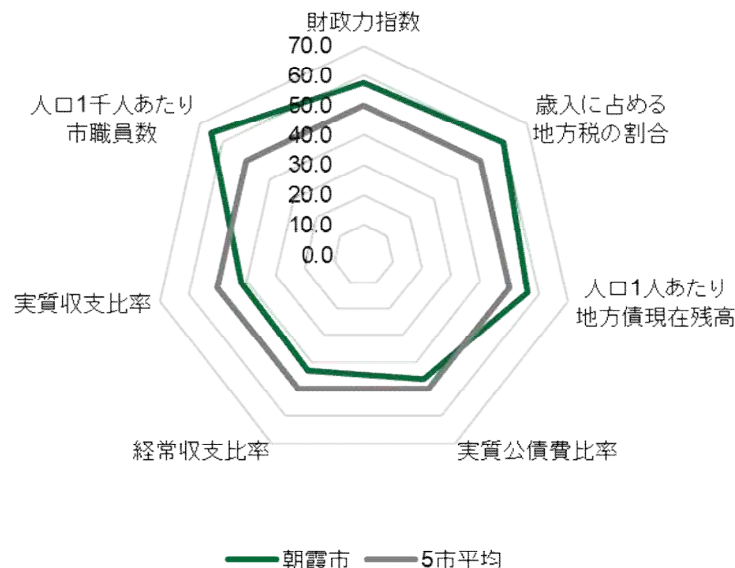
### 3-11. 行財政

#### 分析結果総論

No.	指標	単位	注	朝霞市	5市平均	朝霞市 順位	偏差値	比較自治体			
								志木市	新座市	富士見市	和光市
1	財政力指数	-		0.98	0.91	2	57.5	0.85	0.91	0.80	1.02
2	歳入に占める地方税の割合	%		53.2	47.5	2	59.9	46.2	40.0	44.7	53.4
3	人口1人あたり地方債現在残高	円	※	203,735	230,126	1	56.1	210,360	306,524	209,435	220,574
4	実質公債費比率	%	※	4.1	3.4	4	46.2	1.0	6.0	3.2	2.7
5	経常収支比率	%	※	93.8	92.1	4	43.1	93.0	94.7	89.7	89.5
6	実質収支比率	%		4.3	7.4	4	41.7	12.9	8.3	3.6	7.9
7	人口1千人あたり市職員数	人		5.01	4.68	1	65.3	4.67	4.42	4.72	4.58

※ 値が低い方が望ましい指標については、値が低いと順位及び偏差値が高くなるように設定している。

レーダーチャート



分析コメント

- 「財政力指数」、「歳入に占める地方税の割合」、「人口1人あたり地方債現在残高」、「人口1千人あたり市職員数」は比較自治体の平均を上回っており、特に「人口1人あたり地方債現在残高」、「人口1千人あたり市職員数」は比較自治体の中で最も高い水準となっている。
- 「実質公債費比率」、「経常収支比率」、「実質収支比率」は比較自治体の平均を下回っている。
- 「経常収支比率」、「実質収支比率」、「実質公債費比率」が比較自治体に比べ高いことから、より一層の財政運営の効率化が望ましいと考えられる。

## 3. 分析結果(分野別)

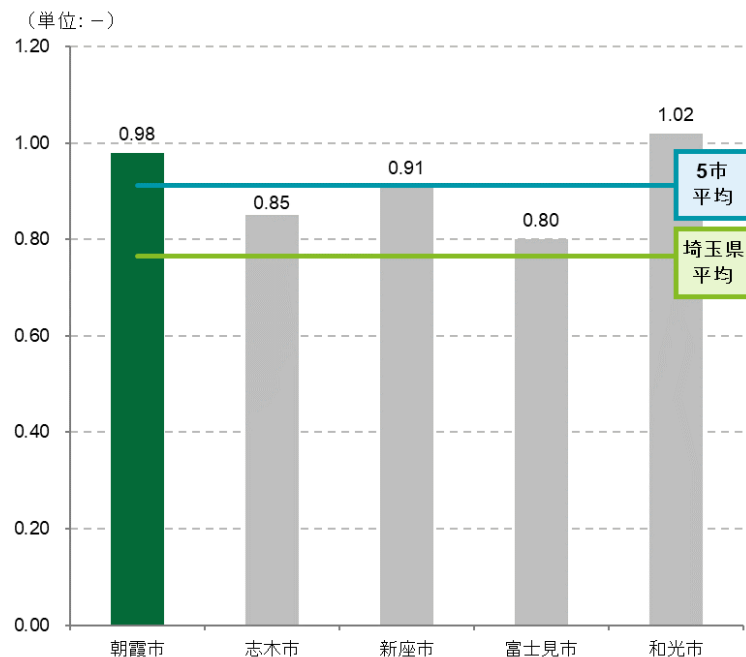
### 3-11. 行財政

#### 財政力指数

財政力指数は、横ばいで推移しており、比較自治体及び埼玉県平均より高い水準であるため、朝霞市の財政の自律性は、埼玉県において相対的に高い水準にあると考えられる。

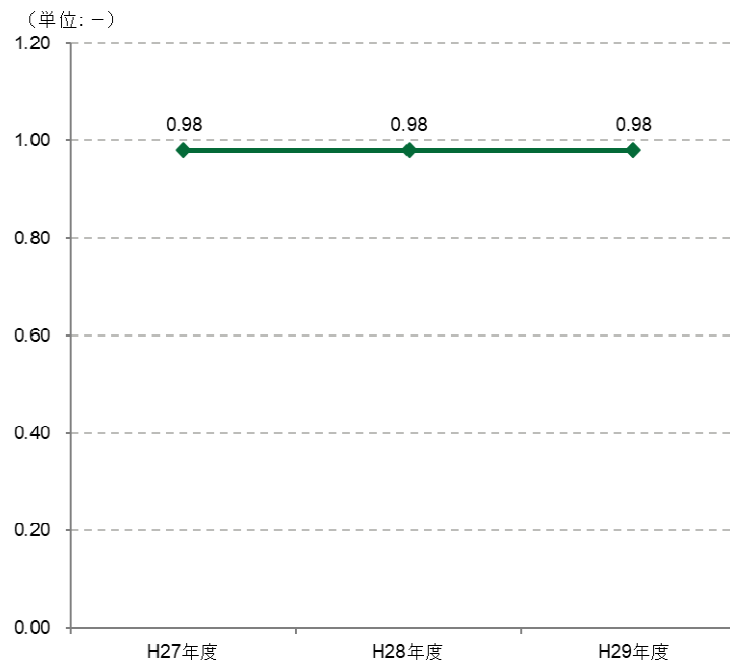
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(0.91)、埼玉県平均(0.77)をともに上回っている。



経年比較

- 過去3回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:総務省「決算カード」

## 3. 分析結果(分野別)

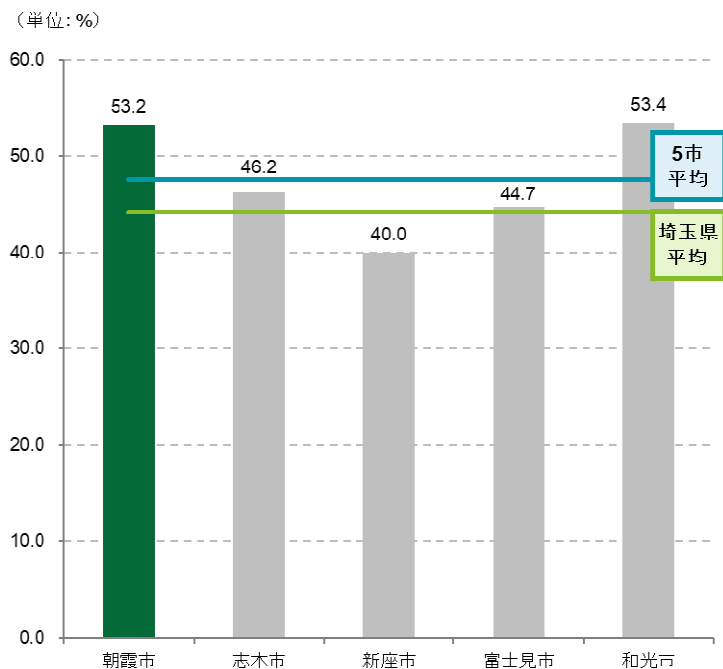
### 3-11. 行財政

#### 歳入に占める地方税の割合

歳入総額に占める地方税の割合は、比較自治体及び埼玉県を上回る水準であるが、減少傾向にある。

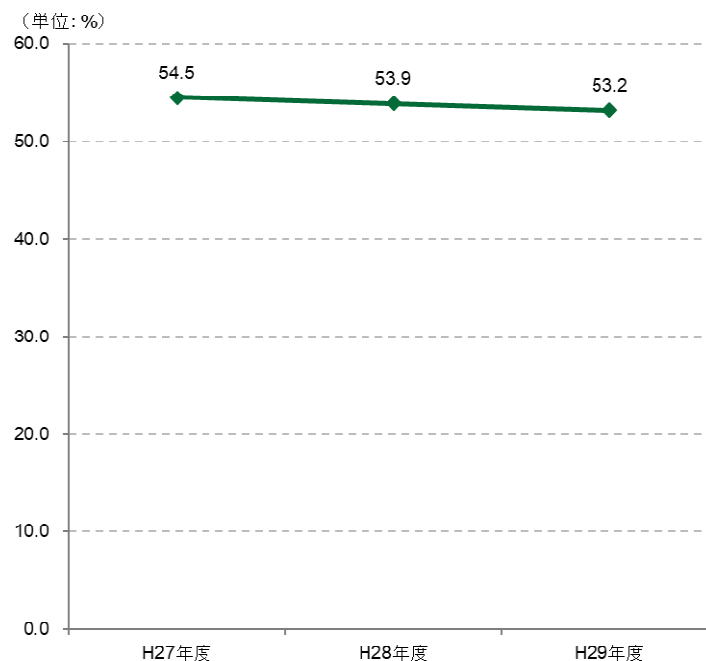
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(47.5%)、埼玉県平均(44.2%)をともに上回っている。



経年比較

- 過去3回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:総務省「決算カード」

## 3. 分析結果(分野別)

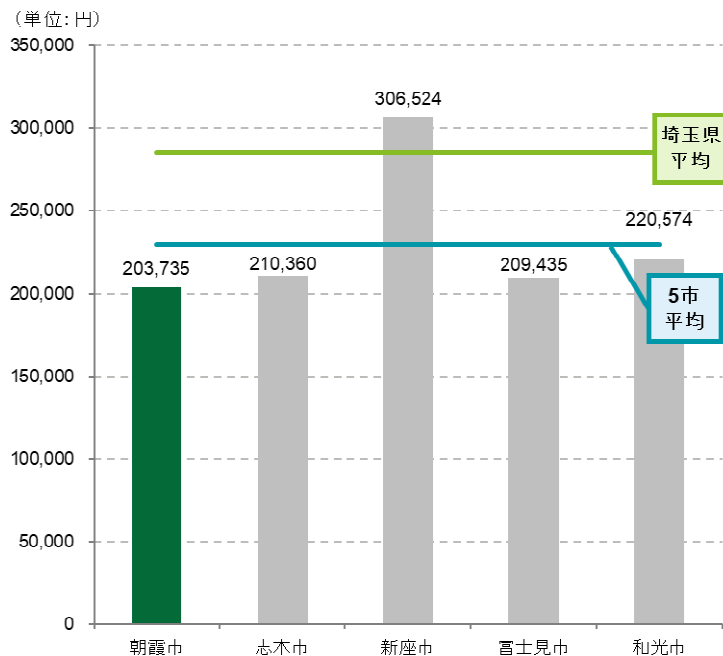
### 3-11. 行財政

#### 人口1人あたり地方債現在残高

総人口に対する地方債現在高は、比較自治体の中で最も低い水準にあり、かつ減少傾向で推移しているため、朝霞市の財政の規律は、埼玉県において相対的に保たれていると考えられる。

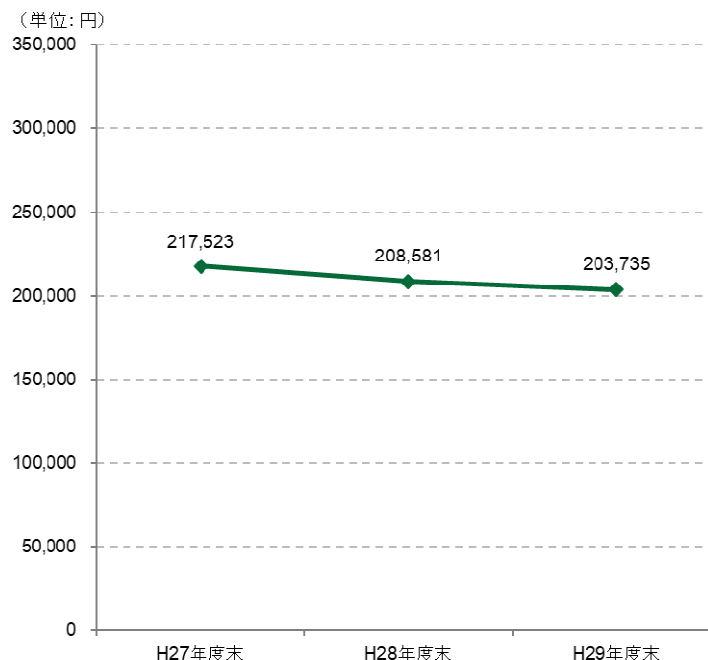
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は和光市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(230,126円)、埼玉県平均(285,555円)をともに上回っている。



経年比較

- 過去3回分を比較すると、減少傾向で推移している。



出所:総務省「決算カード」



## 3. 分析結果(分野別)

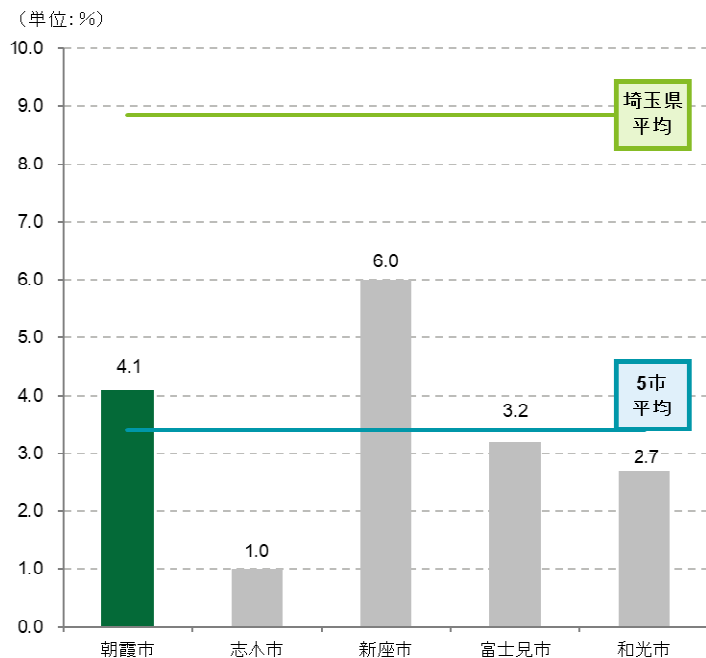
### 3-11. 行財政

#### 実質公債費比率

実質公債費比率は、埼玉県平均を大きく下回る水準にあり、朝霞市の財政規模に対する地方債返済額の比率は、埼玉県において相対的に低い水準にあると考えられる。

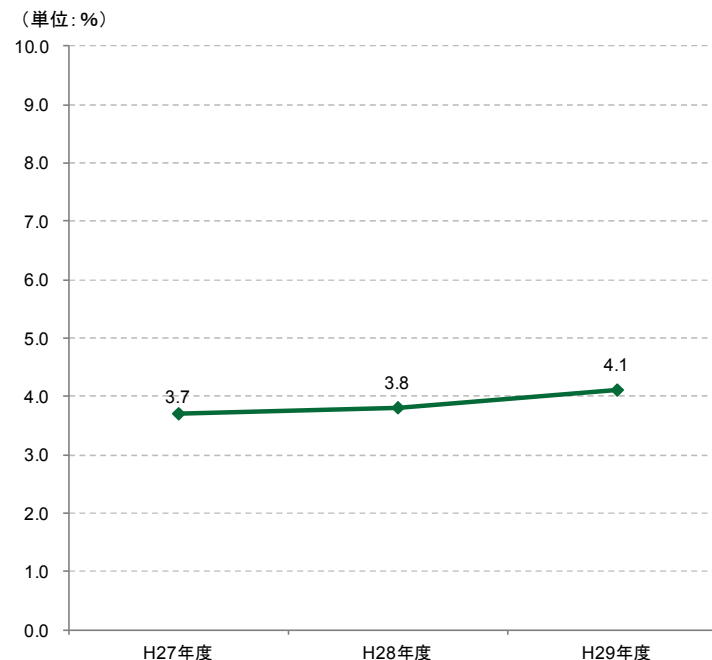
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も低い水準にある。
- 5市平均(3.4%)、埼玉県平均(8.9%)をともに下回っている。



経年比較

- 過去3回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:総務省「決算カード」

## 3. 分析結果(分野別)

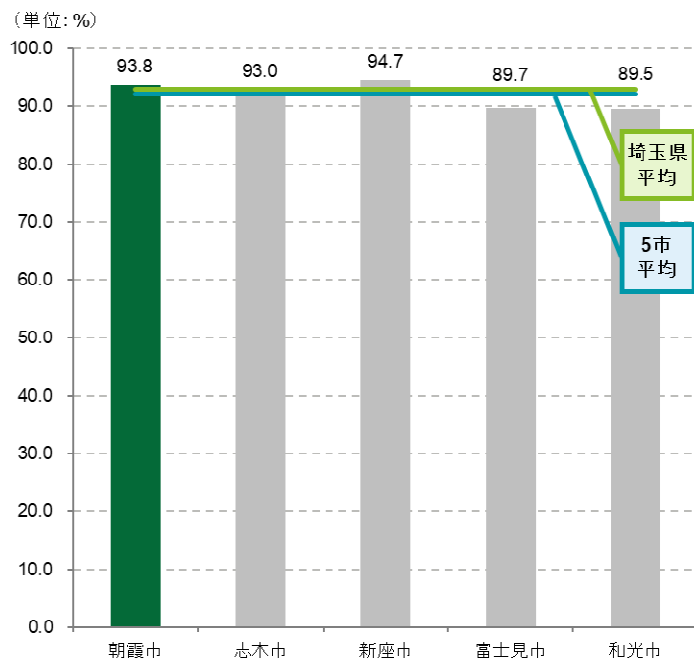
### 3-11. 行財政

#### 経常収支比率

経常収支比率は、比較自治体及び埼玉県平均と同じ水準にあるが、90%を超えており、朝霞市の財政は、やや硬直化していることが考えられる。

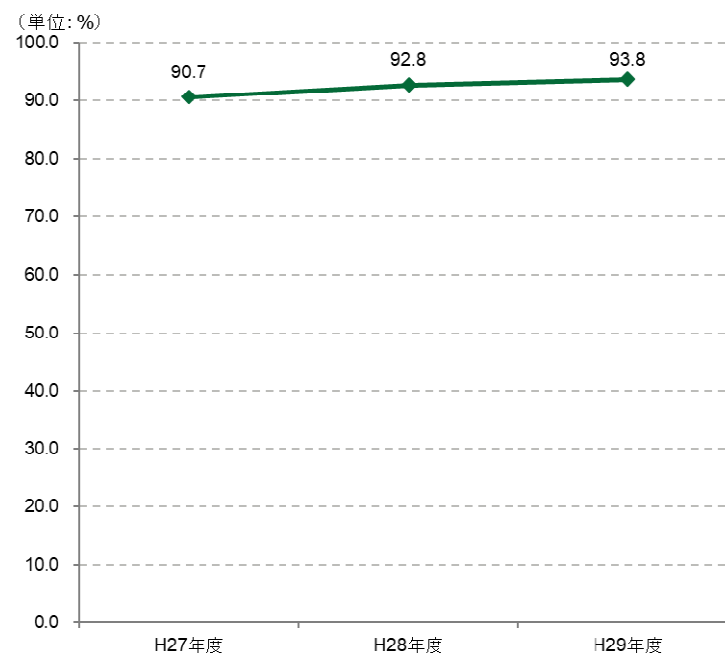
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は新座市に次いで2番目に高い水準にある。
- 5市平均(92.1%)、埼玉県平均(93.1%)をともに上回っている。



経年比較

- 過去3回分を比較すると、増加傾向で推移している。



出所:総務省「決算カード」

## 3. 分析結果(分野別)

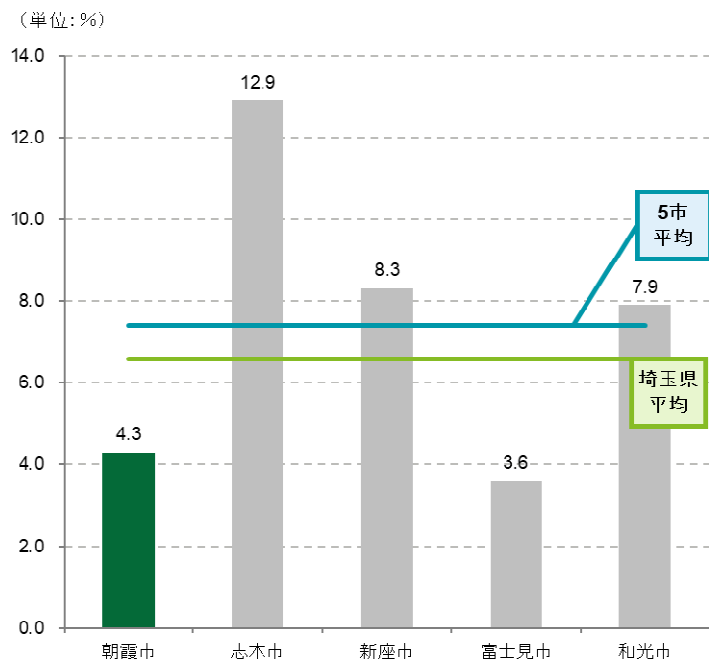
### 3-11. 行財政

#### 実質収支比率

実質収支比率は、比較自治体及び埼玉県平均を下回る水準にあるが、経年で安定して推移しており、朝霞市は、財源の確保及びコスト削減などの財政運営体制が安定して行われていると考えられる。

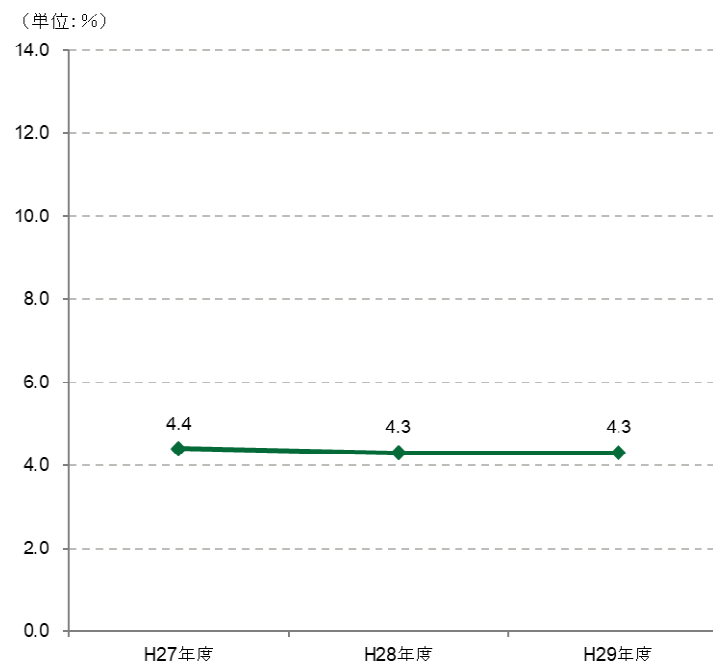
#### 自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は富士見市に次いで2番目に低い水準にある。
- 5市平均(7.4%)、埼玉県平均(6.6%)をともに下回っている。



#### 経年比較

- 過去3回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:総務省「決算カード」

### 3. 分析結果(分野別)

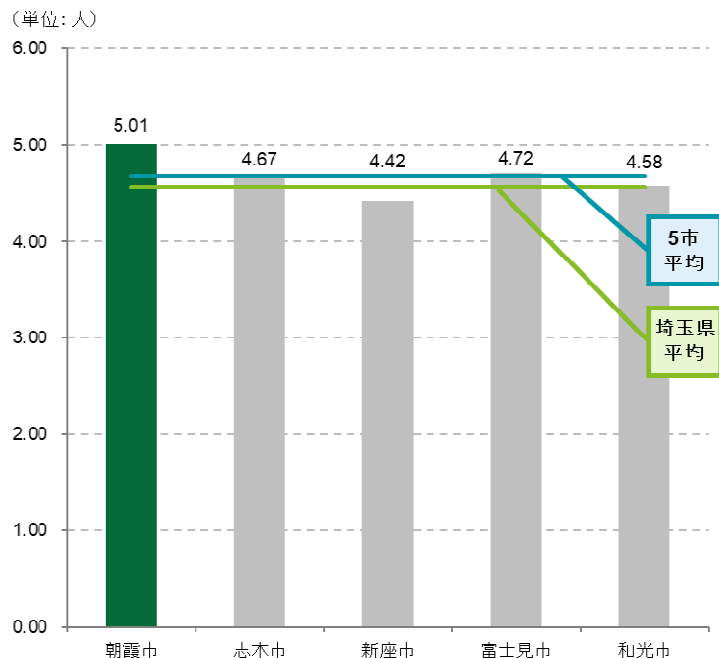
#### 3-11. 行財政

##### 人口1千人あたり市職員数

総人口に対する市職員の数、比較自治体の中で最も高い水準にあり、比較自治体及び埼玉県平均よりも高い水準であるため、朝霞市役所の人員の規模は、埼玉県において相対的に高い水準にあると考えられる。

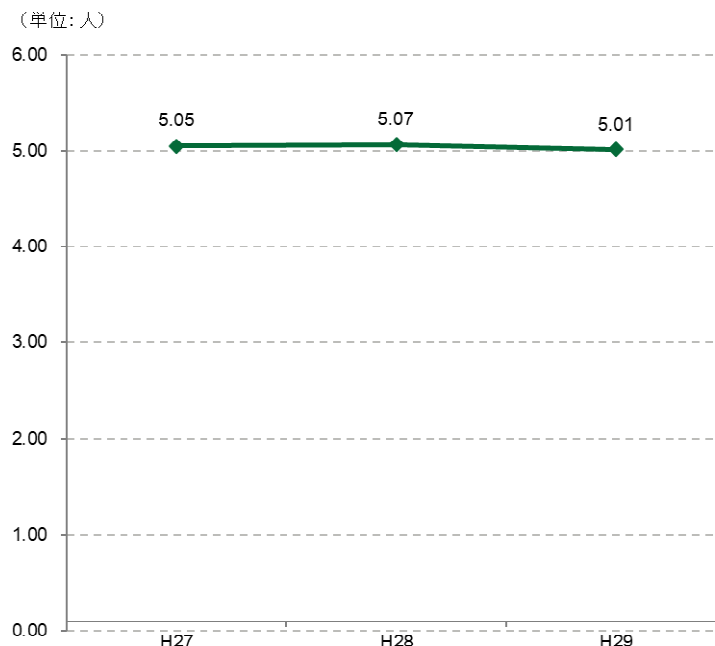
自治体間比較(平成29年)

- 他自治体と比較すると、朝霞市は最も高い水準にある。
- 5市平均(4.68人)、埼玉県平均(4.56人)をとともに上回っている。



経年比較

- 過去3回分を比較すると、横ばいで推移している。



出所:総務省「決算カード」